

令和7年度 赤十字奉仕団活動報告集



全国ご当地ハートちゃん
「エビフライハートちゃん」

はじめに

赤十字奉仕団は、赤十字理念のもと人道的な活動を実践しようとする人々により構成されたボランティア組織です。市町村など一定の地域ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、アマチュア無線や救急法など特殊な技能を持った人たちによって組織された「特殊赤十字奉仕団」、学生や社会人によって組織された「青年赤十字奉仕団」があり、令和8年3月31日時点で愛知県内では83の赤十字奉仕団が組織され、15,000人を超える奉仕団員が活躍しています。

さて、昨年は各地で台風などの大規模被害や紛争による人道危機が発生する中、当支部でもこれらに対する災害義援金及び海外救援金の募集や、職員の派遣等支援に取り組みました。

また、平時の活動として、災害発生時に迅速な対応ができるよう様々な想定での訓練・研修を実施するほか、救急法等の講習普及、青少年赤十字、赤十字ボランティアの育成など、地域の方々のいのちと健康、尊厳を守る活動の充実に努めております。

赤十字奉仕団は、会員増強、災害救護、青少年赤十字の普及育成、献血推進、社会福祉などの活動を継続していく中で、地域の課題を踏まえ、ニーズに応える活動が、地域に不可欠なボランティア団体として、より人々の信頼を得ることに繋がるはずです。

この活動報告集では、県内の赤十字奉仕団の実際の取り組みを紹介しています。各奉仕団の取り組みから、今後の奉仕団活動の活性化につながるヒントを掴んでいただき、その活動が充実・発展し、広がっていくことを期待しています。

令和8年4月

目次

モデル奉仕団

刈谷市赤十字奉仕団	4
新城市赤十字奉仕団	6

地域赤十字奉仕団 尾張地区

一宮市赤十字奉仕団	10
春日井市赤十字奉仕団	12
犬山市赤十字奉仕団	14
江南市赤十字奉仕団	16
小牧市赤十字奉仕団	18
稲沢市赤十字奉仕団	20
尾張旭市赤十字奉仕団	22
岩倉市赤十字奉仕団	24
豊明市赤十字奉仕団	26
日進市赤十字奉仕団	28
清須市赤十字奉仕団	30
北名古屋市師勝赤十字奉仕団	32
北名古屋市西春赤十字奉仕団	34
豊山町赤十字奉仕団	36
扶桑町赤十字奉仕団	38

地域赤十字奉仕団 知多・海部地区

津島市赤十字奉仕団	42
常滑市赤十字奉仕団	44
東海市赤十字奉仕団	46
大府市赤十字奉仕団	48
知多市赤十字奉仕団	50
愛西市赤十字奉仕団	52
弥富市赤十字奉仕団	54
あま市赤十字奉仕団	56
大治町赤十字奉仕団	58
蟹江町赤十字奉仕団	60
阿久比町赤十字奉仕団	62
東浦町赤十字奉仕団	64
美浜町赤十字奉仕団	66
武豊町赤十字奉仕団	68

地域赤十字奉仕団 西三河地区

岡崎市赤十字奉仕団	72
碧南市赤十字奉仕団	74
豊田市赤十字奉仕団	76
安城市赤十字奉仕団	78
西尾市赤十字奉仕団	80
知立市赤十字奉仕団	82
高浜市赤十字奉仕団	84
みよし市赤十字奉仕団	86
幸田町赤十字奉仕団	88

地域赤十字奉仕団 東三河地区

豊橋市赤十字奉仕団	92
豊川市赤十字奉仕団	94
豊川市第二赤十字奉仕団	96
蒲郡市赤十字奉仕団	98
田原市赤十字奉仕団	100

特殊赤十字奉仕団

三河赤十字救急奉仕団	104
愛知県赤十字安全奉仕団	106
尾張赤十字救急奉仕団	108
愛知県赤十字救急奉仕団	110
愛知県赤十字救護奉仕団	112
愛知県赤十字救助奉仕団	114
愛知県赤十字無線奉仕団	116
愛知県青少年赤十字賛助奉仕団	118
愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団	120
愛知県赤十字災害救護奉仕団	122
愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団	124

青年赤十字奉仕団

名城大学薬学部青年赤十字奉仕団	128
日本赤十字豊田看護大学青年奉仕団	130
名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団	132
南山大学青年赤十字奉仕団	134
愛知県青年赤十字奉仕団	136

奉仕団データ編

赤十字奉仕団 団数・団員数推移	138
令和7年度 赤十字奉仕団一覧	139
令和7年度 赤十字奉仕団活動状況	141

モデル奉仕団

モデル奉仕団とは…特定の奉仕活動を重点的に推進する奉仕団を指定し、効果的な活動の進め方を探求すると共に、その成果を他の奉仕団に広め、奉仕団活動の充実強化を目指すことを目的としています。

重点活動分野には以下の9つの活動があります。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ① 赤十字思想普及・会員増強に関する活動 | ② 災害救護に関する活動 |
| ③ 青少年赤十字の普及・育成に関する活動 | ④ 献血推進に関する活動 |
| ⑤ 救急法等の普及に関する活動 | ⑥ 赤十字病院における活動 |
| ⑦ 社会福祉施設における活動 | ⑧ 老人福祉の向上のための活動 |
| ⑨ 障害児者福祉向上のための活動 | |

令和7年度は以下の2奉仕団がモデル奉仕団として活動しました。

	指定期間	指定活動
刈谷市赤十字奉仕団 ……	令和7～9年度	社会福祉施設における活動（子ども食堂）
新城市赤十字奉仕団 ……	令和7～9年度	災害救護に関する活動（防災セミナー）

刈谷市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：西尾 實千恵（就任7年目）
団員数：261人（男：2人、女：259人）
結成年月日：昭和25年9月1日
母体：刈谷市女性の会連絡協議会
救急法指導員：5人
健康生活支援講習指導員：4人
幼児安全法指導員：6人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：14人

団 紹 介

赤十字の「人道・博愛」そして「奉仕」の心をもって、「自分の住む地域は自分たちで守る」をテーマに、赤十字の啓発や、各地区で行われる自主防災会等の防災訓練、講習会に参加しています。また、奉仕団員個人のスキルアップのための研修を積み重ねています。

奉仕団の主な活動

● 日帰り県外研修

奉仕団の独立のきっかけとなった愛知万博から20周年の節目にあたり、7月9日に日帰り県外研修として大阪・関西万博の「国際赤十字・赤新月運動館」を見学しました。

人間のいのちと健康、尊厳を守ることの大切さについて理解を深めるとともに、団員の親睦も深められ、意識向上にもつながる有意義な研修となりました。



日帰り県外研修

● ハートフェスティバルⅢ ～たいせつな未来のために～

今年度、奉仕団は旧婦人会より独立し、単独奉仕団となって20年の節目を迎え、11月15日に20周年記念事業「ハートフェスティバルⅢ」を開催しました。式典、講演会、防災体験スタンプラリーなどを企画し、防災や赤十字活動への理解を深めていただく良い機会となりました。

また、市内の小中学生に防災をテーマにかるたの読み札を考えてもらい「刈谷の防災かるた」を作成し、小中学校へ配布することができました。今後は地区防災や子どもの居場所づくりなどで活用し、楽しみながら防災を学べる取り組みをしていきたいと考えています。



ハートフェスティバル体験コーナー

1年間の活動目標

私たちはこれまでの活動で、「子どもたちが地域において様々な世代とふれあい、多くの体験をすることで楽しさと興味が広がる」と実感しています。そこで今年度は、一緒に食事を作って食べるなどの団らんの機会を設けることで、子ども及び子育て世代への支援となり、恒常的に地域に根差した福祉事業を行うことができると考え活動してきました。

活動の内容

自治会、福祉委員会、女性の会、地区子ども会、刈谷市子ども会育成連絡協議会など多くの団体とのコラボで開催し、親子での参加も多くありました。おうちの中のモンスター・災害時のトイレ・防災かるた・いえまですごろく・エマキット作り（緊急時一人用持出品）など防災の勉強や、ポッチャ大会・折り紙などをみんなで楽しみました。昼食は、事前にアレルギーを確認した上で、耐熱ポリ袋を使用しての防災食の焼きそば・パスタ・プリンや、カレーライス・おこしもの等を一緒に作り食べました。また、餅つきをした地区もありました。年間9回開催することができました。



エマキット作り



餅つき

1年間の活動の成果

それぞれの地区が工夫した企画を考え、子どもの居場所づくりを実施しました。子どもたちだけではなく地域の大人や私たち赤十字奉仕団もいっしょに楽しむことができ、世代をこえた顔の見える関係づくりができる場所となりました。

奉仕団のPR

私たちの団には、261名の団員がいます。地区ごとの活動や全体での活動を通じて、さまざまなニーズに応えられるよう取り組んでいます。

「できない！」と考えるのではなく、「今できることは何か？」「どうしたら実現できるのか？」を考えながら活動を行ってきました。その姿勢は、活動の幅を広げ、講習内容の充実につながり、20周年記念事業「ハートフェスティバルⅢ」の成功や「子どもの居場所づくり」という新しい挑戦にもつながっています。この姿勢を私たちは誇りに思い続けていきます。

新城市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：松井 康江（就任3年目）
団員数：135人（男：4人、女：131人）
結成年月日：昭和34年11月1日
母体：新城はぐるまの会
救急法指導員：4人
健康生活支援講習指導員：6人
幼児安全法指導員：5人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：13人

団 紹 介

「新城はぐるまの会」の会員が全員奉仕団員として活動しています。支援員・救急員の資格保持者が多く、指導員と共に市内こども園職員に幼児安全法講習、児童クラブ職員や地域の自主防災会に救急法講習、小中学校へ福祉体験教室などの活動が定着してきました。

また、高齢者宅への訪問、福祉施設での奉仕活動、障害がある方への音声訳・点字・手話・要約筆記・身障ガイドも部活動として行っています。

奉仕団の主な活動

● 活動名：広めよう！赤十字5月の一斉キャンペーン

5月5日（月・祝）に長篠合戦のぼり祭り会場にて赤十字事業の紹介と「大船渡火災災害義援金」の募金募集活動を行いました。（参加者15名）

● 活動名：赤十字防災講習会

9月21日（日）JAやなプラザにて会員向けの講習会を行いました。今回は「ローリングストック」をテーマに普段家庭にある物（缶詰・乾物）での炊き出し訓練です。また、赤十字防災セミナー指導者より「家具安全対策ゲーム：KAG」の講習を受けました。（参加者42名）

● 活動名：赤十字基礎研修会

11月12日（水）しんしろ福祉会館を会場にし、県支部より講師をお招きし開催しました。新しい情報や時事問題を交えた講義はとても楽しく、毎年参加したいという意見もできました。（参加者17名）



5月の一斉キャンペーン



防災講習会



基礎研修会

令和7年度モデル奉仕団活動

指定活動：災害救護に関する活動

1年間の活動目標

- ・7名の防災セミナー指導者を中心に講習活動を広める。
- ・奉仕団員に大規模災害時や日常生活に役立つ講習を行い、防災意識をたかめる。
- ・地域で赤十字防災セミナーを普及する。
- ・指導者全員が総合ファシリテーターができるようにする。

活動の内容

防災セミナー指導者は月1回勉強会を実施。講習会を手際よく進めるために、OA機器を活用する練習をしました。

また、市防災対策課より依頼されている自主防災会実践研修会の講習会も定着し、今年度はテーマを「地域の避難所設定と地域の人の役割」と決め、4回コースで実施しました。参加者は地域の区長さんや防災担当の方がほとんどです。地域に持ち帰って防災・減災活動に繋げてほしいです。

毎年のことですが、女性の参加が少ないのが残念です。今後の課題です。



自主防災会実践研修会

1年間の活動の成果

- ・小学校の福祉体験教室で「家ですごろく」を取り上げていただき防災を授業として学ぶようになりました。生徒が学んだことを家族に伝え、赤十字の活動が認識される事を期待します。
- ・地域の防災会で自主防災会実践研修会に出席した役員さんからの講習依頼が増えました。

奉仕団のPR

母体である「新城はぐるまの会」友愛訪部では、月2回をめぐりに一人暮らしの高齢者や老世帯のお宅を訪問しています。毎年2月は健康づくり推進協議会と協働し、夕食手作り弁当を届けています。訪問時に防災・減災を話題にするよう心掛けています。講習会に参加できなければこちらから伺い、声かけをし、共助の力を高めて行こうと思います。

今年度の市外研修は、庁用バスを利用し「大阪・関西万博」に行きました。赤十字パビリオンを見学し、赤十字の活動を再認識できました。往復8時間のバス移動の中でのおしゃべりで交流の輪が一層広がりました。

地域赤十字奉仕団
尾張地区

一宮市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：田邊 春枝（就任3年目）
団員数：239人（男：1人、女：238人）
結成年月日：昭和23年
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：2人
健康生活支援講習指導員：4人
幼児安全法指導員：1人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団 紹 介

一宮市赤十字奉仕団は、市内8つの分団から構成されています。普段は、各分団毎に地域に根差した活動を実施しています。また、自治体や町内会主催の防災活動に意欲的に参加し、赤十字講習指導資格取得者による講習会を実施しています。一宮市は、令和3年4月から中核市移行しました。一宮市民37万人の防災意識の向上に向け日々取り組んでいます。

奉仕団の主な活動

● 健康生活支援講習会

一宮市危機管理課が主催する「一宮市自主防災リーダー研修会」2日目の「災害時の生活支援」に講師として活動しました。地域の防災担当者、防災に興味関心のある方約30名が参加し、基礎的な知識を体系的に学んでいただき、地域の防災力強化に取り組みました。

● 一日研修

市内8分団の分団長他約20名が参加し、豊田市防災学習センターを見学しました。暴風体験や地震体験を通して自然災害の恐ろしさを実感するとともに、家庭でできる家具転倒防止などの地震対策も学びました。台風や地震、火事など、災害発生時の対策には日頃からの心がけが大切だと改めて感じました。



一宮市自主防災リーダー研修会



一日研修：豊田市防災学習センター

活動ピックアップ!

活動名：いちのみやボランティアフェスティバル

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年10月19日（日）

参加人数：7名

● 活動のきっかけ

毎年10月に、市内のボランティア団体が一堂に会し、市民へ福祉の理解を促すイベント（一宮市社会福祉協議会主催）が実施されます。来場された方々に、奉仕団の活動を知っていただく機会になればと思い出展しました。



いちのみやボランティアフェスティバル

● 活動の内容

来場者に、「ぼうさいまちがいがし きけんはっけん」の体験や、災害時に役立つ「ふろしきリュック」の作成をしていただきました。また、体験された方に対し、啓発物品を配布するなど、奉仕団の活動について周知しました。

● 活動の成果・効果

イベントに来場した親子や子供たちに、ゲーム感覚で災害発生時に起こる危険について、どのように身を守るかなどを考えてもらいました。また、風呂敷でリュックを作り、手ぶらで避難できるようにする体験などを通じて、災害時の危険について改めて考えていただきました。

● 奉仕団のPR

一宮市赤十字奉仕団は、年々団員数が減少し、分団の解散も続いています。高齢化も進み、次の世代への継承が難しくなっています。地域に根差した防災活動を進めるには、奉仕団の力が必要です。指導員による講習会の実施や、一日研修での分団同士の交流など、活動の機会を増やし、市民の皆さんに奉仕団の精神や活動に関心を寄せていただけるよう尽力していきたいと思えます。そして、若い世代の方々や、男性にも入団していただけるよう、団員募集にも力を入れていきたいです。



福祉施設歳末訪問

春日井市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：伊藤 安子（就任2年目）
団員数：194人（男：0人、女：194人）
結成年月日：昭和26年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団
健康生活支援講習指導員：2人
幼児安全法指導員：1人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：10人

団 紹 介

私たち春日井市赤十字奉仕団は、地域の身近なボランティアとして災害時に備え、炊き出し等の訓練や災害の知識を広める啓発活動を行っています。また、「博愛」の精神で募金活動や、献血の啓発活動も精力的に行っています。

奉仕団の主な活動

● 地区防災講習会

4地区に分かれて、万が一の災害に備えた講習会を行いました。午前中は災害時を想定し、ハイゼックス炊飯袋やポリ袋を使用した調理を、午後は防災に関する講習を実施しました。

● 春日井まつりでのクイズ

防災グッズが当たるクイズコーナーを2日間にわたり実施しました。災害に対する知識や日頃の備えの大切さを、子どもから大人まで、多くの方に楽しく学んでいただきました。

● 大型紙芝居の読み聞かせ

世界の恵まれない子どもたちに、自らのお年玉を募金してくれる園児たちがいます。そのやさしさのお礼として、大型紙芝居の読み聞かせや手遊びを実施し、多くの園児たちに楽しんでいただきました。



防災調理講習の様子



春日井まつりの様子

活動ピックアップ!

活動名：大阪・関西万博での管外研修

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年9月22日

参加人数：24名

● 活動のきっかけ

大阪・関西万博に、パビリオン「国際赤十字・赤新月運動館」が出展されることを知りました。例年では12月に管外研修を行っているのですが、紛争や災害等の人道危機の現状や赤十字の使命を改めて学ぶ良い機会であると考えたため、大阪・関西万博の赤十字パビリオンを今年度の管外研修先としました。



万博入口付近での集合写真

● 活動の内容

急遽決定した研修であったため、どのように現地へ向かうか、何度も打ち合わせを行いました。当日は渋滞により到着予定時間から大幅に遅れての到着となりましたが、余裕をもたせた計画のおかげで、予約時間通り赤十字パビリオン館で研修を実施することができました。館内のスタッフの案内に従い、映像で赤十字の理念や活動を学びました。また、今回の見学で感じたことを、大型スクリーンに投影しました。



大型スクリーン前での記念撮影

● 活動の成果・効果

世界各地で発生する紛争や災害などの人道危機の現状や、そうした現場で活動する赤十字職員の思いを学ぶことができました。今回の学びを活かし、防災への取り組みや啓発活動等、これまで以上に奉仕活動に取り組んでいきます。

● 奉仕団のPR

春日井市赤十字奉仕団では、奉仕団員としてのスキル向上に力を入れています。例えば、地区防災講習会では、消防署に依頼してAEDの講習・三角巾の使用方法を学ぶ応急手当講習を実施しました。また、健康生活支援講習指導員・幼児安全法指導員の資格をもつ団員による、団員を対象とした勉強会も複数回実施しています。来年度も、団員のスキル向上を目指して頑張っていきます。



応急手当講習の様子



健康生活支援講習指導員による勉強会

犬山市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：原 美紀（就任1年目）
団員数：42人（男：3人、女：39人）
結成年月日：平成8年8月8日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：2人
健康生活支援講習指導員：2人
幼児安全法指導員：1人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団 紹 介

犬山市赤十字奉仕団は結成以来、防災講習会の開催、地域でのボランティア活動の実施、災害時の募金活動、各種イベントへの参加など、地域に根差した活動を行っています。

奉仕団の主な活動

● 総合防災訓練

犬山市総合防災訓練にブース出展し、カレーの炊き出しを行いました。アルファ米を使い400食分を用意し、訓練の参加者に提供しました。有事の際を想定し手際よく行いました。

● 募金活動

令和7年5月23日（金）に「広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン」の街頭活動、令和7年12月5日（金）に「NHK海外たすけあい」の募金活動を実施しました。当団では、毎年数回募金活動を行っていますが、令和6年度から、愛知県立犬山高等学校の社会貢献部員との共同事業として実施、今年度も一緒に募金を呼びかけました。

● 健康生活支援講習・救急法講習

地域のサロンや婦人会、地区コミュニティから依頼を受け、指導員が講習会を数回実施しました。健康生活支援講習として、ホットタオルの作り方や身体リラクゼーションの実技指導などを行ったり、救急法講習としてAEDを使った心肺蘇生のデモンストレーションなどを行ったりしました。



総合防災訓練



募金活動

活動ピックアップ! ① 防災講習会

活動の時期・参加人数

日 時：令和7年6月24日（火）
参加人数：24名

活動の内容

当団では、防災講習会として、毎回炊き出し訓練と指導員による救急法や健康生活支援講習を行なっています。

炊き出し訓練では、今年度は混ぜご飯、余り野菜のお吸い物、小麦粉と水だけで作るパンケーキを作りました。

救急法講習では、けがをした時の手当てやAEDが到着するまでの初期対応、健康生活支援講習では避難所等のできるホットタオルの実技指導などを行いました。



活動の成果・効果

有事の際にいつでもすぐ活動できるよう炊き出し訓練をしています。市の総合防災訓練でも多くの方に提供することができました。

また、心肺蘇生やAEDの使い方、ホットタオルやハンドマッサージについて学び、目の前で起きた緊急時や、災害時の避難所で自分に何が出来るか考えるきっかけになり、とても有意義でした。

活動ピックアップ! ② 啓蒙活動

赤十字奉仕団を多くの方に知ってもらうため、犬山市産業振興祭にブースを出展し、イベント（防災スリッパ作りや塗り絵など）を体験してもらい、赤十字奉仕団の活動を周知しました。

100名以上の方が参加して頂き、日本赤十字社や赤十字奉仕団の活動を知ってもらうことが出来ました。



奉仕団のPR

いろんな世代の団員同士、協力し合い学び合いながら、新しいことにもチャレンジした1年になりました。また、救急法と健康生活支援講習指導員が2名ずつに加え、新しく幼児安全法指導員が1名増えたので、今後地域のコミュニティやサロンなどでさらに活発に講習活動を行いたいと考えています。

江南市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：矢土 あつ子（就任2年目）
団員数：60人（男：0人、女：60人）
結成年月日：平成10年3月26日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：2人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：9人

団 紹 介

江南市は比較的災害の少ない地域と言われてはいますが、いざという時のために防災訓練に力を入れています。奉仕団も6月を皮切りに11月まで参加するとともに、年に2回の人道法講座、AEDの講習を受けスキルアップをしています。また、アピタ江南西店、ピアゴ布袋店での献血のお手伝いも夏の暑い中、冬の寒い中に行っています。募金活動は年に3回、団員一丸となってがんばっています。

奉仕団の主な活動

● 活動名：視察研修会

9月12日、各分団から5名、合計20名で大阪・関西万博を視察しました。暑い時期ではありましたが、見るもの聞くもの珍しいものばかりで、楽しく元気に見学できました。日本赤十字社のパビリオンでは、災害時の映像を見て胸が痛みましたが、被災者支援や災害に備えた奉仕団としての活動の大切さを改めて実感しました。

● 活動名：生活習慣病の改善法講演

10月15日、21日～23日の4日に渡って、豊田邦彦医師に講演していただきました。

各分団とも12名ほど、全体で40名ほどが参加しました。奉仕団活動も健康の一助になっていますね、というお言葉をいただき嬉しく思いました。

団員一同、健康については関心が高く、多くの質問が飛び交う大盛況の講演となりました。



大阪万博にて



豊田先生と記念写真

活動ピックアップ!

活動名：自主防災合同訓練

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年6月15日、6月22日、9月14日、9月21日、9月27日、9月28日、10月5日、
11月3日、11月22日 午前9時～11時

参加人数：延べ91名

● 活動のきっかけ

江南市役所防災安全課からの依頼で、市内の小学校において、地元の方たちと一緒に防災訓練のお手伝いをしています。

● 活動の内容

止血の仕方や、避難所での寒さと動きやすさを考えて、毛布を羽織るだけでなくガウンのように着る方法を指導しました。洗濯ばさみとロープ1本を使います。

また、スリッパを新聞紙で作ったり、防災頭巾をごみ袋で作る方法などもお伝えしました。

● 活動の成果・効果

訓練参加者からは、「こんな方法があったのね」「便利ね」とお声をいただき好評でした。

参加者の防災意識を高めるとともに、訓練前に団員同士でたくさん練習をしたことにより、団員の知識も深めることができました。



自主防災合同訓練の様子

● 奉仕団のPR

今年度は、いままでコロナで自粛していた炊き出し訓練も再開しました。一日分団講習会ではハイゼックスを使いいろいろやポトフ、カレーを作り試食するとともに、総合防災訓練ではいろいろやカレーを市民に配食しました。200食があつという間に無くなり、おかわりが欲しいねという声もいただき、作り甲斐がありました。



小牧市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：酒井 美代子（就任8年目）
団員数：170人（男：0人、女：170人）
結成年月日：昭和32年10月19日
母体：小牧市女性の会
救急法指導員：2人
健康生活支援講習指導員：3人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：7人

団 紹 介

小牧市女性の会を母体とし、役職をかねて活動しています。団員研修会を随時開催しレベルアップをはかっています。赤十字奉仕団信条をふまえ、青少年健全育成活動と共に幼児から高齢者までの出前講座の奉仕活動を実施しています。

奉仕団の主な活動

● 赤十字強化月間キャンペーン

令和7年5月4日 15人

商業施設の出入口を借用し団の役員15人によるキャンペーンを行いました。買い物客は無視して通り過ぎる人、募金と間違えてお金を出そうとする人、頑張ってね！とチラシを受けとってくれる人、様々ですが笑顔を忘れず行いました。



● 防災訓練・ボードゲーム

令和7年6月1日 13人

北里小学校区のPTA・防災関係団体・消防団等が参加して、防災訓練が開催され、当団は「ボードゲーム・いえまですごろく」で参加。班に別れてサイコロを振りゴールできなくても、みんなで問題解決していくゲームだと指導しました。



防災ボードゲームの様子

● 赤十字啓発活動・ビーズバッジづくり

令和7年6月7日 11人

市民四季の森で開催された「バラ・アジサイまつり」でビーズバッジづくりと共に赤十字啓発チラシ配布を行いました。



ビーズバッジ作り体験
協力：小牧市女性の会

活動ピックアップ!

活動名：**大阪関西万博、国際赤十字・赤新月館研修**

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年9月16日～17日
参加人数：13人

● 活動のきっかけ

日本で開催される万国博覧会に赤十字のパビリオンが開設されるにあたり、どんな展示がされているか、何を研修できるか団員の期待も大きく研修計画を立てました。

● 活動の内容

県支部の計画にもとづきながら、当団員が無理のない行程（一泊二日）にし、予備学習を実施。
国際赤十字・赤新月館では「人間の命と健康、尊厳を守ること」が使命であり、その活動を展示やドームシアターでの放映で学びました。

● 活動の成果・効果

今なお、世界中で人道危機が多発、その中で誰かの為に行動をおこす人たちの尊さを学ぶ。

人種や国籍、貧富の隔てなく助けを求める人たちに手を差し伸べる、これが赤十字の基本理念だと再確認しました。

国際赤十字の活動と、奉仕団活動は比べ物にはなりません。奉仕団員である私たちは果たしてどれだけ、この精神に近づくのか疑問ですが、この研修会で感じた優しさをこれらの活動に生かしていければいいなあと思いました。

「人間を救うのは人間だ」

改めて奉仕団信条を学びなおす機会を得た気がしています。



● 奉仕団のPR

母体の小牧市女性の会活動とうまく日程調整しながら、年間行事計画を立て、活動をおこなっていきます。

特に子ども向けの活動に力を入れていきたいと思います。防災の知識やこども未来館で人気のビーズバッジ作り、さらに日本赤十字社の役割や、私たち奉仕団の仕事の必要性を伝える活動もしていきたいです。やがて成長し、赤十字活動に興味を持ち奉仕活動に参画してくれる若者が出れば嬉しいです。

又、高齢者の健康生活指導・支援等、私たちの出来る奉仕活動を今後も続けていきます。

稲沢市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：浅野 千古（就任1年目）
団員数：28人（男：0人、女：28人）
結成年月日：平成5年10月8日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：0人
幼児安全法指導員：1人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：8人

団 紹 介

いつも明るく元気よく、団の大部分を占める先輩団員からのお知恵を拝借しつつ、今みんなができることを頑張りながら活動しております。

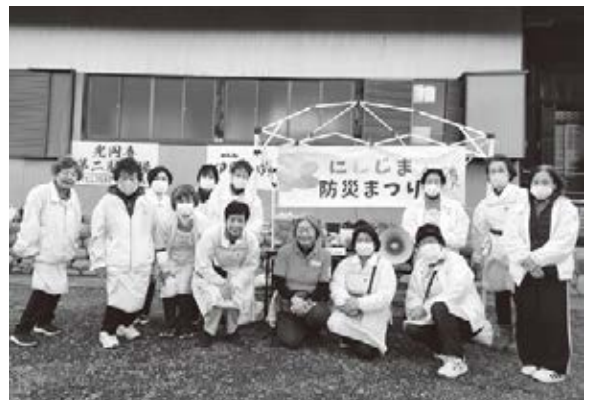
奉仕団の主な活動

炊き出し訓練

団のメイン活動として毎年実施をしています。ハイゼックスを用いた炊飯をハソリ釜を使って行っています。

9月28日（日）稲沢市総合防災訓練

10月25日（土）福祉まつり



地区防災訓練への参加

団員の技術の向上と団員以外の方にもハイゼックス炊飯袋の使い方を周知することを目的として地区防災訓練に参加しました。団員以外の方にもハイゼックス炊飯袋にお米と水を入れ、ゴムをかけていただき、団員がうまく空気が抜けているか厳しくチェック。何度もやり直しをしているお子さんもみえました。1つも弾けることなく仕上がったハイゼックス炊飯袋をみた地区の方が感心してみえました。



地区防災訓練

雑巾づくり

前年同様、団員の気力向上・維持の一環として、年に6回、地区ごとに実施しました。完成した雑巾は、3月25日に市内の福祉施設2か所にお届けしました。

私たちの強みとなる活動 ～令和8年に向けて～

● これまでの活動の柱

活動名：炊き出し

防災訓練、福祉まつり、奉仕団内研修等で実施。時季に合わせたメニューを提供しています。

活動名：雑巾づくり

市民の方々に喜んでもらえるように、一針一針、丁寧に作成しています。



福祉まつり

● 現在の課題

団員の高齢化に加え、退団者が増えており、団員の維持、増員が急務です。指導員、支援員の資格保持者が少なくなっており、養成も急務です。

● 令和8年度の活動に向けて

一般市民の方々に喜んでもらえる奉仕をする団でありたいです。

「福祉まつり」「防災訓練」では、日頃の活動の成果を発揮していきたいです。



福祉まつりでの炊き出し

● 令和8年度の活動目標

私達奉仕団の得意なことは、「防災食」でお役に立つことではないか、と思います。

そのためにも、団員ひとりひとりが技術を維持向上できるよう講習を取り入れていきたいです。

● 奉仕団のPR

「幾つになっても、人の為に活動したい！」
そんな思いで日々活動しています。
災害発生時には、温かい食事で被災者に寄り添い活躍していければと思っています。



視察研修にて

尾張旭市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：松原 しず（就任2年目）
団員数：86人（男：0人、女：86人）
結成年月日：昭和32年10月19日
母体：尾張旭市地域婦人団体連絡協議会
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：0人
幼児安全法指導員：1人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団 紹 介

尾張旭市地域婦人団体連絡協議会を母体として、災害・減災に関する講習会の企画実施や献血運動、募金活動の推進、社会福祉施設への奉仕活動等、地域に根ざした活動を展開しています。

奉仕団の主な活動

● 広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン（展示）

「尾張旭市 健康の日」に開催されるあさひ健康フェスタの期間のうち、4月28日（月）～5月9日（金）に、尾張旭市役所にて赤十字活動についてのパネル展示や啓発物品を配布するなど、市民の方に向けて赤十字のPR活動を行いました。

● 奉仕団員研修 救急救命講習

6月11日（水）に救急救命講習を受講しました。日本赤十字社愛知県支部から指導員を招き、21名の奉仕団員が心肺蘇生法やAEDの使い方などを学びました。胸骨圧迫を交代するタイミングや周りの方への指示の出し方など、多くの練習を行い、災害時等に備えて意義のある講習になりました。

● 白鳳自主防災訓練「非常食」

11月9日（日）に白鳳小学校にて実施された、白鳳自主防災訓練に奉仕団員4名が参加しました。災害時にも役立つパッククッキングを紹介し、参加された方からも好評でした。



あさひ健康フェスタでの展示



救急救命講習の様子

活動ピックアップ!

活動名：赤十字パビリオンの見学研修

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年9月25日（木）

参加人数：28名

● 活動のきっかけ

大阪・関西万博において赤十字パビリオンが出展されることで、赤十字事業への理解促進や今後の奉仕団活動のためにも見学したいと、多くの奉仕団員が関心をもっていたため実施しました。

● 活動の内容

大人数で遠出の研修は初めてだったので、事故やトラブルがないよう規則づくりをしたり、マップにルートを記載したりと、事前に何度も話し合いを行いました。

当日は、計画通り研修を進めることができました。全員で赤十字パビリオンを体験した後、数人ずつのグループに分かれて万博内の見学をしました。



大屋根リング

● 活動の成果・効果

赤十字パビリオンを見学して、紛争や災害のない平和な日々の価値を改めて感じられました。ドームシアターで危機の現場の映像を見て、いつ起こるかわからない災害を自分事と捉えることで、「緊急時における適切な行動」を考える良いきっかけとなりました。また、「誰かの力になりたい」と思った奉仕団員も多く、今後は講習会などにもっと積極的に参加してみようかなという声もありました。

研修を通して、奉仕団員が以前よりもまとまったようなとても良い雰囲気を感じました。さらに、赤十字への理解をより一層深められたので、これを機に全員で協力して更なる活動を行っていきたいと思います。



赤十字パビリオンでの集合写真

● 奉仕団のPR

私たち尾張旭市赤十字奉仕団は、地域の方々との繋がりを大切にしながら様々な活動に取り組んでいます。今年度は、幼児安全法指導員が新たに誕生しました。子ども達の命を守るための正しい知識や技術を多くの方に知っていただけるように、今後は講習会などを開催したいと思っています。これからも赤十字奉仕団の素晴らしさをPRしつつ、より一層の輪が広がるように精一杯活動をしてまいります。

岩倉市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：寺澤 陽子（就任10年目）
団員数：30人（男：0人、女：30人）
結成年月日：昭和28年2月9日
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：2人
幼児安全法指導員：2人
指導員：4人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：8人

団 紹 介

活動は長く継続され、先人たちの意思をついで今日に至っている。昔から岩倉市婦人会が母体となっていたが、令和6年度をもって岩倉市婦人会が解散したため、婦人会構成員の有志により赤十字奉仕団が承継され、30人程が中心となって活動している。

奉仕団の主な活動

● 広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン

5月9日、岩倉駅前にて団員20名で啓発品を配布しPR活動を行いました。

● 献血受付（年5回）

市内公共施設で行う献血の受付等を1回につき2人が協力して合計5回行いました。

● 幼児安全法支援員養成講習

岩倉市ふれあいセンターにて、子どもに起こりやすい事故の予防と手当および乳幼児に対する心肺蘇生法とAEDの使い方などを学ぶ講習を実施しました。

● 視察研修

令和7年6月30日、大阪・関西万博を見学しました。国際赤十字・赤新月運動は、「人間のいのちと健康、尊厳を守ること。」という使命を胸に、世界中で苦しんでいる人を救う活動です。日本赤十字社が出展した国際赤十字・赤新月運動館では、世界の人道危機、そこに立ち向かい、立ち上がる人々の姿を映像を通して実感しました。



活動ピックアップ!

活動名：幼児安全法支援員養成講習

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年12月17日（水）、18日（木）

参加人数：5名

● 活動のきっかけ

体制の変更により、新たな団員の発掘をすることや、講習会の継続的かつ自主的な開催のために支援員養成が必要であることから、幼児安全法支援員養成講習を自主開催することとなった。

● 活動の内容

初めて岩倉市赤十字奉仕団主催で一般向けの幼児安全法支援員養成講習を開催しました。指導員資格を持つ奉仕団員が、日本赤十字社愛知県支部から派遣された指導員とともに、幼児安全法支援員に興味を持った一般参加者向けに2日間午前、午後のカリキュラムでみっちり座学と実技の講習を行い、修了者には終了証を交付しました。



指導員からの説明



奉仕団員がサポートしながら実践

● 活動の成果・効果

岩倉市奉仕団として初めての一般向け講習会を主催することができました。実際にAEDの操作や胸骨圧迫を交代で行い、その都度指導員から正しい実践方法やポイントなどを教わりました。この講習会の参加をきっかけに奉仕団の活動に興味をもってもらうことができました。今後も継続的に開催し、すそ野を広げたいと考えています。

● 奉仕団のPR

令和7年度は、母体組織の解散により新たな体制でのスタートとなりました。今後は、若い世代の方々や、女性だけではなく男性にも入団していただけるよう団員募集にも力を入れていきたいと思っています。

豊明市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：伊藤 啓子（就任2年目）
団員数：20人（男：0人、女：20人）
結成年月日：昭和57年4月1日
母体：単独奉仕団
健康生活支援講習指導員：1人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団 紹 介

当団は、旧婦人会OBが母体となり昭和57年4月1日に結成されました。豊明市を北部・西部・南部・中部の4地区に分け、それぞれの地区から5人の役員が選出し、全地区がバランスよく活動できるように配慮しています。

毎年社資募集への協力依頼、献血事業の支援、県内外研修等を通じて見聞を広めるとともに役員同士の交流を深めて、団結力を高めています。

奉仕団の主な活動

● 広めよう！赤十字一斉キャンペーン

5月9日（金）、奉仕団員20人がMEGAドン・キホーテUNY豊明店と前後駅前広場において、啓発用のぼりとポケットティッシュを活用し、赤十字の街頭啓発活動を行いました。

● 健康生活支援講習会

10月8日（水）、昨年度に健康生活支援講習指導員資格を取得した伊藤委員長の講師デビューとして、「健やかな高齢期を過ごすためにフレイル予防で健康寿命を延ばそう」をテーマに、健康生活支援講習会を奉仕団員20人向けに行いました。

また、講習会と併せ、市専門職によるとよあけ健康体操や、県支部から横井講師を派遣いただいて、災害時に行うところのケア体験会も実施しました。

健康寿命を延ばすため、日々の生活の中で「フレイル予防」の知識と対応について学ぶ良いきっかけになりました。



（健康生活支援講習会）
県支部から講習資材を受取る伊藤委員長

● 幼児安全法講習会

10月16日（木）、「リズムで育脳グループ」協力のもと、委員長が講師、幼児安全法支援員講習を修了した奉仕団員3人が補助役となり、人形や動画を使った講習（「幼児の特徴と事故予防」・「幼児の一時救命処置（心肺蘇生とAEDの使い方）」を行いました。午前・午後の2部制で、計11名の保護者に参加いただきました。



（幼児安全法講習会）
乳児人形を用いたAED講習の様子

活動ピックアップ!

活動名：ハートラちゃんがやってきた! (献血事業支援)

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年11月2日(日)

参加人数：奉仕団員13人

● 活動のきっかけ

奉仕団員より、ハートラちゃんの着ぐるみを活用して献血のPRができないかと提案があったことから、今回の活動が決まりました。

● 活動の内容

当市では、例年7月・12月・3月(豊明市役所)と11月(豊明秋まつり)に各会場にて献血が行われ、奉仕団員20人が会場内で献血の協力の呼びかけや案内を行っています。

今年度初めて、11月の豊明秋まつり会場にてハートラちゃんとともに献血のPR活動を行いました。

着ぐるみの着用は奉仕団員全員にとって初めての経験。一生に一度の経験!と、代表団員が交代でハートラちゃんとして活動しました。

11月ではありましたがまだまだ暑く、団員の体力や体調に配慮しながら活動しました。



PR活動中のハートラちゃん

● 活動の成果・効果

子どもたちに大人気で、予定を超えての登場回数で、結果は大成功。年間を通しての献血数も昨年と比較し増加の結果となりました。

● 奉仕団のPR

当団は75歳で定年・役員任期2年の制度で円滑に活動しています。

委員長は、昨年度取得した「健康生活支援講習指導員」の資格を活かし、今年度は講師を担当するなど積極的に活動しています。今年度新たに「幼児安全法指導員」の資格保有者も増え、団員一丸となって日赤の活動に取り組んでいます。

日進市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：井上 勝久（就任10年目）
団員数：32人（男：2人、女：30人）
結成年月日：平成7年7月21日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：2人
健康生活支援講習指導員：2人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団 紹 介

日進市の人口は、令和8年1月末時点で9万4千人を超えています。奉仕団では、自主防災会や各種団体を中心に講習会を実施するとともに、市内で行われる行事にも参加し、講習会や奉仕活動を行っています。団員一同は、赤十字社の奉仕の精神をもとに講習会の回数を増やし、地域の方々に微力ながら貢献できるよう、今後も努力してまいります。

奉仕団の主な活動

● 地域連携救急法講習会活動

令和7年度第1回委員長会議の際、尾張旭奉仕団の委員長から「尾張旭市で救急法の講習を実施していただけないか」と相談を受け、その場で実施を承諾しました。講習は、7月9日に尾張旭中央公民館で、10時から12時までの2時間（受講者20名）、また、8月2日には同市渋川福祉センターにおいて、尾張旭市マインドフェアの参加者に対しても救急法講習を実施しました（受講者65名）。参加者からは「大変勉強になり、いざという時には人の助けになりたい」といった感想をいただきました。



地域連携の講習状況

● 健康生活支援講習活動 8回実施 月1回

昨年度は実施回数が少なかったため、令和7年度は市内の7つの福祉施設（受講者合計291名）で講習を行い、民生委員の方々にも講習を実施しました。各施設での手伝いも行い、1月15日には中学生3名も講習の補助をしてくれました。「受講者の方々に喜んでいただき、自分も良い経験ができた」との感想をいただきました。また、名古屋学芸大学の担当者1名、長久手市奉仕団の担当者3名が見学に訪れました。長久手市奉仕団の方からは「高齢者の方々が喜んでくださり、非常に勉強になりました。今後、当地区への応援もお願いしたい」との言葉をいただきました。



講習会に参加した中学生

活動ピックアップ!

活動名：福祉まつりで豚汁提供

● 活動の時期・人数

日 時：令和7年11月16日（日）午前9時から午後3時まで
場 所：日進市スポーツセンター
人 数：団員10名・豚汁220食作成有料提供

● 活動のきっかけ

当奉仕団では、福祉まつり（以前は市民会館まつり）に参加してから10年以上が経過しましたが、祭りの参加者からは「豚汁がとてもおいしい」との言葉を多くいただいています。そのため、豚汁のみの提供を今も続けており、今後もこの活動を続けていきたいと思っています。

● 活動の内容

1ヶ月前に役員で、市のキャンプ場を借りて炊き出し訓練を行い、その後、団員と再度訓練を実施します。まつりの前日には、具材の買い出し後、福祉会館の調理場で具材を切ります。大鍋セットは前もって市から借用し、調理器具や具材などは当日持参します。ガスボンベは当日、業者の方にセットしていただき、調理を開始します。

● 活動の成果・効果

成 果

- ①皆さんが喜んで「美味しかった、また来年もたのむよ」と声をかけられると努力をしていきたいと思っています。
- ②豚汁の売り上げを全額、市の福祉協議会へ寄付をしました。

効 果

参加した団員から災害時は助け合いの精神で市から炊き出しの要請があれば駆けつけて行いたいと思う、それには ①自助（家庭）家族の安全と建物の確認、②共助（近隣）自助が安全ならば隣近所の方に声掛けをする。①と②を確認して助けが必要ならば、③公助（役所等）に連絡をして助け合うことが大事である。



豚汁提供状況

● 奉仕団のPR

- 現在、団員数は32名であり、今後は団員の加入を促進していきたいと考えています。また、現団員の中から一人でも多くの方が資格を取得できるよう、推進してまいりたいと思います。令和7年度は日進市内全域で11月9日に避難所訓練を実施することから、自主防災会での救急法・幼児安全法の講習回数が減少してしまいました。その代わりに、健康生活支援講習は令和6年度は数回実施されましたが、令和7年度は市内すべての福祉会館で講習会を行うことができました。近隣市町でも団員数の減少が見られるため、近隣市町や名古屋学芸大学赤十字奉仕団とも連携を深め、地域全体で活動の輪を広げていきたいと考えています。
- 委員長の紹介：私のモットーは、赤十字奉仕活動に生きがいを感じていることです。また、「近隣市町」と連携しながら、奉仕団活動や災害時等の協力をしていきたいと考えています。

清須市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：岸本 洋美（就任1年目）
団員数：398人（男：0人、女：398人）
結成年月日：平成17年7月7日
母 体：清須市女性の会
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団 紹 介

清須市赤十字奉仕団は、災害救護に備え、毎年継続してハイゼックスの使い方を学ぶための炊き出し訓練や応急手当の講習などの受講を積極的に行い、団員の資質の向上に努めています。また、地域福祉向上のために福祉施設で草取りボランティアなどの奉仕活動を積極的に行っています。

奉仕団の主な活動

● 5月の愛知一斉キャンペーン

令和7年5月1日、市内のスーパー3カ所で、5月の赤十字運動月間に「広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン」として、啓発用ののぼりや配布用のポケットティッシュを活用し、市民の皆様に対して赤十字の活動内容の理解及び支援の促進ができるように市奉仕団員が活動を実施しました。 【参加人数21名】



5月の愛知一斉キャンペーン

● AED講習

令和7年11月18日、清洲市民センターにてAED講習を受講しました。AED講習はいざというときの備えとして、毎年実施しています。講習では、AEDの使い方を学ぶ以外に、AEDの手配や119番の通報の指示出し、胸骨圧迫、人工呼吸、交代するタイミングの練習など心肺蘇生の一連の流れを実践方式で学びました。

また、毎年AED講習に合わせて、災害時に知っておくと役に立つことについて講習をしていただいています。今年度は三角巾を使った包帯法について学びました。 【参加人数30名】



AED講習

活動ピックアップ!

活動名：市総合防災訓練

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年10月4日（土）

参加人数：30人

● 活動のきっかけ

市では、南海トラフを震源とする巨大地震の発生が懸念される中、地震災害を想定した総合防災訓練を実施しています。市赤十字奉仕団では、災害時には、市から市民に対する食糧供給として、炊き出し実施の協力が要請されることが計画されているため、毎年市の総合防災訓練において、はそりを使った炊き出しの訓練をしています。

● 活動の内容

地震災害の影響により電気・ガス・水道等のライフラインが寸断したという想定で訓練を実施しています。各種ライフラインの寸断に備えて、ガスはプロパンガスにより炊き出し用の燃料を確保し、水道は名古屋市上下水道局の給水車より飲料水の提供を受けることで炊き出しを実施しています。

また、今年度は当日来てくださった市民の方々に実際にハイゼックスを使いお米を炊いていただく体験会を行いました。



はそりを使った炊き出し



体験会の様子

● 活動の成果・効果

炊き出し訓練の成果もあり、市民の方々へのハイゼックスの使い方の説明をスムーズに行うことができました。雨天での開催でしたが多くの市民に啓発することができたと感じました。

奉仕団のPR

清須市赤十字奉仕団は、活動の際にはお揃いの赤いポロシャツを着て活動しています。

今年度は、AED講習や視察研修として愛知県赤十字血液センターに行くことで多くのことを学ぶことができました。また市民にハイゼックスの使い方を教えるなど学んだことを伝えることもできた年でした。

来年度も、新しいことを学び、学んだことを伝えることで奉仕団の活動をPRしていきたいと思えます。

北名古屋市師勝赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：伊藤 武子（就任4年目）
団員数：12人（男：0人、女：12人）
結成年月日：昭和32年4月1日
母体：女性の会
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団 紹 介

私たちは、災害時における訓練（炊き出し・講習会等）に重点を置いた活動を行っています。団員の入れ替わりがあった際も、経験者が未経験者に指導できるよう、反復した練習を行っています。

奉仕団の主な活動

● 広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン

市内スーパーで赤十字の啓発活動を行います。

● 防災講習会

午前：炊き出し訓練、午後：防災講習を実施しました。

● 救命講習会

救命講習会に参加しました。



救命講習会の様子



北名古屋市災害ボランティアセンター設置・運営訓練の様子

活動ピックアップ!

活動名：防災講習会

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年11月26日（水）

参加人数：団員12名

● 活動のきっかけ

団員の入れ替わりがあった際も、経験者が未経験者に指導できるよう、毎年炊き出し訓練を含めた防災講習会を実施しています。

● 活動の内容

午前：炊き出し訓練、午後：防災講習を受講しました。



防災講習会の様子

● 活動の成果・効果

炊き出し訓練未経験者がいましたが、ハイゼックスで米飯と野菜類を同時に調理できました。防災講習では、実際の地図を使用し、災害時における危険な場所などを想定しながら地域について考えました。

● 奉仕団のPR

定期的に団員の入れ替わりがあるため、経験の浅い団員もいます。そのような中、いざ災害が発生したときに奉仕団として炊き出し等の活動をスムーズに行えるか不安があります。

若い世代が参加したくなるような取り組みを行い、団員として取り組むことができれば、団員の拡充とともに団員の高齢化も防ぐことができると考えます。

北名古屋西春赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：大野 久雄（就任2年目）
団員数：17人（男：1人、女：16人）
結成年月日：平成元年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：1人
健康生活支援講習指導員：1人
幼児安全法指導員：1人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団 紹 介

私たちは、地域に根付いた活動に重点を置いています。常に「奉仕」の精神を忘れず、団員一丸となって活動しています。

奉仕団の主な活動

● 保育園での幼児安全法講習協力

7月上旬から12月上旬にかけて保育園で実施されたAED講習に参加協力しました。

● 広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン

西春駅前赤十字の啓発活動を行います。

● 防災講習会

午前：炊き出し訓練、午後：防災講習を実施しました。

● 交流会

豊田市奉仕団と交流会を行い、お互いの活動や悩みについて相談し交流を深めました。



保育園での講習協力の様子



豊田市奉仕団交流会の様子

活動ピックアップ!

活動名：JRC 加盟校へ救急法短期講習実施

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年6月12日（木）

参加人数：5名

場 所：白木中学校

● 活動のきっかけ

JRC 加盟校からの依頼を受け、白木中学校の教員へ救急法短期講習を実施しました。

● 活動の内容

白木中学校の教員を対象に、生徒が危険な状態になってしまったときの対応方法について実践的な講習を行いました。サポート役を配置し、わからないけど聞けないという状況にならないようにしました。



救急法短期講習の様子

● 活動の成果・効果

教育関係の方々と連携・協力することで、有意義で実践的な訓練となりました。今回の講習を通じて、多くの方に奉仕団のPRができ、有益な活動だったと思います。

● 奉仕団のPR

今年は加入者がいましたが、団員の高齢化は進んでいます。活動を通じて、少しでも多くの方に活動に興味を持ってもらえれば嬉しいです。

今後も地域に密着した奉仕活動を行い、奉仕団についての理解を深めてもらうように努めて参ります。

豊山町赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：岡島 薫（就任8年目）
団員数：41人（男：0人、女：41人）
結成年月日：昭和54年8月3日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：1人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：3人

団 紹 介

私たち豊山町赤十字奉仕団は災害救護活動をはじめ、豊山町や社会福祉協議会が実施する地域の福祉事業にも積極的に協力をしています。

奉仕団の主な活動

● 町内保育園での幼児安全法講習会

6月6日・13日・17日に町内3保育園にて年長親子を対象にストッキングを使った応急手当や気道異物除去法を実施しました。参加人数：16名

● 町防災訓練

9月7日に町防災訓練に参加し、ポリ袋ごはんとかレーをつくりました。猛暑であったため、食材の保管法や消毒の徹底など、衛生管理の面での課題が見つかりました。参加人数：16名

● 募金活動への協力

12月6日に町内スーパーで歳末たすけあい街頭募金に協力しました。豊山町の少年野球チームと一緒に活動しました。参加人数：4名



保育園での幼児安全法



防災訓練での炊き出し

活動ピックアップ!

活動名：児童センターでの幼児安全法講習

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和8年2月2日（月）

参加人数：8名

● 活動のきっかけ

令和7年度は1名の団員が幼児安全法指導員養成講習を受講し、指導員資格をとりました。例年開催している保育園での幼児安全法の指導練習もかねて、しいの木児童センターの乳幼児親子対象のイベント開催時にデビュー戦として実施しました。

● 活動の内容

児童センターでもよく質問があるたんこぶの話や気道異物除去など、こどもに多いケガの手当を指導しました。人形を使って実際に背部叩打法や腹部突き上げ法の練習もしてもらい、実践から学んでもらうことができました。



児童センターでの幼児安全法

● 活動の成果・効果

初めての指導で緊張のなか、37名の親子に参加してもらい無事に終えることができました。

皆さんとても真剣に取り組んでくださり、火傷に関する質問などもいただきました。

児童センター職員とも連携がとれたため、子どもが遊んでいる間に保護者の方が集中して受講できる環境だったこともとても良かったです。

今後も保育園の活動に加えて、年に1回継続して開催して幼児安全法を町内に広めていきたいと思っています。

課題とこれから

豊山町赤十字奉仕団では団員の減少が深刻な課題となっています。チラシを配布してもあまり効果がなく、近年は団員が知り合いの方に声をかけて入団というパターンが多いです。

これからも団員からのつながりを活かした勧誘に力をいれていきたいです。

また、活動については仕事と両立されている方がほとんどなので、公式LINEを活用して早めの連絡を心掛けています。

扶桑町赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：井辰 裕子（就任1年目）
団員数：8人（男：1人、女：7人）
結成年月日：昭和52年4月1日
母体：単独奉仕団
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：0人
幼児安全法指導員：0人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：0人

団 紹 介

扶桑町赤十字奉仕団は、年間を通して障害者支援施設等への奉仕活動、献血受付などを行っています。

奉仕団の主な活動

● 活動名：献血ボランティア活動

年に4回、町内の献血会場で、受付のお手伝いを行いました。

参加人数：延べ15名

● 活動名：障害者施設でのボランティア活動

年に6回、町内の障害者支援施設を慰問し、清掃活動を行いました。

参加人数：延べ18名

● 活動名：保健室ボランティア活動

年に4回、小学校の保健室に出張を行い保健室にて手当ボランティアを行いました。

参加人数：延べ8名

活動ピックアップ!

活動名：献血ボランティア活動

● 活動の時期・参加人数

日 時：7月、11月、12月、3月
参加人数：延べ15名

● 活動のきっかけ

扶桑町では企業や学校などで献血を実施しており、多くの方に献血していただいております。しかし、人数が多く受付が混み合ってしまうことから、スムーズに案内できるように受付の補助として奉仕団の献血ボランティアが始まりました。

● 活動の内容

献血をしていただくにあたり、受付時のパソコン操作などを補助することでスムーズな受付を行っています。

● 活動の成果・効果

受付の流れがスムーズになることで、多くの方に献血のご協力をいただけました。

● 奉仕団のPR

団員の高齢化と若い世代の入団希望者がいないことが喫緊の課題です。障害者支援施設での清掃支援、献血の受付などのボランティアを行うとともに、町民が集まるイベントなど機会をとらえて住民の皆さんに赤十字の精神及び奉仕団活動に関心を寄せただけよう努めています。

また、保健室ボランティア活動は、扶桑町赤十字奉仕団の活動の中で定着し、団員全員がその活動の重要性と深く責任を認識しています。

今後も、住民の方と接する中で、扶桑町のスローガンでもある「みんなの笑顔がかがやくまち」を実践していきたいと思っております。

地域赤十字奉仕団
知多・海部地区

津島市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：杉浦 美和子（就任5年目）
団員数：40人（男：0人、女：40人）
結成年月日：昭和57年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団 紹 介

津島市赤十字奉仕団は気づき、考え、実行をモットーに明るく活発な奉仕団です。団員の団結力も非常に高く、災害に関する危機意識もしっかりと持って、市内各地区ともに密接なつながりを持って防災、減災に努めています。

奉仕団の主な活動

● 赤十字講習会

活動日：令和7年6月26日 参加者：19名
団員のスキルアップのために、研修を実施しました。

● 中学校AED講習見守り支援

活動日：令和7年11月27日 参加者：9名
地域の中学校と連携強化を目指し、令和元年からAED講習の授業に参加をして生徒のみなさんの体験をお手伝いし、赤十字の普及活動を行っています。

● NHK海外たすけあい街頭募金

活動日：令和7年12月4日 参加者：17名
市役所の前で募金の呼びかけと、赤十字のPR活動を行いました。



研修の様子



AED講習会の見守り支援

活動ピックアップ!

活動名：つしまおやこワクワクフェスティバル

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和8年2月7日

参加人数：団員19名 来場者数：約300名

● 活動のきっかけ

つしまおやこワクワク体験活動フェスティバルは、津島市教育委員会主催の事業で、児童・生徒とその親が共にブースをまわり、家族の絆を深めることで地域のボランティア活動の促進を図るイベントです。奉仕団として若い世代に何かできないか考えた時に、このようなイベントを教育委員会が開催していることを知り、毎年ブースを出店しています。

● 活動の内容

今年度は、防災を題材とした紙芝居と、新聞紙を使った手作りバッグという内容でブースの出店をしました。紙芝居の題材は、防災について考えるきっかけになってもらえたらと思い選びました。



つしまおやこワクワクフェスティバル

● 活動の成果・効果

つしまおやこワクワクフェスティバルや中学校でのAED講習では、地域の若い世代にも赤十字を知ってもらう機会ができるので、今後も継続して行っていきたいと思います。

今後の活動について

研修を通して防災の知識を深め、災害が起きた際には迅速な対応ができるようになれば良いと考えています。今後も奉仕団として地域に密着した活動を行い、みなさまに必要とされる奉仕団にしていきたいと思っています。

常滑市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：生田 治代（就任1年目）
団員数：52人（男：1人、女：51人）
結成年月日：平成10年7月6日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：2人
健康生活支援講習指導員：2人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団 紹 介

常滑市赤十字奉仕団では、団員のスキルアップを図るために幼児安全法講習会を定期的に行っています。

これまでの活動を見直しつつ、団員全員で一つ一つの活動を楽しんでいきます。

奉仕団の主な活動

● 広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン

5月3日 市内商業施設で啓発活動を実施 団員6名

● 炊き出し訓練

6月11日 団員を対象に炊き出し訓練を実施 団員28名

11月3日 常滑市総合防災訓練で炊き出し訓練を実施 団員22名

1月21日 団員を対象に炊き出し訓練を実施 団員29名

● 講習会

6月11日 団員を対象に避難所での心のケア講習会を実施 団員28名

8月4日～7日 保育士を対象とした幼児安全法短期講習会を実施 団員13名

9月20日 中学生とその保護者を対象とした救急法短期講習会を実施 団員4名

1月21日 団員を対象に三角巾を用いた救急法講習会を実施 団員29名



常滑市総合防災訓練



心のケア講習会

活動ピックアップ!

活動名：防災フェスタ in 常滑2025

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年10月25日（土）午前8時30分～午後12時30分

参加人数：団員29名（前日準備18名）

● 活動のきっかけ

市民の防災意識の高揚を図ることや消防活動への理解を深めてもらうことを目的とした同イベントで、昨年度はカレーの炊き出しを行い、大変好評であったため、今年度も依頼を受けて参加しました。

● 活動の内容

今年度はカレーの炊き出しではなく、おにぎりとお肉汁の炊き出しを行いました。700食分のおにぎりとお肉汁でしたが、団員が一致団結して、手際よく炊き出しを行うことができました。



炊き出しの様子

● 活動の成果・効果

定期的にも実施している奉仕団内で行う炊き出し訓練では、何回も米を炊いたりする機会はなく、要領がわかってしまっています。そのため、どうしてもこなすだけの訓練になりがちです。防災フェスタでは、大量の炊き出しを行うので、より実際の発災時に近い状況で訓練が実施できたと思えました。当日は多くの方々に来て、活動の一環を広く人々にアピールし、奉仕団を知っていただくよい機会になりました。また、炊き出しの温かい食事が人々を笑顔にすることを実感する機会にもなりました。

● 奉仕団のPR

講習会を今後も続けていけるように、常に技能向上を目指し、いつ依頼が来ても対応できるよう指導員の資格取得に努め、イベント等多くの場で講習会を開催できる体制を整えていきたいと考えております。また、活動の機会が増えることで多くの人々に奉仕団への理解や関心を持っていただき、そこから新たな団員の確保につながればと考えております。

東海市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：小島 あづさ（就任2年目）
団員数：82人（男：2人、女：80人）
結成年月日：昭和44年6月1日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：1人
健康生活支援講習指導員：0人
幼児安全法指導員：0人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団 紹 介

私たち東海市赤十字奉仕団は平成8年4月から単独で活動をはじめ、年3回行っている団員対象の研修にも進んで参加し、個々に意識を高めあっています。研修の内容は「防災」「健康」「生活」などのテーマを中心に、外部講師や団の指導員で実施しています。令和6年度からは、コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが第5類になったため、色々な団体から依頼が来るようになり団員が一丸となり積極的に参加しています。

奉仕団の主な活動

● 防災訓練

- ・令和7年9月6日、7日 コミュニティ主催の防災訓練 7名参加
- ・令和7年11月22日 東海市市民防災訓練 7名参加

● 各小学校、高校での防災学習会

- ・令和7年8月4日 社会福祉協議会ボランティアゼミ 6名参加
- ・令和7年10月24日 防災「家まで すごろく」 7名参加
- ・令和7年10月30日 防災フェスティバル ハイゼックスを使った講習会 8名参加

● 救急法講習

- ・市内14児童館にて母親教室 15回 計40名参加
- ・市内保育園保育士 心肺蘇生AED講習会 12人参加



ハイゼックスを使った講習会



東海市市民防災訓練

活動ピックアップ!

活動名：奉仕団県外 1泊研修

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年9月9日、10日

参加人数：17人

● 活動のきっかけ

東海市奉仕団は全ての団員の皆様へ向け今年度は4月に総会、7月に1日研修、9月に1泊研修、2月に1日研修と年4回集まる機会をつくっています。単独で活動が始まってから大切にしている行事です。

● 活動の内容

今年度は敦賀のムゼウムを1日見学し、原爆の被害や当時の暮らし、平和の大切さについて学びました。

展示解説を通して、命の尊さと奉仕の心を考える貴重な体験となりました。



● 活動の成果・効果

過去の災害の教訓や、現在の防災・減災の取り組みについて学ぶことができました。また、見学を通して防災意識や、地域貢献の意識を高めることができたと思います。

奉仕団のPR

奉仕団の皆さん積極的に活動や研修会などに参加していただいています。保育園や児童館、学校、コミュニティなど幅広い方と今年度も交流することができました。これからも色々な団体から依頼があれば、地域に根付いた奉仕団活動を継続的にしていきたいと思っています。

大府市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：倉元 須麻子（就任5年目）
団員数：168人（男：2人、女：166人）
結成年月日：昭和32年4月1日
母体：大府市地域婦人団体連絡協議会
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：4人
幼児安全法指導員：3人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：6人

団 紹 介

私たち大府市赤十字奉仕団は婦人会を母体に、団員間で協力し合いながら積極的に活動しています！

奉仕団の主な活動

● 地域における講習活動

所属する講習指導員を中心に、市や公民館、こども幸齢者交流センター、自治区などから要望を受け、幼児安全法講習や健康生活支援講習のほか、非常食づくり講習、防災セミナーを開催しました。

- ・ 幼児安全法講習：こどもの事故防止やAEDの使用についての講習を6回実施しました。
- ・ 健康生活支援講習：災害時に役立つホットタオルづくりなどの講習を8回実施しました。
- ・ 非常食づくり講習：災害に備えるためのローリングストックや、ポリ袋とお湯で作ることができる美味しい非常食づくりに関する講習を6回実施しました。
また、奉仕団員の募集も兼ねて、非常食づくりレシピを掲載したチラシを作成し、市役所等に設置しました。
- ・ 防 災 セ ミ ナ ー：地域の地図を活用し、参加者と意見交換を行いながら防災について考えるセミナーを3回実施しました。

● 赤十字PR活動・募金活動

5月の赤十字月間には法人社資募集訪問による赤十字活動及びアピタパワー大府店での奉仕団PR活動を、12月にはげんきの郷でNHK海外たすけあいの募金活動を実施しました。



赤十字月間奉仕団PR活動



NHK海外たすけあいの募金活動

活動ピックアップ!

活動名：外国にルーツのある方を対象とした防災体験会

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年12月14日（日） 10時～12時

参加人数：80人

● 活動のきっかけ

近年、大府市では外国人住民が増加していることから、奉仕団の強みを生かし、外国にルーツのある方が防災への理解を深めるとともに、地域で顔見知りをつくる機会を提供するために開催しました。

大府市国際交流協会と連携し、日本語教室の開催日に合わせて実施することで、参加者が無理なく参加できる環境を整え、日常の延長線上で防災を学べる機会としました。

● 活動の内容

会場では、災害時に役立つ知識や行動を「見て・触れて・体験して」学べる9つのブースを設けました。

- ①受付
- ②非常食クッキング
- ③災害トイレ
- ④応急手当
- ⑤ホットタオル
- ⑥赤十字〇×クイズ
- ⑦ローリングストック
- ⑧防災カルタ
- ⑨試食コーナー



● 活動の成果・効果

参加者からは、「防災食が美味しかった」「災害時の非常トイレが意外に丈夫だった」などの声が聞かれました。体験を通して参加者同士のコミュニケーションが図られ、知識を得るだけでなく、地域の人々とつながる機会を創出することができました。

● 奉仕団のPR

大府市赤十字奉仕団は、健康生活支援講習指導員や防災セミナー指導員がそれぞれ4人在籍しており、充実した指導体制を整えています。この体制を生かし、大府市民生児童委員協議会をはじめとする各種団体に対して、防災セミナーを実施しました。

今後も、大府市赤十字奉仕団の活動を広くPRするとともに、若い世代の参加促進につなげるため、市内で開催される産業文化まつりや公民館まつりなどの場を活用し、積極的に取り組んでいきます。

知多市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：中井 宏美（就任3年目）
団員数：35人（男：0人、女：35人）
結成年月日：昭和30年4月1日
母体：単独奉仕団
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：3人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団 紹 介

知多市赤十字奉仕団は、昭和30年4月1日、3町合併と同時に婦人会と共に活動してきました。平成4年度から単独奉仕団となり、各種講習活動や炊き出し訓練など積極的に活動しています。知多市は臨海地域に位置し、大規模災害時の被害が危惧されています。そのため、団員一同、防災・減災へ高い意識を持ち、日々活動に励んでいます。

奉仕団の主な活動

● 防災訓練

- ・令和7年11月2日（日） 佐布里コミュニティ防災訓練 9人
- ・令和7年11月9日（日） 知多市総合防災訓練 7人

● 講習会等

- ・令和7年6月24日（火） 幼児安全法講習会 7人
- ・令和7年8月20日（水） ジュニア防災リーダー養成講座 7人
- ・令和7年11月15日（土） 視察研修 18人
- ・令和8年2月26日（木） 奉仕団研修会 25人

● イベント参加

- ・令和7年10月25日（土）、26日（日） 産業まつりでブース出展 21人
- ・令和8年2月15日（日） 防災イベントにボランティア参加 7人



産業まつり



視察研修

活動ピックアップ!

活動名：炊き出し、テント設営訓練

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年5月14日（水）
参加人数：19人

● 活動のきっかけ

災害時のための訓練として年に一度、奉仕団員で炊き出し、テント設営訓練を実施しています。本訓練のほかにも市内の防災訓練等でも炊き出しを実施しています。

● 活動の内容

災害時を想定してテントの設営をし、ハイゼックスを使ったお米の炊飯と豚汁を作る炊き出し訓練を実施しました。

知多市福祉課、防災危機管理課との連携により実施し、完成した食事は奉仕団員だけでなく市職員にも振る舞い、大勢で美味しく食べました。



炊き出し訓練の様子

● 活動の成果・効果

テント設営、炊き出し訓練を行うことで、実際に災害が発生した際、団員が避難所運営の即戦力として貢献できることが期待されます。テントの設営方法については、委員長の指導のもと設営を行うことで、団員一人ひとりの知識と技術の習得につながる点も、本訓練の大きな成果です。

● 奉仕団のPR

長年活動に携わっているメンバーが多く、和気あいあいと活動しています。

現在は、団員の減少と高齢化が進み、認知度の向上が急務となっています。この課題を解決するため、活動内容を分かりやすく伝えるリーフレットを新たに作成し、活動紹介と合わせて団員の募集をPRできるようになりました。

また、赤十字の枠にとらわれず、市内で活躍する市民活動団体など多様な団体と連携するほか、活動の場を増やし、活動を知ってもらうことによって、より活気のある奉仕団にしていきたいと考えています。



愛西市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：安田 里美（就任2年目）
団員数：46人（男：6人、女：40人）
結成年月日：平成17年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：1人
健康生活支援講習指導員：1人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団 紹 介

愛西市赤十字奉仕団は平成17年4月1日の町村合併に伴い結成され20年が経過しました。婦人会母体で活動し、その後、佐屋・佐織分団となりました。現在は、単独赤十字奉仕団として活動をして2年目となります。伊勢湾台風経験者も所属し、研修参加や災害について学び、各方面からの依頼を引き受け、地域の力になれるよう活動しています。

奉仕団の主な活動

5月赤十字月間・NHK海外たすけあい

5月11日（日）ヨシヅヤ愛西勝幡店（7名）中学生ボランティア2名参加協力
5月25日（日）ピアゴ佐屋店（5名）オークワ愛西プラザ店（6名）
12月14日（日）ピアゴ佐屋店（4名）オークワ愛西プラザ店（4名）
MEGAドン・キホーテUNY勝幡店（3名）

市防災訓練

8月31日（日）立田中学校体育館（5名）
ハンカチでケガの手当て、三角巾で吊り、毛布で搬送

自主防災会依頼活動

10月12日（日）（3名）立田中学校体育館（立田北部連合会）
ハンカチでケガの手当て、三角巾で吊り、毛布で搬送を指導
10月13日（月・祝）（4名）安泉寺（北条・大成自主防災会）
ハンカチでケガの手当て、三角巾で吊り、毛布で搬送を指導
11月9日（日）（4名）柚木町公民館（柚木町自治会）
炊き出し訓練で、にゅうめん200食提供

赤十字フェスタinあいさい（赤十字普及活動）

令和8年3月15日（日）文化会館
ホワイエ1階：工作、折り紙、チャリティーバザー他
ホワイエ2階：講習指導、災害用テント他の体験
ホー ル：愛西ウィンドオーケストラ演奏他



炊き出し訓練にゅうめん



活動ピックアップ!

活動名：**ハートラ子ども食堂**

● 活動の時期・参加人数

日 時：永和地区防災コミュニティーセンター：毎月1回日曜日に開催
勝幡地域防災コミュニティーセンター：奇数月1回土曜日に開催
参加人数：調理、交流会担当 8名～10名 調理30食～50食準備

● 活動のきっかけ

他の子ども食堂に、団員が沢山参加していたので、赤十字奉仕団活動として計画しました。初年度は永和地区で、今年度は勝幡地区でも開催することにしました。

● 活動の内容

最初は参加が少なかったですが、徐々に増えてきました。災害の時の顔の見える助け合いに繋がる子ども食堂が目的です。

交流会では工作、折り紙、読み聞かせや災害に役立つ内容も行っています。高齢者の参加も歓迎しています。子どもや大人、高齢者、障がい者等、色々な方に参加して頂きたいと思います。



ハートラ子ども食堂

● 活動の成果・効果

参加される顔が分かり、来られない時は心配します。「お熱でした」「元気になり良かったね」回を重ねるうちに仲良くなります。いつ災害が来るか分かりません。参加する方々の顔の見える、助け合いになる、命を守る助けになればと思います。信頼関係が徐々に深まってきていると思います。高齢者の方々も指を使つての折り紙や工作がとても楽しいと言われます。フレイル予防や認知予防にも繋がりが、このまま子どもたちとも楽しく遊んで交流して欲しいと思います。

今後は災害を想定しての避難訓練や炊き出し訓練を年に1回は行い、それぞれが地域力を付けていける活動に発展していくと良いと思います。そして地域の住民の方々が多く参加して、防災力を付ける場ともなって欲しいと思います。

♡ 感謝の言葉にありがとう!! ♡

小学校からの依頼でハイゼックスの作り方、胸骨圧迫、AEDの使い方の指導に伺ったり、「家まですぐらく」を授業で体験しました。生徒さんから感謝の手紙を頂き大変嬉しく思います。団員の方々も高齢にはなりますが、色々な方々の感謝の言葉に励まされています。

中学校でも同様にハイゼックスや講習指導を行いました。真剣に参加して前向きな姿勢に嬉しく思います。先生方にも積極的に耳を傾けていただき、奉仕団が感謝しています。

また保健センターでは幼児歯科検診時の幼児の見守りの依頼を受け活動をしています。小さな子供と遊ぶことも私たちの生きがいとなります。若いパパママの話し相手や相談にのり地道な活動を継続していくことは、私たち奉仕団員の活力となります。地域の人たちの奉仕団活動の協力に感謝して今後の活動に励んでいきたいです。

弥富市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：鈴木 みどり（就任20年目）
団員数：185人（男：0人、女：185人）
結成年月日：平成18年4月1日
母体：弥富市女性の会
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：2人
幼児安全法指導員：0人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団 紹 介

弥富市赤十字奉仕団は、女性の会の会員で構成されています。活動としては5月の日本赤十字の啓発活動、12月のNHK歳末助け合い募金をはじめ、昨年度から新しい活動として、子どもの居場所づくりを目指した親子ヨガも取り入れました。

市のイベント日の来場者や団員を対象として定期的に健康生活支援の紹介と実践も行っています。また総合福祉センター内にあるデイサービスセンターにてお手伝いもしています。

奉仕団の主な活動

● 活動名：防災キャンプ

市教育委員会学校教育課が主催する市内4校の小学6年生を対象に合同防災キャンプを、企業や防災団体などと協力して行う事業です。

奉仕団も炊き出しブースを出展し、子どもたちや先生方に指導しました。



炊き出し食事の様子

● 活動名：イベント健康生活支援

11月に開催された「海南こどもの国秋まつり」のイベントに健康生活支援としてホットタオルの紹介をしました。

参加者には、もれなく手作りのハートラちゃんバッジをプレゼント！

● 活動名：親子でヨガ

昨年度から始めた2回目の活動です。

（団員6人参加）

今回は保育所の運動会と日程が重なってしまいましたが7組の親子が参加しました。



手作りハートラちゃんのバッジ

活動ピックアップ!

活動名：手作りお菓子プレゼント

● 活動の時期・参加人数

日 時：6月19日～12月18日

参加人数：奉仕団員12人

● 活動のきっかけ

使わない畑があるので何か植えないかと農家の方に声をかけていただき、奉仕団でサツマイモの苗を植えました。秋にはたくさん収穫ができ、これを鬼まんじゅう（愛知県が発祥）にして市内2か所の授産所に寄付することにしました。

● 活動の内容

団員で6月にサツマイモの苗100本を植えこみました。夏の草取りは猛暑続きで大変でしたが、秋の収穫が楽しみなところもあります。

収穫したイモで愛知県が発祥と言われる「鬼まんじゅう」を、3個入り1パックとして60パックを作り、クリスマスプレゼントとして寄付しました。施設の方がサンタの衣装を貸して下さり一人ひとりに手渡ししました。



奉仕団サンタ登場

● 活動の成果・効果

施設利用者が毎年楽しみにしてもらえるようになりました。また市広報誌にも奉仕団活動として掲載してもらいました。

奉仕団としての活動を幅広く市民の方に周知してもらえるよう、また興味を持ってもらえるよう挑戦しています。

● 奉仕団のPR

弥富市赤十字奉仕団のいいところは、団員の皆さんが楽しく活動をし、何かをお願いしても快くOKしてもらえるところです。

街頭募金や啓発活動を市内商業施設敷地内で行うため、活動終了後にはいつも敷地内飲食店で団員の交流を深めています。

あま市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：三輪 啓子（就任2年目）
団員数：78人（男：1人、女：77人）
結成年月日：平成28年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：7人
健康生活支援講習指導員：7人
幼児安全法指導員：6人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：18人

団 紹 介

あま市赤十字奉仕団は、市内3分団で構成されています。現在は分団の枠を超えて協力し、今年度は様々な地区防災、小学校、高校での活動を行っています。地域や学校から声をかけてもらうことが増え、分団員の持ち前のチームワークの良さを生かし、多くの活動を地域で行ってきました。

奉仕団の主な活動

● 防災訓練への参加

市内8か所 地域の自主防災会等からの依頼で、それぞれのニーズに合わせた講習を実施。

● 保育園・学校での防災活動

市内5か所（保育園、小学校、高校） 年齢や人数、学校の要望に合わせた講習を実施。

● 地域の公共施設での幼児安全法

市内6か所 児童館等施設の希望や年齢に合わせた講習を実施。

● 地域のボランティア活動

フードパントリーの仕分けボランティア、人権ふれあいセンターでの調理支援活動を実施。

● 炊出し訓練

年間3か所 団（各分団）の主催により、ハソリや炊飯袋を利用した炊出しを実施。

● 街頭啓発運動、街頭募金活動

年1回 広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン
年数回 NHK海外たすけあい、災害義援金

● 勉強会（講習等）

月1回の団の勉強会、講習会を実施。



NHK海外たすけあい街頭募金活動



小学校での「ぼうさい教室」風呂敷でリュック

活動ピックアップ!

活動名：学校での講習活動

● 活動の時期・参加人数

- 7月に開催
- クラブ活動の高校生50名

● 活動のきっかけ

学校からの依頼

● 活動の内容

心肺蘇生・AEDの実施

● 活動の成果・効果

一次救命の処置の重要性の再認識、普及



新たな取り組み

～甚目寺分団グループ活動～

これまで、一般団員の活動の機会は、5月の一斉キャンペーン、各分団の炊き出し訓練、NHK海外たすけあい街頭募金活動など、多くはありませんでした。

そこで一昨年、甚目寺分団の試みとして分団活動を4グループ（健康グループ、救急グループ、幼児グループ、炊き出しグループ）に分け、各団員の興味のあるグループに所属して活動してもらうことにしました。

毎月の班長会議の際には、会議後にプチ講習会を行い、その講習会の内容をもとに、各グループで勉強会を開催しました。興味があっても何をやったらいいのかわからなかった団員に、より参加できる機会を増やし、どのような活動を行っているのかを知ってもらえる機会を多くしました。

その結果、料理好きな人は炊き出しグループでのメニューの考案、幼児グループでは地域の公共施設での講習活動、健康、救急グループは地区防災での講習など活動の場が増え、団員の意識が変わってきたようです。

奉仕団のPR

あま市赤十字奉仕団は、昨年に引き続き三輪委員長のもと、活動の幅を広げてきました。小学校、高校から声をかけてもらうことが多く、学校では学年ごとに合わせた講習を行い子供たちに防災の意識を高めてもらう活動を積極的に行ってきました。子供たちに講習も行いつつ地域の危ないところやこんな時どうしたらいいのかを一緒に考え、年齢層が高めの団員も終わるころには10歳若返ったような表情で活動を終えます。

また、役割を明確にしたことで、普段の人柄では想像できない人がものすごい炊き出しのメニューを考案したりと、どの団員もパワフルでやる気満々です。

団の高齢化が心配ではありますが、今年度は40代・50代の団員の獲得もできています。全員参加を大きな目標に前に突き進んでいるあま市赤十字奉仕団です。

大治町赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：濟田 美恵子（就任2年目）
団員数：66人（男：0人、女：66人）
結成年月日：平成8年5月21日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：4人
健康生活支援講習指導員：6人
幼児安全法指導員：7人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：9人

団 紹 介

私たちは、人道博愛の精神のもと、住みよい地域社会づくりに貢献し、町民と団員相互の連携を深め、「奉仕の心」の輪が広がっていくように地域に根差した活動を展開しています。

奉仕団の主な活動

● スポーツ少年団応急救護講習会

町教育委員会スポーツ課より依頼を受け、指導者と保護者向けに「心肺蘇生とAED」のやり方と熱中症対策に関する講習を実施しました。

また、三角巾を用いた捻挫の固定法についても指導を行い、参加者は熱心に取り組んでいました。



スポーツ少年団応急救護講習会

● 読み聞かせ事業

町総合福祉センターにおいて、未就学児とその保護者に紙芝居や手遊び、リラクゼーションを実施しました。

親子でスキンシップを楽しんでもらいました。



読み聞かせ事業

● 1日グッズ作り

毎年、読み聞かせ事業に関するグッズ制作の一環として、団員の皆様の協力のもと未就学児および保育園児のお土産として手作り巾着をプレゼントしています。大変喜ばれました。



1日グッズ作り

活動ピックアップ!

活動名：いざという時に役立つ1日講習会

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和8年1月31日（土）

参加人数：48名

● 活動のきっかけ

毎年恒例行事の1つで近年の自然災害を踏まえ、防災意識および防災知識の向上、指導員のスキルアップを目的に開催しました。

● 活動の内容

救急法、幼児安全法、健康生活支援講習を実施しました。

災害への備えと対策、減災の説明、三角巾の使い方や膝のキズを想定した応急手当に関することや、避難所生活を快適に過ごす工夫、健康体操や毛布を用いたガウンの作り方について実技を交えて説明を行いました。

また、乳幼児の体調不良時における適切な応急処置の仕方等を参加型の〇×クイズで確認しました。



救急法講習



健康生活支援講習

● 活動の成果・効果

町独自の防災ガイドやハザードマップを用いて、地域に沿って具体的な備えや減災を考える機会を提供することができました。毛布を用いたガウンは、「そのまま羽織るよりも両手が自由に使えて移動しやすい」、「本結びは頑丈で解けにくく、解きたい時は簡単に解ける」と喜ばれました。

また、福島で被災された参加者がおり、体験談を聞いて災害を身近な問題として捉えるきっかけになり、参加者の防災意識の向上に繋がったと思います。「楽しかった、また参加したい」との声も聞け、有意義な講習会になりました。

● 奉仕団のPR

当団は、「明るく住みよい地域に根差した活動」をしています。団員の高齢化が進んでいることから、若い世代の方々や男性の入団を促進するため、奉仕団活動への理解や関心・興味を向けてもらえるような活動を展開していきます。

防災セミナー指導者講習を受講したので、学校教育など活動の場を拡大し、地域貢献活動に今後も力を入れていきたいと思っています。

蟹江町赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：山田 久子（就任18年目）
団員数：98人（男：0人、女：98人）
結成年月日：令和7年4月1日
母体：蟹江町ボランティア会（婦人会）
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：0人
幼児安全法指導員：0人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：12人

団 紹 介

毎年替わる団員はスキルの積み重ねが弱くなるので、日赤ボランティアの方と共に活動しています。

奉仕団の主な活動

● 活動名：1日防災学習会

毎年災害に備えて防災講習を実施しています。

今年は、午前はハイゼックスを使い防災食（白米・そうめん）を作り、午後は日本赤十字社愛知県支部から来ていただいた講師の方から、「健康生活について」をテーマに講習を受けました。

○日 時：令和7年6月28日（土）

○参加人数：33名



● 活動名：シーツ交換ボランティア

町内の老人福祉施設カリヨンの郷で、月に2回、シーツ交換のボランティア活動をしています。

助け合いの精神でカリヨンの郷設立（平成10年）以来継続しています。

○日 時：毎月第1、第3火曜日

○参加人数：のべ130名

活動ピックアップ!

活動名：多文化共生事業

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年9月7日（日）

参加人数：25名

● 活動のきっかけ

蟹江町は、名古屋駅まで10分足らずという、立地条件に恵まれているため、外国の方が多く住んでいます。

そんな方々を町全体で守る必要があると考え、国際交流として防災教室を実施しました。

● 活動の内容

- 防災グッズの展示（段ボールトイレ、防災頭巾、備蓄品等）
- 防災食の試作、試食（中華麺、アイラップを使った炊飯）
- 蟹江町防災担当者による講話



● 活動の成果・効果

蟹江町に住む外国の方々に災害時に自分の命を守るすべを学んでいただきました。

● 奉仕団のPR

奉仕団員は毎年入れ替わりますが、防災ボランティアは残りますので、縦の線を大切に蟹江町の防災力を高めたいと思っています。



阿久比町赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：廣瀬 玲子（就任3年目）
団員数：98人（男：16人、女：82人）
結成年月日：昭和28年11月29日
母体：単独赤十字奉仕団

団 紹 介

赤十字奉仕団の訓練を通じて得た知識と技術を、もしもの時に地域で役立てることができるよう、「災害救護に関する活動」に重点的に取り組んできました。

地区からの選出により毎年多くの団員が入り替えとなりますが、日々意欲的に活動しています。

奉仕団の主な活動

● 講習会（救急入門コース）

令和7年6月10日（火）開催 21名参加

半田消防署 阿久比支署員の指導のもと、心肺蘇生法やAEDの使い方などを学びました。

● 防災セミナー「災害エスノグラフィー」

令和7年10月21日（火）開催 55名参加（うち阿久比町赤十字奉仕団員 23名）

愛知県支部の職員の方を講師に招き、大規模災害の被災状況をイメージし、災害について学ぶ「災害エスノグラフィー」を開催しました。近年毎年開催していますが、今年度は初めての試みとして、知多半島の他の地域赤十字奉仕団（大府市・東海市・半田市・知多市・常滑市・東浦町・武豊町・美浜町）の団員の方々にもご参加いただき、各自治体の特徴や、各奉仕団の活動について情報を共有し、知多地域の赤十字奉仕団間のつながりを強化する良い機会となりました。

● 視察研修

令和8年2月12日（木）開催 15名参加

日本赤十字社豊田看護大学と、大府市防災学習センター（DAIWA防災学習センター）の視察を通し、防災について学びを深めました。



講習会（入門コース）の様子



防災セミナー「災害エスノグラフィー」の様子

活動ピックアップ!

活動名：炊き出し訓練

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年9月10日（水）

参加人数：31名

● 活動のきっかけ

本町の団員は各地区からの選出により多くの団員が1年で交代してしましますが、奉仕団の活動を通して、多くの団員の方々が地区で活躍されています。発災時の避難所生活での自助・共助のための知識を習得することを目的に年に1度実施している炊き出し訓練は、当団の一大活動となっています。

● 活動の内容

例年は、ハソリでも手軽に作れるカレーといったメニューが多かったですが、今年度は、ハソリを用いて一味違った料理を作りたいという声があったため、さつまいもご飯、鯖缶のみそ汁、蒸しパンをつくることになりました。

女性消防団員の方々にもご協力いただきて実施しました。ハイゼックスやハソリに慣れていない方々もいましたが、団長を始め、長く団員を務めている方々がつくり方のコツを伝授し、最終的には美味しくつくり上げることができました。



ハソリで調理する様子

● 活動の成果・効果

長年活動に参加されている方もいますが、多くは今年初めて活動に参加する方、経験が浅い方なので、団員の経験年数に大きな差があります。それでも、経験が豊富な団員が持っている知識・スキルを他の団員に教えながら炊き出しの工程を進めていました。メディア等で炊き出しについて目にする機会はあったものの、炊き出しをしたことがないという方々も多くいましたので、ハソリの説明やハソリの組み立て体験も実施しました。実際に経験することで、有事の際の動きについて学ぶことができたのではないかと思います。

奉仕団のPR

本町では、1年のみ団員として活動される方も多のですが、様々な方に赤十字奉仕団の活動に参加いただけるという良い点もあります。

赤十字奉仕団の活動に多くの方が興味を持ち、参加していただけるよう、今後も訓練等の活動を継続的に行い、災害発生時に迅速に支援活動が行えるようにしたいと思います。

東浦町赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：新美 薫（就任3年目）
団員数：159人（男：58人、女：101人）
結成年月日：平成6年4月14日
母体：単独奉仕団
救急法指導員：3人
健康生活支援講習指導員：1人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団 紹 介

地域として、個人として、「できること」を考えて積極的な活動をしています。実際の災害時を想定するとともに、楽しく学ぶことができる防災講習会や訓練を開催し、個々としてのスキルアップも図っています。

奉仕団の主な活動

● 防災講習会

6/17：指導員によるリラクゼーション講習と非常食の紹介と試食を行いました。非常食の試食前にはホットタオルを作成し、災害時に知っている役立つ知識を実際に体験を通して深めることができました。（参加団員：42人）

● 総合防災訓練

11/16：指導員による事前の訓練で知識を深め、町総合防災訓練の当日は指導員を中心に、参加者の方々へ幼児心肺蘇生の講習、毛布ガウンの作成指導及び非常食の試食・紹介を行いました。（参加団員：25人）

● 消防出初式

1/11：東浦町赤十字奉仕団として、消防出初式に参加しました。ハンソリとアイラップを使用して豚汁の炊き出し訓練を行いました。（参加団員：22人）



防災講習会の様子（リラクゼーション）



総合防災訓練の様子（非常食）

活動ピックアップ!

活動名：東浦町消防出初式

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和8年1月11日（日）
参加人数：奉仕団員22名

● 活動のきっかけ

毎年、東浦町消防出初式に参加して、炊出し訓練を実施しています。商業施設駐車場での開催のため、多くの方に日赤・赤十字奉仕団の活動を知っていただく機会になればと、今年は、例年のハソリを使用した炊出しに加え、愛知県支部よりキッチンカーを派遣いただき、アメリカンドックの提供を計画しました。

● 活動の内容

〈日赤キッチンカー（アメリカンドック）〉

出初式に来られたお子様を対象にキッチンカーでアメリカンドックを揚げて提供しました。

〈炊出し（豚汁）〉

アイラップを使用して豚汁の炊出しを行いました。アイラップを使用することで、1人分ずつ衛生的に調理でき、袋のままどっぷりで提供することで、洗い物をなくし、避難生活では貴重となる水の節約もできることを紹介しました。

● 活動の成果・効果

当日は、雪がちらつくとても寒い日でしたが、たくさんの子ども連れの家族が見学に来られました。温かい豚汁をふるまうことができ、たくさんの方に日赤・東浦町赤十字奉仕団の活動を知っていただくことができました。



ハソリで豚汁を温める様子



完成した豚汁を配る様子



炊出しに並ぶ家族



ハートラちゃんの紙コップで提供しました

奉仕団のPR

東浦町赤十字奉仕団は、赤十字奉仕団の活動に多くの方が興味を持ち、参加していただけるように様々な工夫をして訓練や講習を行っています。また、参加していただいた方が実際に体験して、自らその重要性を感じていただくことを大切にしています。

一人一人が学んだ防災についての知識や技術は、地域みんなで協力し合い、助け合う災害時において、とても大きな力になります。より多く、幅広い世代の方に「知っている」人を増やすため、東浦町赤十字奉仕団はこれからも「できること」に取り組み、積極的に活動を行っていきます。

美浜町赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：近藤 洋子（就任1年目）
団員数：204人（男：0人、女：204人）
結成年月日：平成21年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：0人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：0人

団 紹 介

町内小学校区ごとに地域分けがされ、現在6地区に分かれて、地区代表者が中心となって活動しています。長年、地域婦人会を母体として活動してきましたが、平成20年に婦人会が廃止されたことから、平成21年度より奉仕団単独の組織として運営しています。

奉仕団の主な活動

● 奉仕団一日講習会

7月15日（火）、炊き出し訓練と講習「災害から生き延びるには」を実施しました。この講習会は毎年恒例で行っており、令和7年度は37名の参加がありました。



奉仕団一日講習会に参加している団員

● 幼児安全法講習会

保育所や地域の団体からの依頼を受け、随時、美浜町赤十字奉仕団に在籍する幼児安全法指導員による幼児安全法講習会を開催しています。令和7年度は児童館から依頼があり、乳幼児の一時救命処置についての講習を行いました。



児童館にて幼児安全法の講習中

活動ピックアップ!

活動名：奉仕団一日講習会

● 活動の時期・参加人数

日 時：7月15日（火）

参加人数：37名

● 活動のきっかけ

災害時に備え、毎年1回会場を変えながら炊き出し訓練を実施し、また時代に適応した講座を受講しています。

● 活動の内容

炊き出し訓練…アイラップによる炊き出し

講習会…講習「災害から生き延びるには」



アイラップによる炊き出し

● 活動の成果・効果

炊き出し訓練ではアイラップの利用方法、講習会では地震への備えが非常に重要であることを学び、より災害時の活動意識を高めることができました。

奉仕団のPR

災害が起きた際は、赤十字奉仕団として迅速に対応できるよう、今後も炊き出し訓練などに取り組み、防災・減災に対する知識を深めていきます。

また、若い世代に赤十字奉仕団の活動をPRし、興味を持ってもらうことで地域の防災力の向上につながると思います。炊き出し体験の指導などの普及活動にも力を入れていきたいと思えます。

武豊町赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：堀家 泰司郎（就任7年目）
団員数：18人（男：13人、女：5人）
結成年月日：昭和28年4月1日
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団 紹 介

武豊町赤十字奉仕団は、かつて婦人会員で構成されており、平成29年度に婦人会の入団希望者と一般団員とが合わさって現在の武豊町赤十字奉仕団となりました。団員が高齢化し減少するなか、新団員を迎え、啓発活動や講習等を行っています。

奉仕団の主な活動

● 玉貫西2区防災訓練

地域の自治組織の1つ、玉貫西2区の防災訓練に参加し、炊き出し訓練を実施しました。

実際の災害を想定して、屋外にてはそりを使用し、約140人分のレトルトカレーとご飯の調理をしました。大人数を想定した水と米の分量計算や、安全なはそりの設置、衛生面に配慮した効率的な配膳方法など、地域の皆さんと知恵を出し合いながら進めることができました。

また、炊き出し訓練と同時に、パッククッキング講座を開催し、アイラップを使用したお米の炊き方を参加者の皆さんへ周知しました。災害時に調理器具が十分に用意出来ない状況を想定し、どのようにすればお米をうまく炊けるかについて、参加者からも積極的に質問が出るなど、関心の高さがうかがえました。（区民：116名、防災ボランティア8名、奉仕団員：7名）

【玉貫西2区防災訓練】



▲炊き出しの様子（作成したカレーライス）



▲パッククッキング講座の様子

今後の武豊町赤十字奉仕団！

● これまでの活動

地域での安心で安全なまちづくりに対する奉仕を目的に活動している武豊町赤十字奉仕団は、地域の自主防災会と協力し、いざという時に備えて防災訓練において炊き出し訓練を行っていました。

● コロナ禍を経ての現在

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後、計画していた事業も実施できるようになり、徐々に活気が戻ってきました。令和7年に入り、若い新団員3名を迎えて新たな気持ちで頑張っています。新団員を含め、日赤の研修などを受講することで、団としてレベルアップを図っていきたいと考えています。

● 現在の課題

新団員の加入はありましたが、依然として団員の平均年齢が高く、継続して事業をしていくためには、新たな団員の育成が課題となります。地域と協力した防災訓練や各種講習を通し、武豊町赤十字奉仕団の活動を広くPRして加入促進に努めていきます。

● 令和8年度の活動に向けて

日本赤十字社愛知県支部が実施している講習への積極的な参加や地域の自主防災会とコラボレーション事業を実施する等、団員のレベルアップや地域とのつながりを密にすることを目標に、より地域に根差した活動に力を入れていきたいと考えています。

地域赤十字奉仕団

西三河地区

岡崎市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：新海 幹代（就任12年目）
団員数：24人（男：2人、女：22人）
結成年月日：平成8年5月30日
母体：単独赤十字奉仕団
健康生活支援講習指導員：2人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団 紹 介

本奉仕団は、中央、岡崎・六ツ美、大平、岩津、矢作の5つの地区ブロックから構成されています。

奉仕団の主な活動

● 地域献血への協力・献血啓発・イベントへの参加

市内各所で実施される地域献血への参加、若年層への献血啓発を目的とした地区内の大学・高等学校、医療機関等への啓発物品の配布、その他イベントへの参加を行いました。

【地域献血への協力】 ……市内3か所・7回実施

【献血啓発物品の配布】 ……岡崎献血ルームと協力し、今年は啓発品のデザインも一新し、地区内の大学、高等学校、医療機関18か所へ配布

【イベントへの参加】 ……年間を通じて4イベントへ参加

● 地域講習・イベント等における安全講習・団員研修

学校や保育園、地域団体からの依頼により、幼児安全法や健康生活支援講習などの講習を行いました。また、毎年市民を対象に実施している乳幼児を守る安全講習には、夏と冬の2回の開催で延べ18組（52名）の方に参加いただきました。さらに、年に1度団員研修を実施し、団員の知識と技術の向上に努めています。



親子で学ぶ乳幼児を守る安全講習



幼稚園での幼児安全法講習



団員研修

活動ピックアップ!

活動名：岡崎防災展2025@イオンモール岡崎

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年11月8日（土）

参加人数：200人以上（用意した啓発品が足りないうらい多くの方に参加いただきました。）

● 活動のきっかけ

市の防災課を通してイオンモール岡崎主催の防災展への参加募集があり、奉仕団のPRの場にもなるため参加することにしました。



● 活動の内容

「救急法&災害時の役立つ暮らし方情報」をテーマに、県支部の指導員さんに救急法の講習をお願いし、団員は「風呂敷リュック」や「ホットタオル」の作り方と使い方、「自宅避難の際のトイレの使い方の工夫」をお伝えするという盛沢山の内容で実施しました。

参加された方からは、「自宅避難をした際に一番困るのがトイレ問題なので、とても参考になった」という声を多くいただきました。

また、新規団員獲得のため、奉仕団活動を紹介するパネルを作成し、展示しました。パネルを見てお話いただける方もいらっしたため、奉仕団の知名度向上にも繋がったのではないかと思います。



● 活動の成果・効果

地域講習については、口コミで新規の依頼をいただく等、活動の場が広がっています。

また、毎年参加しているイベントに加え、今年は上記の「防災展」と社会福祉協議会主催の「災害ボランティア支援センター設置運営訓練」の炊き出し支援への参加も行いました。

幼児安全法や健康生活支援講習だけではなく、災害時に役立つ生活の知恵をお伝えできる団体としても地域に貢献できるのではないかと感じています。

● 奉仕団のPR

民生委員児童委員協議会を始めとした地域団体や、小学校等から地域講習の依頼を安定的にいただいています。来年度も引き続き講習の依頼をいただいている団体もあり、団の活動が少しずつ地域に浸透してきた結果と受け止めています。

次世代に赤十字並びに奉仕団の活動を伝えるため、今後も地域に寄り添いながら普及啓発に努めます。

また、団活動を継続的かつ安定的に実施できるよう、指導員の養成や新規団員の確保に引き続き取り組んでまいります。



大阪・関西万博視察研修

碧南市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：杉浦 房枝（就任2年目）
団員数：413人（男：0人、女：413人）
結成年月日：昭和24年11月24日
母体：単独赤十字奉仕団
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：16人

団 紹 介

碧南市赤十字奉仕団は、市内6地区で構成され、令和7年には75周年を迎えました。団員の高齢化に伴い、団員数は減少していますが、地域に根差した奉仕活動に積極的に取り組んでいます。団員が協力しあい、明るく楽しい奉仕団を目指しています。

奉仕団の主な活動

● 啓発・募金

5月3日の一斉キャンペーン、6月1日の碧南市のイベント（消防フェスタ）、10月19日の碧南市のイベント（大浜てらまちウォーキング）、10月29日の奉仕団防災講習会、11月9日の碧南市総合防災訓練、12月5日・6日のNHK海外助け合い募金、1月18日のJAのイベントにおいて、啓発活動及び災害義援金の募金活動に従事。



災害義援金の募金活動

● 地域清掃

定期的に地域の公園や神社などで奉仕団員が清掃活動を実施。18か所で、延べ163回活動。



地域の神社での清掃奉仕

● 社資募集

令和7年度より、市内の半分余りの地区では町内会の協力による社資募集が実施できるようになった。残りの地区については、奉仕団員が各戸を訪問して実施。

● 献血の呼びかけ

市役所で実施される3回の献血、1月18日のJAのイベントでの献血において、協力者への呼びかけを実施。

活動ピックアップ!

活動名：碧南市総合防災訓練

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年11月9日（日）8時30分～12時
参加人数：20名

● 活動のきっかけ

碧南市総合防災訓練において、災害に被災した際にはそりを使った調理の訓練や、啓発のできるブースを、と役員及び委員で検討し、出展しました。

● 活動の内容

「避難所生活を想定した甘味提供」と称し、はそりでお汁粉を作り、来場された市民の方々に提供しました。

腕の骨折時等にポリ袋を使って腕を吊る方法、新聞紙スリッパの作り方なども体験してもらおうと準備しましたが、雨天だったため屋外での体験は実施できませんでした。



お汁粉の提供

● 活動の成果・効果

多数のブースが出展しており、当日は約900名が来場されました。赤十字奉仕団のブースでは、600食分のお汁粉を調理し、多くの方に召し上がっていただきました。雨天で気温の低い日ではありましたが、温かい甘味を提供できたことで、市民の方々に、ほっこりした気持ちになっていただけたと思います。来場者アンケートでは、赤十字奉仕団のブースが一番好評でした。

大災害の被災時に長期間の避難所生活が強いられることを想定して、食事の炊き出し以外で奉仕団員として提供できることを検討し、調理できたことは、とてもよい学びと経験になりました。

● 奉仕団のPR

令和7年度は、碧南市総合防災訓練の他に、市の消防フェスタでカレーライスの炊出しブースを出展し、約600食を提供しました。定期的にはそりを使った炊出しを行う機会を設け、スムーズに調理、提供できるよう取り組んでいます。

また、奉仕団の有志でさくらんぼの会を結成しています。市のイベント等で紙芝居や人形劇等を行い、子供たちを支援する活動をしています。今年度は、市内7地区の小学校に併設されている児童クラブを訪問し、紙芝居や新聞紙スリッパの作り方を教えました。また、刈谷市奉仕団が作成された防災かるたをお借りし、かるた取りを児童に楽しんでもらいました。子どもたちへの支援とともに、その保護者に奉仕団の活動を知ってもらうことで、若い世代の奉仕団員の拡充につながることを期待しています。

豊田市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：高木 寧子（就任6年目）
団員数：65人（男：0人、女：65人）
結成年月日：昭和43年6月18日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：2人
健康生活支援講習指導員：1人
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団 紹 介

豊田市赤十字奉仕団は、赤十字の理念（人道・博愛）に基づき、愛知県内1位の面積を有し企業城下町、また農業も盛んな都市でもあります。そのような地域に根差したボランティア活動を行っている団体です。結成60周年を2027年に迎える長い歴史を持ち、住みよい街づくりを目指してメンバーが活動しています。

奉仕団の主な活動

● 活動名：生涯学習出前講座

(1)生涯学習出前講座

- ①年11回：3月3回（計105名）、8月（20名）、9月（96名）、10月2回（計62名）、12月（50名）、1月【フェスタのブース】（254名）、2月（36名）
- ②依頼先：自治区（2か所）、小学校（2か所）、施設関係（4か所）、交流館等（2か所）、高岡地域フェスタ（1か所）
- ②内 容：一次救命処置、AED、救急法、健康生活、防災知識（避難所での知識）、（災害食）

(2)2月の他団体との協働活動（岡崎奉仕団と）について

災害食ハイゼックス調理を、全面的に岡崎奉仕団の方に進めて頂き、豊田は参加者的な関係で行いました。食事後、岡崎の方々は解散。（食材は参加者・備品、会場は豊田用意）

午後は豊田のみで「避難所での知識」の講座を開きました。



岡崎奉仕団と協働講座

● 活動名：愛知少年院後援活動

- ・運動会、職業訓練発表会、体験学習、二十歳の集い、参加

● 活動名：団員1日研修会

- ・8月22日（金）防災、（ハザードマップ使用して、避難経路、KAG、ハイゼックス調理）（26名）



団員間の研修会

活動ピックアップ!

活動名：生涯学習出前講座

● 活動の時期・参加人数

日 時：8月8日（金）

参加人数：20名

● 活動のきっかけ

豊田市奉仕団、日本赤十字の活動を豊田市地域に広める方法として、豊田市HPに「出前講座・お母さんから学ぶ防災知識」を掲載しています。今年度は、11件の申込書が豊田市社会福祉協議会の事務局に届きました。



新聞足袋カバー作り

● 活動の内容

今年度は、特に近年全国で災害が多発していることから避難所での生活に必要な、身近にある物を使って避難所生活に対応する講座を開催しています。

例、(新聞紙スリッパ、足袋カバー、風呂敷リュック、毛布ガウン、ホットタオル) 新聞紙の足袋カバーは、足の大きさにより新聞紙の使い方を変えています。

子供は新聞を半分に小さく折り、足の大きな男性には2枚重ね縦にして作ります。

● 活動の成果・効果

(1)成果（参加者の声）

●身近なもので簡単に防災グッズになり良かった。●ホットタオルは、日ごろの病気の時にも使え常に使いたい。●座学だけでなく実際に作ることが良い。●災害時の対応についてとても参考になった。●あるもので工夫してエコ、生活の知恵でした。●改めて災害について考えられた。●講師の方が明るく話され楽しく面白く勉強できた。

(2)効果

毎年件数が増えてきています。開催先の方が他の地域や同じ関係者に話されて赤十字の活動が広がっています。

今後受けた講義の声（備蓄の保管法、防災食、災害発生時の行動順序、暑い夏の避難所生活過ごし方について、他）

豊田市赤十字奉仕団の紹介・団員募集PR

・「思いやり、いつでも、どこでも、だれにでも」

赤十字の「苦しんでいる人を救いたい」その優しい心で現在団員65名が活動しています。

2027年で結成60周年を迎える長い歴史を持ち、世界に広がる自動車関連の会社が多い街ですが、愛知県で一番の広さを持つ都市で、山間地域も多く広がっている自然豊かで農業・果樹等も盛んな街でもあります。団員もこの広い地域から集まり活動に参加しています。

救急法（一次救命処置AED）・健康生活（ポリエチレン調理）・幼児安全法（子供の事故対応）・防災リーダー（災害予防）などの講座を、団員間、地域住民に向けより確かな知識技術を磨くために多くの開催計画を考えています。

常時団員募集しています。男性・女性問わず幅広くメンバー参加募集しています。

安城市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：高橋 智江（就任1年目）
団員数：27人（男：0人、女：27人）
結成年月日：昭和28年3月1日
母体：単独赤十字奉仕団
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：3人

団 紹 介

安城市赤十字奉仕団は、募金活動や防災訓練など幅広く活動を行っています。
また総会後に講習会を設けるなど、スキル維持・向上に努めています。

奉仕団の主な活動

令和7年度「広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン」活動

5月10日、アピタ安城南店にて、啓発品を配布しPR活動を行いました。 【参加者：6名】

献血の呼びかけ・古本回収

10月5日、安城市福祉まつりにて、献血の呼びかけと古本回収を行いました。
集まった古本の買取代金は、ブックオフ寄付プログラム「キモチと。」を通じて、愛知県支部に寄付しました。 【参加者：5名】

NHK海外たすけあい街頭募金活動

12月13日、イトーヨーカドー安城店にて、世界各地で紛争、災害、病気などにより苦しんでいる人々を支援するため、啓発品の配布及び募金活動を行いました。 【参加者：7名】



令和7年度
「広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン」活動



令和7年度
「NHK海外たすけあい街頭募金」活動

活動ピックアップ!

活動名：絵本の読み聞かせ

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年6月、8月、10月、令和8年2月

参加人数：隔月で2名

● 活動のきっかけ

この活動は、令和4年から始まったモデル奉仕団事業から自主的に実施している事業です。子どもたちへの支援活動で何か出来ることはないかと思い、市内福祉施設での読み聞かせや安城市福祉まつりでの読み聞かせを実施しました。

● 活動の内容

子どもたちに興味を持ってもらうために、絵本以外にも紙芝居を使用した読み聞かせや手遊びを行いました。



市内福祉施設
【手遊び】



安城市福祉まつり
【絵本の読み聞かせ】

● 活動の成果・効果

この活動を通して、子どもたちへの支援活動として社会貢献につながりました。これからも子どもたちへの支援活動をするための事業として、継続的に実施していきたいと思えます。

奉仕団のPR

安城市赤十字奉仕団はさまざまな活動に取り組んでいます



赤い羽根共同募金
【募金活動】



ハンドケア研修会
【ハンドケア練習】



減災まちづくり研修会
【炊出しのお手伝い】

西尾市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：猶崎 かや子（就任4年目）
団員数：81人（男：1人、女：80人）
結成年月日：昭和59年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団
救急法指導員：3人
健康生活支援講習指導員：2人
幼児安全法指導員：4人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：14人

団 紹 介

私たち西尾市赤十字奉仕団は、市内14地区の団員で構成し、「やる気！元気！和気！」をモットーにピンクのユニホームで活動しています。

奉仕団の主な活動

● 広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン

5月2日、市内10か所のスーパーで啓発品を配布し、赤十字活動のPRを行いました。（参加人数69名）

● 献血ボランティア活動（年16回）

市内の献血会場にて、受付案内のお手伝いをしました。（参加人数71名）

● 児童の健全育成活動

9月8日から1月13日にかけて市内6ヶ所の保育園・認定こども園と、10月26日の「にしお福祉まつり」で子供向け大型紙芝居の読み聞かせを実施しました。今回はクイズ形式にし、子供達にはハートラちゃんのお面を作ってくばり喜んでもらいました。（参加人数19名）

● 奉仕団員の研修会

6月3日、4日の午前と午後に分け救急法とリラクゼーションの研修会を行いました。（参加人数68名）



5月の愛知一斉キャンペーン



大型紙芝居の読み聞かせ

活動ピックアップ!

活動名：愛知県・西尾市津波・地震防災訓練

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和8年1月25日（日）午前9時～正午

参加人数：17名

● 活動のきっかけ

今回は愛知県と西尾市での合同防災訓練であり、奉仕団は炊き出しをとのことで参加しました。

● 活動の内容

600名分を3つのハソリで行いました。前日に様子を見に行った時、あまりの風の強さと寒さにこれは何とかしなくてはと考へ、お茶畑に使う寒冷紗をテント周りに張り、風と寒さをしのぎました。団員より寒冷紗があって良かったとの声も数多く聞きました。



全員集合



炊き出しの様子

● 活動の成果・効果

午前中は小雪の舞う寒さの中、団員の頑張りでおいしい豚汁が出来ました。

来場された皆様も待ちかねたようで完売となり、温かい食べ物と気持ちを伝えられ、参加してよかったと思います。

奉仕団のPR

- 今年度は民生の主任児童委員から「幼児安全法」の依頼があり、指導を行いました。
- 平坂小学校の5年生児童90名と、平坂自主防災会にも昨年同様、救急法の講習が出来ました。
- 青少年赤十字加盟校（JRC）が増えるよう、地域にも積極的に働きかけ、密着した奉仕団活動にしたいと思っています。
- なお今年度初めて「NHK海外たすけあい」の募金活動を行いました。新たな事業に取り組むことで奉仕団員としての自覚も高まり、団員同士の絆も深まったと思います。
- 最後に素晴らしい大阪関西万博研修会に38名が参加した事は、私にとって意義深いものでした。赤十字の上映も感銘しました。

知立市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：高橋 敦子（就任3年目）
団員数：7名（男：0人 女：7人）
結成年月日：令和5年4月1日
母体：編集ボランティアぺんぺん

団 紹 介

私たちは、長い間活動母体となっていた「あおみの会」から引き継いで知立市赤十字奉仕団の活動をし、3年目となりました。今年度知立市は、日本赤十字社愛知県支部とSDGs推進に関する包括連携協定を締結しましたので、活動の幅を広げ、子どもからお年寄りまで、かけがえのない命を守るため、無理なく楽しく活動していきたいと思っています。

奉仕団の主な活動

● 活動名：広めよう！赤十字5月の愛知一斉キャンペーン

5月21日（水）ギャラリエアピタ知立店にて、来店者に啓発物品を配り、赤十字の活動への理解と協力をお願いしました。



● 活動名：遊びながら命を守ろう！

一昨年度に引き続き「防災かるた」を80セット作成し、内63セットを市内の小学校7校、中学校3校にお届けしました。残りのカルタは、ボランティア・市民活動センターの貸出物品とし子ども食堂や高齢者サロン等でのレクリエーションに使っていただきます。

活動ピックアップ!

活動名：**遊びながら命を守ろう!**

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年5月～令和7年1月

参加人数：7名（防災かるたの作成）

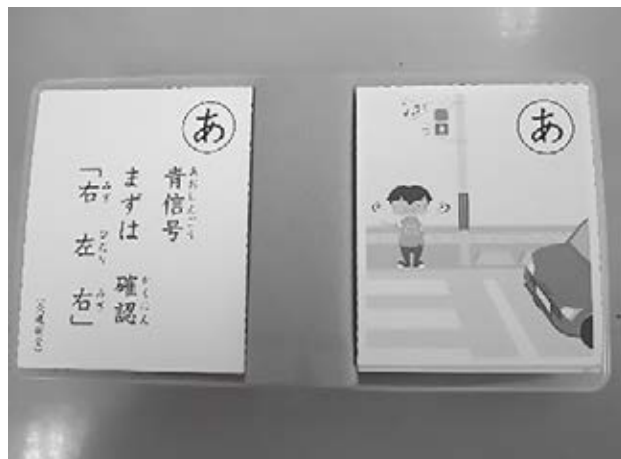
● 活動のきっかけ

いつ、どの様な状況下で起こるか分からない災害。共働きの家庭が多くなり、一人で過ごす時間の多くなってきた子どもたちに、いざという時に自分で自分の身を守る術を遊びながら学んで欲しいと思いました。

● 活動の内容

子どもたちが不安な気持ちにならない様にやさしい図柄のものを選びました。

また、子どもたちがいっぱい遊んでも破れないように、しっかりとした紙を使いケースに入れました。



● 活動の成果・効果

3年がかりとなりましたが、各学校の希望に応じて必要数をやっと学校に配ることができました。これからまたどの様な反応があるのか楽しみです。

● 参加者の反応

一昨年度・昨年度と作成・配付した「防災かるた」には、各小・中学校で、防災教育に活用して下さっています。

● 奉仕団のPR

私たちは、長年にわたり「編集ボランティアペンペン」として知立市社会福祉協議会の広報誌「社協だより」の編集をお手伝いしてきました。さまざまな取材や企画を通して学んだ地域福祉のために、知立社協や知立市、各団体と連携しながら赤十字奉仕団としての活動を一歩ずつ進めていきます。

高浜市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：立川 好子（就任1年目）
団員数：27人（男：0人、女：27人）
結成年月日：昭和57年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団
幼児安全法指導員：2人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団 紹 介

わたしたち高浜市赤十字奉仕団は、赤十字奉仕団の理念のもとに、子ども食堂の開催、心肺蘇生講習会・応急手当講習会等を行っております。また、市の福祉まつりでぜんざいの提供をしており、市民の皆さんに楽しんでいただいています。

奉仕団の主な活動

● 活動名：募金活動

市内の商業施設にて募金活動を行いました。

- ・ 5月6日 5月の愛知一斉キャンペーンでの街頭募金を実施 団員9名
- ・ 12月15日 NHK海外たすけあい街頭募金を実施 団員8名

● 活動名：花壇の定植と手入れ

入居者の慰安のため、市内の介護老人福祉施設2か所で花壇の定植手入れを行いました。

- ・ 5月 介護老人福祉施設2か所 団員8名
- ・ 11月 介護老人福祉施設2か所 団員8名



団員向けAED講習会



老人施設花苗定植

活動ピックアップ!

活動名：ハートラちゃんにここ食堂

● 活動の時期・参加人数

- ・ 5月3日（土） 団員11名 参加者49名
- ・ 6月7日（土） 団員14名 参加者36名
- ・ 7月5日（土） 団員11名 参加者36名
- ・ 9月6日（土） 団員15名 参加者37名
- ・ 10月4日（土） 団員14名 参加者35名
- ・ 12月6日（土） 団員14名 参加者39名
- ・ 2月7日（土） 団員15名 参加者36名

● 活動のきっかけ

昨年度、こども食堂が3回しか実施しませんでした。好評だったため、今年度は7回に増やすことを考えました。

● 活動の内容

地区の交流館で子どもも大人も気軽に立ち寄り、みんなが安心できる居場所づくりを目指してこども食堂を実施しました。メニューはカレーライス、予約不要で昨年より食数を増やして、35食としました。

開催場所は、こども食堂の定期開催がない地区で行うことにしました。メニューは子どもも大人も誰でも食べられるカレーライスに限定しました。また子連れのお父さんお母さんがゆっくり食事できるように小さいお子さん向けに絵本の読み聞かせを行うスペースを作りました。



子ども食堂準備

● 活動の成果・効果

高浜市赤十字奉仕団の存在を地域の方に知って頂きたい思いがあったので、こども食堂の開催は、知名度向上につながったと考えています。また、活動を一緒に行うことで、団員の団結がより一層高まりました。今まで開催がなかった地区でこども食堂を実施したことにより、地域の方にとっての新しい居場所を創出できました。

● 奉仕団のPR

高浜市赤十字奉仕団は、団員の高齢化が進み、団員減少が心配です。

少しでも団の活動をみなさんに知って頂ければと思い、令和6年度からこども食堂（ハートラちゃんにここ食堂）を開催しました。

来年度は、こども食堂のメニューをカレーライスだけでなくほかのメニューも考えて提供したいと思います。あわせて、赤十字活動の理念のPRをしていきたいです。

みよし市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：原田 広美（就任3年目）
団員数：42人（男：0人、女：42人）
結成年月日：平成10年7月21日
母体：婦人会
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：0人
幼児安全法指導員：0人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：0人

団 紹 介

みよし市赤十字奉仕団は、地域婦人会の解散から赤十字奉仕団を立ち上げました。
常に無理をせず参加できるときに参加して、会員同士楽しく活動していく事をモットーとしています。

奉仕団の主な活動

● 清掃活動

市内で開催される三大夏祭りのうち三好池まつり（8月2日開催）、三好いいじゃんまつり（8月23日開催）の開催翌日、周辺の清掃活動を行っています。朝6時から1時間ほどかけ道路や会場駐車場のごみ拾いを会員が手分けをして行いました。

● 市内福祉施設ティッシュ寄贈

毎年12月に市内の福祉施設にポケットティッシュの寄贈をしています。今年は、令和7年12月4日に実施しました。障がい者福祉施設「しおみの丘」、高齢者福祉施設「福寿園」を訪問し、奉仕団員から集めたポケットティッシュを各施設へ寄贈しました。

● 県内研修

年に1度の恒例行事として愛知県内で奉仕団員の研修会を行なっています。奉仕団員同士の親睦を深め、新たな知見の獲得及びこれからの活動への意識向上を目的としています。令和7年度は11月11日に中日青葉学園と南山大学人類学博物館を見学にをしました。14名が参加し児童福祉の現場に直接触れる機会や異文化を理解する機会となりました。



清掃活動（三好池まつり）



市内福祉施設ティッシュ寄贈
（障がい者福祉施設「しおみの丘」）



県内研修（中日青葉学園）

活動ピックアップ!

活動名：防災訓練参加

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年8月30日（土）

参加人数：9人

● 活動のきっかけ

本奉仕団では結成以来ハイゼックスを利用した炊き出し訓練を市主催のイベントで行っていましたが、コロナによるイベントの中止や、飲食の制限などにより平成30年度より実施していませんでした。今年度は防災訓練での炊き出し訓練を行うこととなりました。

● 活動の内容

8月30日に市主催の防災訓練に赤十字奉仕団員9名が参加し、ハイゼックスを利用した炊飯とレトルトカレーによる炊き出し訓練を行い、200食防災訓練に参加された人に配りました。

● 活動の成果・効果

7年ぶりの実施であったため、事前にお米や水の分量、ゆで時間などを確認しながらリハーサル行い臨みましたが、200食を作り切れるか不安もありました。

当日は猛暑の中での作業となり、体力的にも厳しい状況でしたが、大きなハソリを使って調理を進め、防災訓練に参加した人からは「これでご飯が炊けるのか」「どうやって作るのか」など興味を持つ声が多く寄せられました。また、団員からも「やってよかった」という前向きな感想があり、暑さの中でも訓練を実施した意義を強く感じました。

今回の経験を踏まえ、今後も定期的に訓練を行い、新しい団員への技術の継承につなげていきたいと考えています。



ハイゼックスを利用した炊飯

● 奉仕団のPR

みよし市赤十字奉仕団は、地域婦人会の解散から赤十字奉仕団を立ち上げました。

参加できる人が参加できるときに参加し、会員同士楽しく仲良く活動しています。

現在、団員の高齢化が進んでおり、若い世代の方の入団をお待ちしています。世代間の交流を深め、経験や知識を伝えていきたいです。



集合写真（県外研修）

幸田町赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：山本 晃子（就任1年目）
団員数：201人（男：0人、女：201人）
結成年月日：昭和27年11月30日
母体：こうた女性の会
救急法指導員：0人
健康生活支援講習指導員：0人
幼児安全法指導員：0人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：3人

団 紹 介

私たち幸田町赤十字奉仕団は、こうた女性の会が兼務しています。

本奉仕団では、団員のつながりを大切に、活動を行っています。特に、地域の災害時における支援に重点をおき、防災訓練や防災研修会を実施するなど、防災の大切さについて学ぶ機会を設けています。

奉仕団の主な活動

● 募金活動

今年度も「NHK海外たすけあい募金」の募金活動を行いました。募金箱は各地区の地域活動で行われる研修の際に設置し、団員を中心に呼びかけをすることで、多くの寄附が集まりました。集められた募金は幸田町分区を通じて日本赤十字社へ寄附しました。

● 小学区単位の防災学習会

今年度は2か所の小学校区で防災学習会を行いました。地域の方が多く参加し、地域の方との繋がりを持つこともでき、実りのある防災学習会となりました。

○荻谷小学校区

開催月：6月

場 所：中央公民館

内 容：災害全般の講話

○豊坂小学校区

開催月：9月

場 所：豊坂小学校

内 容：地震車体験等



募金活動の様子



荻谷小学校区での防災学習会の様子

活動ピックアップ!

活動名：防災研修会の開催

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年9月20日（土）午前9時から午前11時30分まで
参加人数：49人

● 活動のきっかけ

地域の公民館にファーストミッションボックスが設置されるようになったことをきっかけに、ファーストミッションボックスとはどのような物なのか、どのように使用すればいいのか理解するために防災研修会を開催しました。

● 活動の内容

幸田町役場の職員から、ファーストミッションボックスについての説明を受け、その後は実際にファーストミッションボックスを活用して避難所の開設訓練を行いました。訓練後は意見交換会を行い、そこで出された意見を幸田町役場へお伝えしました。



研修会の様子



開設訓練の様子

● 活動の成果・効果

自分たちの手で避難所を開設するのは初めてのことで戸惑いましたが、何とか開設することができました。実際に災害が起きたときに困らないように、今後も継続して本事業に積極的に参加していきたいと思えます。

● 奉仕団のPR

幸田町赤十字奉仕団は、防災に力を入れており、研修会の開催や町防災訓練へ積極的に参加しています。しかしながら、現在高齢化が進み、団員数が減少しているため、防災に興味のある方や若い世代の方々の入団をお待ちしています。

地域赤十字奉仕団
東三河地区

豊橋市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：余郷 充代（就任10年目）
団員数：452人（男：0人、女：452人）
結成年月日：昭和62年3月1日
母体：豊橋市更生保護女性会
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：43人

団 紹 介

豊橋市赤十字奉仕団は、主に小学校区ごとに構成される豊橋市更生保護女性会が母体となり、地域に根差した各種奉仕活動に取り組んでいます。

奉仕団の主な活動

● 豊橋まつりでの啓発活動

10月18日（土）、19日（日）に開催された豊橋まつりに団員10名が参加し、親子をメインターゲットに「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」を実施しました。およそ800人が挑戦し、災害が発生した時にどんな危険が起こる可能性があるか、危険からどうやって身を守ればよいかなどを楽しみながら学んでもらいました。また、パネルの展示や啓発物品の配布など、日本赤十字社の活動についての周知を行いました。

● 防災訓練への参加

例年、豊橋市総合防災訓練や各校区・町内の防災訓練、市の防災イベントなどに参加しています。今年度は、炊き出し訓練を実施する市内花田校区の防災訓練に参加して、参加者にカレーを振舞いました。

● 日赤講習会への参加

奉仕団基礎研修会や、赤十字奉仕団リーダー交流研修会、防災ボランティア・地区リーダー養成研修会など、各種講習会に参加しています。



豊橋まつり



花田校区防災訓練

活動ピックアップ!

活動名：花田校区防災訓練

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年11月16日（日）

参加人数：団員24名

● 活動のきっかけ

各校区の奉仕団員は自分が住む校区の防災訓練に参加しお手伝いをしていますが、今回花田校区は炊き出しの訓練を行うということでお声がけをいただき、訓練をより充実したものにするため、また、少しでも参加者の方に喜んでもらえればと思い、校区の垣根を越えて多くの団員が参加しました。

● 活動の内容

校区の自治会、消防団、民生委員など、様々な団体・関係者が協力して地域住民へ向けた防災啓発ブースを展開する中、奉仕団は炊き出し訓練のブースに参加させていただき、校区の方々と協力してカレーを作り、各ブースを回り終えた訓練参加者約400人に振舞いました。



炊き出し訓練の様子

● 活動の成果・効果

今回の防災訓練では、地域の方々と共同で炊き出しを実施することで、これまでの奉仕団の経験やノウハウを共有するとともに、地域とのつながりを強化できた点が大きな成果と言えると思います。また、当日は炊き出しのブースの他にも防災用品の展示や消火器の使用体験、災害時のスマートフォン活用講座など非常にたくさんのブースがあり、子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、楽しみながら防災について多くの学びを得ている様子でした。平時からの訓練、啓発活動の大切さを再認識する機会となりました。

● 奉仕団のPR

母体となっている豊橋市更生保護女性会の「更生保護」とは、罪を犯した人たちの立ち直りや次世代を担う青少年の健全育成を支援することで、地域に更生保護の土壌を創りあげていくことを目的に日々活動しています。また、愛知県下で最初に更生保護の婦人会として発足し、女性目線から様々な活動を長年行ってきた実績があるため、奉仕団という対場でも豊橋市に安心・安全の土壌を創りあげていけるよう努めていきます。

豊川市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：原田 桃香（就任7年目）
団員数：20人（男：12人、女：8人）
結成年月日：昭和32年10月19日
母 体：豊川市青年団協議会

団 紹 介

豊川市青年団協議会会員が団員を兼ねています。献血イベントを年2回開催し、献血事業をお手伝いしています。

奉仕団の主な活動

● 夏の献血2025

献血の必要性を広く伝え、血液不足の解消に貢献することを目的に開催しました。今年度は風鈴作り体験を実施しましたが、普段の総合体育館とは異なりイオンモール豊川で開催したため、会場の都合上地域交流には課題も残りました。来年度は総合体育館で開催予定のため、雨天でも多くの市民に参加していただける企画を目指します。

● 冬の献血2025

総合体育館にて冬の献血を開催しました。会場ではフリーマーケット、ボッチャ体験、クリスマスリース作り、プラ板作りを実施し、子どもから大人まで楽しめる交流の場を設けました。また、令和6年度能登半島地震災害義援金の募金活動も行い、多くのご支援をいただきました。献血への協力とあわせ、地域貢献につながる有意義な活動となりました。



夏の献血の集合写真



冬の献血の献血案内の看板とワークショップの看板

活動ピックアップ!

活動名：夏の献血2025・冬の献血2025

● 活動の時期・参加人数

〈夏の献血 2025〉

日 時：令和7年6月8日（日）10：00から16:00まで

参加人数：青年団員：8人 高校生ボランティア：4人

〈冬の献血 2025〉

日 時：令和7年12月7日（日）9:00から15:00まで

参加人数：青年団員：8人 高校生ボランティア：3人

● 活動のきっかけ

活動を通じて献血、寄付金の協力を募ることで、奉仕活動が社会貢献につながればと思い活動を行いました。またその活動の中で子どもを含む市民の方々と触れ合い、青年団活動を知っていただくことで奉仕団や献血への理解を深めていきたいと思いました。

● 活動の内容

青年団では、血液不足の解消と地域との交流を目的に、夏と冬に献血活動を行っています。夏の献血では風鈴作り体験を実施しました。冬の献血では、総合体育館を会場にフリーマーケットやポッチャ体験、クリスマスリース作り、プラ板作りなど、子どもから大人まで楽しめる企画を実施するとともに、募金も行いました。こうした活動を通じて、青年団は市民との触れ合いや地域貢献の場を広げています。



夏の献血でワークショップを行った風鈴の作成例

● 活動の成果・効果

青年団の献血活動は、地域交流と社会貢献の場として展開しています。多彩な企画を提供しました。夏冬とも募金活動を行い、血液不足の解消と地域とのつながりを両立。青年団の奉仕活動の認知向上と、団員自身の企画・運営力向上にもつながる、意義ある活動となりました。

● 奉仕団のPR

私たちの目的は、血液不足問題をはじめとした社会問題や地域の問題の解決策を探る中で、市民の皆様のためになる活動をすること、そして活動を通して将来社会を担う若者の成長の場を提供することです。新規団員も募集中！

豊川市青年団協議会の連絡先：toyokawashiseikyo@yahoo.co.jp

豊川市第二赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：鳥居 可志子（就任6年目）
団員数：5人（男：1人、女：4人）
結成年月日：昭和37年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団 紹 介

旧小坂井町赤十字奉仕団が市町村合併により、豊川市第二赤十字奉仕団となりました。主に地区の防災訓練や各種講習会のお手伝い、募金活動等を行っています。

奉仕団の主な活動

● 防災訓練

毎年秋に行われる地区防災訓練に参加しています。

● 講習会への協力・参加など

日赤指導員による救急法講習会への協力、参加をしています。

● 広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン

5月1日に、市内のスーパーにおいて啓発物品を配布し、赤十字活動のPRを実施しました。



令和7年度 愛知一斉キャンペーン

活動ピックアップ!

活動名：5月の愛知一斉キャンペーン

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年5月1日（木）

参加人数：3名

● 活動のきっかけ

赤十字の活動について継続的に周知するため、今年度も広報活動を実施しました。

● 活動の内容



市内のスーパーにて、買い物客へ啓発物品を渡し、赤十字活動のPRを行いました。

● 活動の成果・効果

今年度は、5月の愛知一斉キャンペーン及びNHK海外たすけあい街頭募金活動を行うことができ、啓発物品の配布を通じて多くの方々に赤十字の活動について知っていただくことができました。

● 奉仕団のPR

当団は地元である豊川市小坂井町にて長年活動しており、地域住民の方々へ防災の知識や互いに助け合うことの大切さを伝えていくため、地域に密着した奉仕団活動を行っています。

蒲郡市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：足立 静慧（就任6年目）
団員数：162人（男：1人、女：161人）
結成年月日：昭和62年4月1日
母体：蒲郡市更生保護女性会
健康生活支援講習指導員：1人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団 紹 介

私たち蒲郡市赤十字奉仕団は更生保護女性会を母体とし、市内8地区の自主パトロールや子育て支援、子ども食堂、高齢者のフレイル予防など地域に密着した活動をしています。
また、指導員を中心として勉強会等も行っています。

奉仕団の主な活動

子育て支援活動

- 各小学校周辺を中心に月に1～2回のパトロールの実施と、市内5ヶ所（うち2か所は奉仕団の主催）で子ども食堂を開催しています。

地域ふれあい活動

- 子ども食堂を居場所づくりととらえ、高齢者にも開放しています。
- 各地区や他団体の防災訓練に参加しています。
- 運動不足になりがちな高齢者に、感染予防とフレイル予防についての講座や防災食の勉強会を開催しました。

募金活動

- 赤い羽根募金活動実施
- 5月「赤十字運動月間」にチラシ配布
- 歳末海外たすけあい募金実施



子ども食堂の様子



子ども食堂の様子

活動ピックアップ!

活動名：子ども食堂の開催

● 活動の時期・参加人数

- | | | |
|--------------|---------|--------------------|
| 1. キッチンおれんじ | 日時：毎月2回 | 参加人数：60人（奉仕団主催） |
| 2. しおつ広場 | 日時：毎月1回 | 参加人数：40～50人（奉仕団主催） |
| 3. むすび食堂 | 日時：毎月2回 | 参加人数：30～60人 |
| 4. かたはらつむぐ広場 | 日時：毎月1回 | 参加人数：30～40人 |
| 5. がまなん食堂 | 日時：毎月1回 | 参加人数：40人 |

● 活動のきっかけ

子どもの居場所づくりを目的とすることで、子ども達や独居の方の孤立を防止し、食生活を支え、地域の方々の交流の場を作りたいという思いで開設しました。

● 活動の内容

1. キッチンおれんじ

月2回開催しています。開催場所を2か所にし、食事とレクリエーションをセットとした活動

をしています。レクリエーションはできるだけ季節感を出すことと、みんなでふれあえる内容を考えています。小・中学生のボランティアが積極的に関わってくれています。

2. しおつ広場

この地区は地区総代会、民生委員・児童委員や地区住民の協力を得て、今後も地区の方々とともに子ども達を支援していきたいと思っています。また、中学校の支援員と密接に連携をとりながら行っています。中学生のボランティアが校長先生の誘いで多数来てくれています。



子ども食堂の様子

● 活動の成果・効果

子ども食堂を開催することで、会員同士の絆が強くなり、和気あいあいとできています。

理事以外の一般団員の参加も多くなってきました。大勢の食事作りをしているので、災害が起きた時にも役立つよう意識しながら作っています。また、地域の中で防災食作りを皆さんと一緒に実践し、勉強しています。

● 奉仕団のPR

子ども食堂の参加者と団員のふれあいの中で、悩み等も相談されるようになってきました。また、参加者同士も親しくなり、お互いのことを支えあう関係ができました。今後災害等の勉強会を増やし、災害時の活動支援にも力を注いでいきたいと考えています。

田原市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：杉浦 操（就任13年目）
団員数：114人（男：0人、女：114人）
結成年月日：平成15年3月20日
母体：田原市更生保護女性会
救急法指導員：4人
健康生活支援講習指導員：5人
幼児安全法指導員：6人
赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団 紹 介

田原市赤十字奉仕団は田原市更生保護女性会を母体とし、赤十字のボランティア活動を通じて、地域社会をよりよくすることを目的に活動しています。団員は、各自治会から1人ずつ選任されるため、地区によって団員数にバラつきがなく、地域の防災力強化に繋がっています。

指導員資格を取得する団員も増えており、地域での各種講習会の開催や女性視点での防災活動・避難所運営訓練に力を入れています。

奉仕団の主な活動

● 赤十字啓発活動

5月4日（日・祝）の市民緑花まつりにて、災害時の簡易トイレの普及啓発活動、幼児安全法講習、紙芝居を実施し、来場者への奉仕団活動のPRをしました。また、ハートラちゃんと会場を回りながら、献血協力の呼びかけや、能登半島大雨災害義援金募集等の赤十字啓発活動を行いました。



緑花まつりの様子

● 各種講習会開催

子どもからお年寄りまで、幅広い世代向けに健康生活支援講習や幼児安全法講習、救急法講習会を開催しました。

● 奉仕団員向けの研修の開催

本年度は、幼児安全法支援員養成講習会、避難所運営ゲーム（HUG）を用いた自主研修会を開催しました。



避難所運営ゲーム（HUG）の自主研修会の様子

活動ピックアップ!

活動名：令和7年度愛知県・田原市総合防災訓練

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年8月31日（日）

参加人数：田原市赤十字奉仕団員28名

● 活動のきっかけ

例年、田原市総合防災訓練時において炊き出し訓練を実施するため参加しておりますが、令和7年度は愛知県と田原市との合同訓練が実施されました。今回田原市赤十字奉仕団では、災害時の避難所生活を想定して、避難所で役立つ知識の講習や啓発活動を行うため参加しました。

● 活動の内容

①災害時の心のケア

災害時の避難所生活を少しでも快適に過ごすための方法として、リラクゼーション体験を実施し、心のケアが重要になることを伝えました。

②災害時のトイレ啓発活動

災害時のトイレについて、準備しておくべき物や注意することなどを手作りのチラシと啓発用品を配布することで分かりやすく伝えました。

③災害時生活支援講習

地元住民を対象に災害時に役立つ毛布ガウン、風呂敷リュックづくり、健康体操の講習を行いました。

子どもからお年寄りまで幅広い世代の方に加え、外国の方の参加もあったため、奉仕団員が手伝いながら、参加者全員が実施できるように心がけました。



リラクゼーション体験の様子

● 活動の内容

啓発活動を通じて、災害時の心のケアの重要性や災害時に役立つ知識、日頃から備えておくことの大切さについて多くの人に伝えることができました。

● 奉仕団のPR

田原市赤十字奉仕団では、毎年7月に開催される、SDGs フェスタ（男女共同参画フェスティバル）に参加しております。小さな時から赤十字の活動について興味を持ってもらうために、紙芝居やぬりえなどを実施しております。

毎年多くの方にご参加いただき、赤十字を知っていただく良い機会となっています。今後も出展内容を工夫し、より多くの方にPRしていきたいです。



ハートラちゃんに触れ合う市民の様子

特殊赤十字奉仕団

三河赤十字救急奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：清水 厚詞（就任4年目）
団員数：39人
結成年月日：昭和49年10月1日
母体：単独赤十字奉仕団

団 紹 介

本部事務局を豊橋市にし、三河地域の市役所、商工会議所、観光協会、地区子供会などの行事の集まりの中での傷病者の保護、手当などの救急活動を主に活動しています。

奉仕団の主な活動

● 動物園での臨時救護所

豊橋動植物園「のんほいパーク」ではゴールデンウィーク中、臨時救護所を開設。園内でけがや病気の方の対応をおこなっています。

● 海水浴場での救急活動

蒲郡市内の二つの海水浴場、三河大島、西浦パームビーチでの海水浴客の救急活動の実施。
三河大島へは観光船で渡ります。主な負傷者は貝で足や手を切ったなどの軽傷が多いです。ひと夏で両海水浴場へは10日ほど行きます。

● サッカー大会、子供会の行事

JC主催のサッカー大会に臨時救護所の開設。
子供会の行事の臨時救護所の開設。



JCサッカー大会



救護バッグ

● 豊橋まつり臨時救護所

豊橋まつり会場内に昼夜4か所の臨時救護所を開設し傷病者の対応。迷子の対応を行っています。



三河大島臨時救護所



のんほいパーク臨時救護所



西浦パームビーチ臨時救護所

活動ピックアップ!

活動名：豊橋まつり

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年10月18日（土）、19日（日）

参加人数：団員延べ25名

● 活動のきっかけ

第69回ええじゃないか豊橋まつり。毎年豊橋市から救護員の派遣依頼を受け、豊橋市市内4か所の臨時救護所を2日間展開いたします。

● 活動の内容

アマチュア無線、赤十字救急法、団員個々のスキルを活かし救護員の派遣依頼を受け2日間臨時救護所を開設しました。延べ25名が傷病者の発生に備えて臨時救護を開設。



臨時救護所



救護所設営

● 活動の成果・効果

会場内の巡回を行い、子供から高齢者まで様々なイベントの中から発生する救護、迷子保護、拾得物処理など対応をしました。臨時救護所での経験にて傷病者へ対応、声掛けを円滑に行えています。また赤十字広報活動も併せて行いました。

● 奉仕団のPR

昭和49年に赤十字特殊奉仕団として活動開始。活動内容は時代のニーズに伴い変化しています。現在は催事の臨時救護所の開設が主な活動になっています。今後も地域の活動に参加し、救急法の活用を軸とした赤十字活動の普及していきます。各奉仕団と交流を図って活動の幅を広げるように努めます。

愛知県赤十字安全奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：青山 和平（就任16年目）
団員数：88人（男：45人、女：43人）
結成年月日：昭和45年10月24日
組織形態：単独赤十字奉仕団

団 紹 介

私たち愛知県赤十字安全奉仕団は、赤十字救急法、水上安全法、幼児安全法及び健康生活支援講習の各指導員の認定を受けた者で組織された特殊奉仕団です。

奉仕団の主な活動

● 救急法等講習指導員として

私たち愛知県赤十字安全奉仕団は、赤十字の基本的理念である「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を掲げて、救急法等の普及に取り組んでいます。また、自分自身の事故防止はもとよりけが人や急病人に対する適切な応急手当を行いひとりでも多くの命が救われることを願って講習指導を実施しています。

● 広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン

- ・名古屋駅前にて赤十字のPR活動。
- ・名古屋市東山動植物園にて愛知県赤十字救急奉仕団によるPR活動に協力参加。

● 愛知県支部主催イベント支援

愛知県支部が7月・8月に開催するイベント支援、水上安全法親子レスキュー・幼児安全法の講習指導



親子レスキュー



幼児安全法

● 活動の時期・参加人数

毎年4月～翌年3月の年間を通じて講習指導の実施
救急法講習、幼児安全法、健康生活支援員講習（2～4名）、水上安全法4～10名

● 活動のきっかけ

愛知県支部に県民の皆様から、救急法等の講習会開催依頼を始めとするものが中心で、愛知県や各自治体・企業の実施するイベント等へ派遣の依頼があります。

● 活動の内容

救急法等講習会への派遣指導員として講習指導を通じ、事故防止の思想と人命救助の意識の高揚さらに、講習を通じてボランティアの心を育み、赤十字への理解を深め赤十字の活動に参加協力を呼びかけています。

● 活動の成果・効果

各講習会において、基礎的知識や技術を具体的に習得していただいた皆さんが日常生活の中で、救急法等を実践し、事故防止や自己保全に一層の意識を高めてもらえたものと確信しています。

● 今後に向けて

今後もこのような活動を継続実施して、より多くの皆さんに赤十字精神や赤十字の活動を知っていただき、地域奉仕団や他の特殊奉仕団との交流を深め、救急法等講習の普及に取り組み、団員が一丸となり精進したいと考えています。

尾張赤十字救急奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：加藤 高章（就任20年目）
団員数：18人（男：12人、女：6人）
結成年月日：昭和52年11月18日
奉仕団の母体となる団体名：単独奉仕団

団 紹 介

災害活動・防災訓練・各種臨時救護所の開設（マラソン大会、名古屋城夏まつり等）の救護活動及び募金活動等、八面六臂の行動派軍団です。

奉仕団の主な活動

● 赤十字キャンペーン（5月4日）名古屋駅周辺

PR冊子等の配布（他の特殊奉仕団とタイアップ）（東山動植物園）……活動人数6人

● 名古屋城夏まつり臨時救護所（8月9日～17日）名古屋市中区

来場者の方の応急手当……活動人数延べ49人

● 大阪・関西万博研修（9月6日）大阪 夢洲

国際赤十字館の見学……研修人数5人

● NHK海外助け合い募金活動（12月13日）名古屋駅周辺

募金活動（他の特殊奉仕団とタイアップ）……活動人数3人

● 災害救護奉仕団研修会（1月25日）名古屋市東区

大型炊飯器直火炊き講習……活動人数1人

● 国府宮はだか祭り臨時救護所（2月10日旧暦1月13日）稲沢市

救護所運営・赤十字病院救護班のサポート……活動人数7人

● 読売新聞犬山ハーフマラソン臨時救護所（2月23日）犬山市

傷病者の応急手当救護活動……活動人数7人

現在抱えている悩み、問題点

- ・団員の高齢化が進み、新入団員の募集についてが課題である。
- ・救急法講習会受講後、当団で活動してみませんか？（活動の体験・見学可能）

活動ピックアップ!

活動名：臨時救護所等における活動

● 活動の時期、参加人数

通年を通じて活動の実施 延べ人数85名

● 活動のきっかけ・動機

日本赤十字社愛知県支部から臨時救護所等の協力依頼

● 活動の内容

各地で行なわれるイベント会場における傷病者の応急手当及び赤十字PRキャンペーン

● 活動を行った感想・成果

赤十字の人道をもとに、傷病者への気づかい、心配り・気配りで不安感のないように接しています。

● 今後に向けて（今後取り組みたいこと）

- ・団員が安心・安全に活動できるように支部と協力して活動を展開していきます。



5月 赤十字キャンペーン（東山動植物園）



名古屋城夏まつり（8月9日～17日）



9月 大阪・関西万博研修 国際赤十字・赤新月運動館
岡山館長（左）と記念写真



12月 NHK海外たすけあい募金活動

愛知県赤十字救急奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：谷 泰臣（就任2年目）
団員数：39人（男：17人、女：22人）
結成年月日：昭和53年1月22日
母 体：単独奉仕団

団 紹 介

当団は、赤十字救急法を習得した幅広い世代の団員から構成されています。もしもの事故や災害に備えて、赤十字救急法を実践できるように、東山動植物園という、子どもから大人まで数多くの方が楽しむ場で、奉仕活動を行っています。

奉仕団の主な活動

● 東山動植物園救護活動

救護活動の実践のため、東山動植物園春まつり、ナイトZOO & GARDEN、秋祭りの期間中で、特に人出が見込まれる土日祝に、動物園正門の救護所にて救護活動を実施しています。年間でいうと、約40日間です。

活動の前には、事前研修を行い、熱中症や嘔吐、幼児の怪我の対応などについての確認と学びあいをします。

● 日赤情報誌配信

愛知県支部にて、毎月第一火曜日に、赤十字新聞発送のお手伝いを行っています。

● 募金活動

NHK 海外助け合い義援金募金活動をはじめ、支部要請の募金活動に積極的に参加しています。



総会時の記念写真



臨時救護所

活動ピックアップ!

活動名：東山動植物園救護活動

● 活動の時期・参加人数

東山動植物園春まつり	令和7年3月15日～5月6日の土日祝（20日間）	参加者延べ62名
東山動植物園ナイトZOO&GARDEN	令和7年8月9日～17日の土日祝（5日間）	参加者延べ27名
東山動植物園秋まつり	令和7年10月11日～11月25日の土日祝（17日間）	参加者延べ70名

● 活動のきっかけ

昭和53年に「愛知県赤十字救急奉仕団」が発足して以来、救護実践を目的として東山動植物園での活動を続けてきました。

私たちは、その歴史ある活動を今に引き継いでおります。

発足当時との活動環境を比べると、今では園の活動施設、活動資材等が充実しており、活動環境が整った、恵まれた環境で活動をしております。

● 活動の内容

園内で怪我をした傷病者の傷の応急手当、園内での体調不良者の保護・観察や病院紹介、重篤な傷病者の救急搬送の園への要請など。

● 活動の成果・効果

活動を通じて実感できるのが、傷病者や傷病者のご家族の笑顔と感謝の気持ちをいただけることです。また東山動植物園の職員の方とも、強い信頼関係で結ばれており、救護活動で使用する資材や屋外にテントを設置する場所の確保をさせていただいております。

実際に救護活動を体験された方からは、実践してみて赤十字救急法の意義をより深く理解できた等のご意見をいただいております。



搬送練習の様子

救急法を身近なものに

●一緒にボランティアしませんか！

せっかく、赤十字救急法救急員を取得しても、いざ実際の現場に遭遇した時に、あなたは、躊躇なく救護活動が行えますか？

当団は、東山動植物園での救護活動を通じて、赤十字救急法で学んだことを実践できる場を提供します。

初めての方でも、事前に活動内容の研修会を行いますので、安心してご参加ください。

●今後に向けた意気込み

今後は、さらに他の特殊奉仕団との連携やお互いに協力できる関係づくりを進めていきます。

愛知県赤十字救護奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：須永 康代（就任3年目）
団員数：24人（男：0人、女：24人）
結成年月日：昭和53年4月25日

団 紹 介

愛知県赤十字救護奉仕団は、地域の祭礼や公共的なイベントの際に救護所を開設し、傷病者の救護にあたる、“臨時救護活動”を中心に行っています。臨時救護は地域社会への貢献にもつながる重要な事業であり、赤十字をより身近に感じてもらえるよう日々活動をしています。

奉仕団の主な活動

令和7年度の主な活動実績（4名以上派遣した行事）

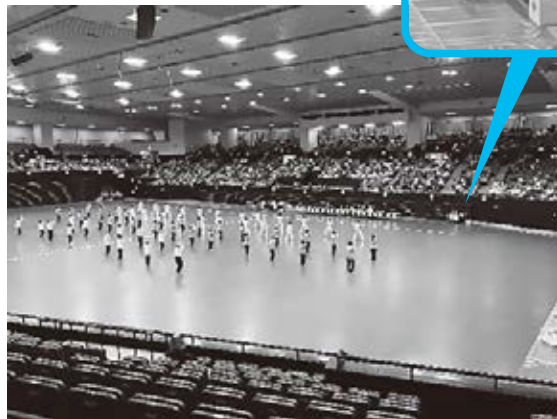
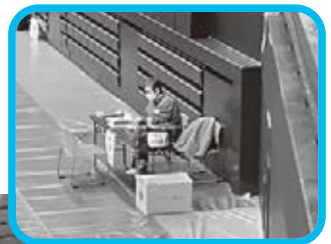
- | | | |
|-----|---|----------|
| 5月 | ・名古屋市各区総合水防訓練
北区・中区・瑞穂区・中川区・港区の5地区で活動 | (5名) |
| | ・太閤まつり | (6名) |
| 8月 | ・安城市七夕まつり | (12名) |
| 9月 | ・名古屋市各区総合防災訓練
東区・北区・中区・瑞穂区・中川区・港区・名東区の7地区で活動 | (7名) |
| | ・国際芸術祭「あいち2025」 | (8名) |
| 11月 | ・豊明秋まつり | (4名) …等々 |

令和7年度には49件の行事で延べ91名の団員が活動しました！

臨時救護所の立ち上げ

救護所の立ち上げでは、どこに立ち上げるかが重要です。

傷病者が発生した際にを見つけやすい場所や、水場が近く処置がしやすい場所を主催団体さんと話し合い、臨時救護所を立ち上げます。



第56回健康のための体操発表会 令和8年3月15日開催 於：愛知県体育館

活動ピックアップ!

活動名：第72回安城七夕まつり

● 活動の時期・参加人数

日 時：2025年8月1日（金）、2日（土）、3日（日）

参加人数：計12人（各日程4人ずつ）

場 所：安城市内各所

● 活動のきっかけ

「安城七夕まつり」では「願いごと 日本一」をキーワードに多くの人から期待をされているイベントであります。それに伴い、県内問わず、県外からも非常に多くの人々が来場し、混雑や夏の暑さから、多数の傷病者が発生します。

古くからその地域の日玉イベントである「安城七夕まつり」を救護の面で支え、安心して来場者の方楽しんでいただけるよう実施しています。

● 活動の内容

「安城七夕まつり」は、県内外から3日間で約300万人と、非常に多くの来場者が集まるため、傷病者の発生に備えて、来場者が多く集まる場所で2つの臨時救護所を開設します。

各救護所に2人ずつ団員を配置し、臨時救護所に来た傷病者の対応や、もし動けない傷病者が発生した場合はその場に速やかに駆けつけ、対応を行います。

● 活動の成果・効果

令和7年度は、一部の臨時救護活動に日本赤十字豊田看護大学青年奉仕団も参加しました。

他の奉仕団と共同で実施したこと自体が初めてでしたが、私たち自身も彼女達の若さから元気がもらえました。これからも一緒に楽しく活動を続けていきたいです。



安城七夕まつりの様子と普段の活動で使っている物品

● 奉仕団のPR

愛知県内の各地のイベント会場で活動を行っているので、各地のイベントに参加できます。

また、私たちの団員は、委員長をはじめ、みんな明るく、気軽になんでも話しあえるメンバーばかりです。

看護師資格を持っていて、地域のイベントに救護の面で協力したいという方は、ぜひ一緒に活動をしましょう！団員募集は随時行っています！

愛知県赤十字救助奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：鬼頭 功夫（就任15年目）
団員数：35人（男：17人、女：18人）
結成年月日：昭和56年6月7日
母体：単独赤十字特殊奉仕団

団 紹 介

私たち愛知県赤十字救助奉仕団は「救助の和・輪」を合い言葉に、主に「赤十字水上安全法救助員」の資格を有する者、および主旨に賛同する者で構成しています。

奉仕団の主な活動

● 水と親しむふれあい教室

「名古屋市障害者スポーツセンタープール」を活動場所の拠点として、毎月1回、心身に障がいのある子どもたちと、水遊びを楽しんでいます。

● 研修会（ふれあい教室の子ども達と楽しんだ安城産業文化公園デンパーク）

10月に団員、ふれあい教室の子ども達で安城デンパークを散策しました。

〈安城産業文化公園デンパーク散策〉

日 時：10月12日（日）

参加人数：26名



安城産業文化公園デンパーク自由行動前の集合写真

● クリスマス会（名古屋市障害者スポーツセンター料理室）

12月に団員、ふれあい教室の子ども達でクリスマス会を開催しました。

日 時：12月21日（日）

参加人数：23名



クリスマス会集合写真



サラダ、ピザ、ナゲット
ポテト、シュークリーム



サラダ作成



ピザ作成



ナゲット、ポテト作成



サラダ作成

● NHK 海外助け合い募金活動（名古屋駅前）

日 時：12月13日

参加人数：2名

● 活動の継続について

ふれあい教室の持つ子ども達の成長に少しでも役に立てる事を続けていきます。



愛知県赤十字無線奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：桐山 裕文（就任2年目）
団員数：34人（男：30、女：4人）
結成年月日：昭和59年5月22日

団 紹 介

愛知県赤十字無線奉仕団はアマチュア無線技士からなる団員で構成されています。

災害など非常事態の発生の恐れがある場合、ならびに緊急事態が発生した際に、無線通信活動を通して日本赤十字社愛知県支部の救護活動へ参加します。

奉仕団の主な活動

● 移動運用訓練

5月11日（日）愛知県丹羽郡扶桑町にて移動運用訓練を実施しました。（活動人員：8名）

災害時を想定し、インフラの整っていない環境（電源なし、水道なし、トイレなし）にておいて、各自が住所を手がかりに初めて行く場所へ集合し、アマチュア無線局の設置、交信訓練を実施しました。

● NHK海外たすけあい街頭募金

12月13日（土）名古屋駅前にて街頭広報及び募金活動を実施しました。（活動人員：7名）

「人道支援に空白地帯をつくらない。」を掲げ、国際活動の支援をしました。

● 第57回東海ハムの祭典 特別記念局「8J2TKI」運用・出展

6月30日（月）～7月18日（金）にかけて、アマチュア無線特別記念局の運用を実施しました。全国のアマチュア無線局と交信することができました。また、交信の経験を通して、団員の技量向上につながりました。（活動人員：のべ20名、交信数：328交信）

10月26日（日）には、第57回東海ハムの祭典会場に出展し、赤十字救急法短期講習会と広報活動を実施しました。（活動人員：10名、岡谷鋼機名古屋公会堂）



移動運用訓練



第57回東海ハムの祭典

活動ピックアップ!

活動名：視察研修（日赤三重無線奉仕団）

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年6月29日（日）

参加人数：8名

活動場所：日本赤十字社三重県支部（三重県津市あかつ台）

● 活動のきっかけ

アマチュア無線（電波）を通して交流のある日赤三重無線奉仕団員と顔を合わせて交流する機会を持ちたいとの話が盛り上がり、2年がかりで計画し、今回の視察研修を実現できました。

● 活動の内容

高台へ移転した三重県支部の新庁舎に設置されているアマチュア無線局の見学。

お互いの奉仕団の活動紹介、意見交換の実施。



意見交換、機材の説明



左側（三重の団員）右側（愛知の団員）

● 活動の成果・効果

日赤三重無線奉仕団は技術面の活動に力を入れている点に関心を持ちました。

南北に長い三重県の地域性の特色や活動の違いを認識できました。

毎年、出展している東海ハムの祭典会場に視察研修で交流した日赤三重無線奉仕団員にお越しいただき、研修後も継続した交流ができました。

三重県支部が海岸に近い場所から高台へ移転し、日本赤十字社が災害対応を前提とした活動拠点の整備に力を入れていることを認識できました。

無線局コールサイン「JH2YWN」「JE2ZQY」

無線局の常置場所：名古屋市東区（JH2YWN）

愛知県岡崎市（JE2ZQY）

無線機：IC-9700、FT-2000、FT-857、ID-31、IC-910など

〈入団資格〉

第4級アマチュア無線技士相当以上の無線従事者免許保有者

※興味のある方は、日本赤十字社愛知県支部 社会活動推進課までお問い合わせください。



愛知県青少年赤十字賛助奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：内田 幹也（就任2年目）
団員数：85人（男：64人、女：21人）
結成年月日：平成14年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団

団 紹 介

青少年赤十字賛助奉仕団は、青少年赤十字指導者協議会の役員経験者や指導経験者で、本団の活動に深い理解を有する教員退職者で組織された団体である。指導者協議会と連携をとりながら、日本赤十字社愛知県支部の行う事業への参加・協力、加盟校に対する支援、若手指導者の育成等を通して、青少年赤十字の普及・発展及び青少年の健全育成に寄与すべく活動を行っている。

奉仕団の主な活動

● 受付支援

【青少年赤十字指導者協議会総会】

4月22日（火）に岡谷鋼機名古屋公会堂で開催された会の受付業務を、10名の参加により指導者協議会役員とともにいった。

【青少年赤十字指導者協議会講演会】

令和8年1月16日（金）にウィルあいちで開催された会の受付業務を、10名の参加により指導者協議会役員とともにいった。



青少年赤十字指導者協議会講演会時受付

● 赤十字を広める活動や募金活動への参加

【広めよう赤十字！ 5月の愛知一斉キャンペーン】

5月4日（日）に、赤十字月間の啓発活動として、他の特殊奉仕団とともに東山動物園で街頭PRを行った。13名の団員が参加し、啓発物品の配布をしながら赤十字社への理解と協力を呼びかけた。

【NHK 海外たすけあい街頭募金活動】

12月13日（土）、名古屋駅交番（東側）付近で、青年奉仕団とともに11名の参加により街頭募金活動を行った。



広めよう赤十字キャンペーン

● 親睦と教養を深める研修会

11月29日（土）に「東海市から世界の『鉄』について考えよう！」をテーマに、「東海市創造の杜交流館」と「日本製鉄名古屋製鉄所」を団員24名の参加で実施した。「創造の杜交流館」では、国立競技場やIGアリーナを設計した隈研吾氏による特徴的な外観を拝見し、学芸員の解説を聞いた。「日本製鉄」では、広大な工場内敷地をバスで移動しながら鋼鉄の生成についての説明を聞き、高熱で真っ赤になった鉄の厚板切断の様子を間近で熱を感じつつ見学するなど充実した時を過ごした。



創造の杜交流館にて

活動ピックアップ!

活動名：指導者協議会との連携による防災授業

この活動は、団員が青少年赤十字加盟校で「いえまですごろく」を用いて授業を行い、児童生徒の防災に関する知識や意識を高めたり、災害時に取るべき適切な行動を考えたりするきっかけづくりとなる取組である。今年度は、尾張地区の小学校1校と東三河地区の中学校1校で実施した。

【中学校】

● 活動の時期・参加人数

日 時： 令和7年12月3日（水）
参加人数： 新城市立千郷中学校
 災委員会委員（1～3年生）22名
 賛助奉仕団員1名



どうやって問題解決する？

● 活動の内容

まず生徒たちが災害を自分事として考えられるように、新城市のハザードマップなどを用いた図などをパワーポイントで見せ、千郷中学校区で考えられる災害等を意識させてからゲームを行った。

今回の取り組みでは、地域の方や先生も参加し、グループをつくって生徒と一緒に体験をした。

● 活動の成果・効果

生徒たちは、ゲームをしながら、ただ単に問題解決をして対処方法を確認するだけでなく、問題解決する過程を通して、コミュニケーションを取り合っていくことの大切さについても強く認識することができた。そして、中学生として、災害時にどのような行動で力になれるか考えるきっかけとすることができた。

【小学校】

● 活動の時期・参加人数

日 時： 令和7年12月16日（火）
参加人数： 岩倉市立五条川小学校
 5年生93名 賛助奉仕団員1名



子どもたちの問題意識を高める

● 活動の内容

子どもたちに大切にしたいことを意識させるために赤十字のホームページにある動画を視聴させるなどしてから、ゲームの進め方を伝えた。

子どもたちは、救助場面カードの場所へ到着すると、場面に合った適切な救助方法を班のメンバーと協力して考えていった。そして、救助できると思わず歓声をあげるなど、楽しみながら夢中になってゲームに取り組んでいた。

● 活動の成果・効果

授業後の子どもたちは、「地震が起きたときに、どんなふうにしていったらいいか考えることができた」とか「自分の命を大事にすることで周りの人の命も助けられることがわかった」などの感想をもち、災害時とるべき行動についての意識を高めることができた。

愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：藤川 和秀（就任1年目）
団員数：652人（男：622人、女：30人）
結成年月日：平成17年4月1日
母体：公益社団法人 愛知県柔道整復師会
分団数：10
組織形態：特殊赤十字奉仕団

団 紹 介

愛知県下の接骨院・整骨院のうち約700名が所属する業界最大で唯一の公益団体です。

平成20年に名古屋市・平成21年に愛知県・平成23年に岡崎市・平成28年に尾張旭市と大府市・平成29年に知多市と半田市・平成30年に東海市・令和元年に武豊町・令和4年に春日井市・令和6年度は阿久比町と常滑市、令和7年度は刈谷市と「大規模災害時の避難所における人的支援に関する協定」を締結しました。

今後も災害救護活動やスポーツ現場での救護を継続していきたいと考えています。

奉仕団の主な活動

- ☆愛知県・田原市総合防災訓練 (R7. 8. 31) 〈3名〉
- ☆第43回「NHK海外たすけあい」名古屋駅周辺で実施した街頭募金に参加 (R7. 12. 13) 〈2名〉
- ☆第20回県民公開講座を開催 (R8. 3. 1)



NHK海外たすけあい



県民公開講座 〈200名ほどの参加〉

活動ピックアップ!

活動名：第33回全日本マスターズハンドボール大会

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年8月16日（土）、17日（日）
参加人数：延べ7名

● 活動のきっかけ

全日本マスターズハンドボール連盟より依頼を受け、会場救護を担当した。

全国よりマスターズ選手が678名集まったの大会である。

● 活動の内容

身体接触の多いスポーツであり、また陳旧性外傷がある選手が大半である。

大会開始前に傷害予防体操を実施し、ケガ予防のテーピングを施した。

● 活動の成果・効果

例年、アキレス腱断裂や骨折/脱臼の多い大会であったので、ゲーム開始前に「傷害予防の準備体操」も担当した。その結果、上記外傷は発生せず安堵した。また、現場で発生した外傷応急処置も迅速に行った。

この経験を通じて、救護所や避難所での活動に活かしたいと感じた。



大会中に負傷された選手の応急処置 2日間の大会にて総勢110名の選手に対応

● 国家資格を生かして

柔道整復師は国家資格です。災害現場では骨折や脱臼の応急処置と医師同意後の後療、並びに打撲・捻挫・挫傷の施術などケガの手当てが可能です。また機能訓練指導員でもある我々は、運動器の専門家でもあり、避難所にて被災者の皆様に各種運動指導を実施することもできます。

今後も特殊赤十字奉仕団として、県・市防災訓練への参加・災害時に於ける救護活動の実施・避難所にての運動指導や各種スポーツ大会の救護活動などに力を入れていきます。

愛知県赤十字災害救護奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：野牧 泰士（就任10年目）
団員数：43人（男：32人、女：11人）
結成年月日：平成22年4月1日

団 紹 介

愛知県赤十字災害救護奉仕団は、災害時に愛知県支部救護班と連動し、初動期から活動する奉仕団として防災ボランティア（愛知県支部防災ボランティア活動推進連絡会）から特殊奉仕団として結成されました。平常時は、行政の実施する各種防災訓練への参加や支部が実施する救護班訓練のサポート等を実施しております。災害時には、救護班と連携した活動やボランティアセンターなどの運営を行います。

奉仕団の主な活動

● 養成研修会のサポート

赤十字防災ボランティア養成研修会において、ボランティアセンターの運営、各種救護機材（テント、炊き出し（ハイゼックス）、無線、救護法）の取り扱いの指導を実施しています。

● 各種救護訓練

県や市町村などが行う水防訓練や地震や津波を想定した訓練や各関係機関が参加する訓練において救護班のサポートとして各種訓練に参加しています。

● 災害時の活動

災害発生時には、初期段階より支部に参集し、災害対策本部のサポート、救援物資の搬送支援等多岐にわたり活動を実施しています。



救援物資の積み込み



テールゲート講習会

活動ピックアップ!

活動名：直焚き炊飯研修会

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和8年1月

参加人数：20名

● 活動のきっかけ

近年の炊き出しでは、ハイゼックス炊飯袋を使用する方法やパッククッキングなどが多く使われており、直焚きを知らない団員や実際にやった事のない団員も多くなってきたので実施をしました。

● 活動の内容

実際に実施してみると、LPガスを使用しても火加減の調整が難しいなどがあり、本当にこれで炊けるのだろうかと不安もありました。

また、単純にごはんだけでなく普段できないような副菜も用意して災害時でもおいしく食べられるように工夫をしました。



直焚き炊飯の様子

● 活動の成果・効果

直焚きは今までほとんど実施をしたことがありませんでしたが、いざ実施してみると思った以上に美味しく炊くことができました。しかし炊いた後に、ハソリにごはんが付くなどがあり、災害時に後始末をどのようにしたらいいのかも課題として浮かび上がりました。

参加した方々からは、「おいしかった」など好評をいただきました。また一方で、「もう少し少なく炊くことはできないのか」という難しい課題も頂いて有意義な研修会となりました。今後も災害時に有効に活用できる方法を考えていきたいと思えます。

● 奉仕団のPR

災害救護奉仕団では、災害時における多岐にわたる活動を実施するために、赤十字の活動を優先して行えるボランティアを募集しています。分からない事は、歴戦のボランティアが教えますので、私にもできるかなと思ったら是非お声掛けください。

災害対応における研修・訓練で教えてほしい場合でもお気軽に声をかけてください。皆様と顔の見える環境を作って減災を推し進めましょう。

愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：舘野 英子（就任1年目）
団員数：18人（女：18人）
結成年月日：平成25年4月1日
母体：特別奉仕団

団 紹 介

愛知県支部主催の国際人道法講座を受講した団員らで、講座終了後は、長年「ふうせんの会」として出会いを大切に、自主研修会を続けてきました。

「国際人道法」「ジュネーブ条約」等、再度学び研鑽してきました。

全国的に人道法講座が開催されていない中、ただ学ぶだけではなく、学んだことを生かして多くの人たちに赤十字の基本原則「人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性」について普及していきたいとの思いから、団体を設立し活動をしています。

奉仕団の主な活動

● 赤十字運動月間に関わる東山動植物園イベントに参加

活動日：令和7年5月4日（日）

内 容：来園された方と動物折り紙と紙コップでお皿を作成

参加人数：6名

● 出前講座「ミニ本を活用して」

活動日：令和7年6月10日（火） 人道法普及奉仕団参加人数：4名

出前講座先：大府市赤十字奉仕団 49名（大府市役所）

内 容：「七原則」「日本赤十字の歴史」ミニ本の配布・作り方 大判本を使用して説明

活動日：令和7年6月25日（水） 人道法普及奉仕団参加人数：4名

出前講座先：江南市赤十字奉仕団 29名（江南市中央コミュニティ・センター）

内 容：「日本赤十字の歴史」ミニ本の配布・作り方



東山動植物園イベント



出前講座 大府市赤十字奉仕団

活動ピックアップ!

活動名：**大阪・関西万博研修会**

● 活動の時期・参加人数

日 時：令和7年9月16日（火）
参加人数：11名

● 活動のきっかけ

「日赤発祥の原点は万博にあり」1867年パリ万博で佐野常民は、傷者救護社の国際展示会を見学し、1873年ウィーン万博でヨーロッパの先進的な知識・技術・思想の見解と赤十字の発展を知りました。そして1877年に博愛社を設立し、日本赤十字事業の幕開けとなりました。

「佐野常民」のミニ本を作成していましたので、更なる知見をと考えました。



国際赤十字・赤新月運動館の入口

● 活動の内容

事前に役員で、何度も打合せして参加者には、熱中症対策、赤十字パビリオンの予約時間等、詳細を共有して見学・研修会を実施しました。

● 活動の成果・効果

国際赤十字・赤新月運動館では、「気づき」「考える」「実行する」を見学し、気持ちを前向きにすること、さまざまな経験を積むことが肝心だと思いました。

個々の力量と組織のありようについて学ぶこともできました。

世界中で起きている紛争地域では、十分な医療が提供されない状況が続いていたり、子どもたちも深刻な影響を受けています。大阪・関西万博に足を運べたこと、そして平和な日常を過ごしていることに感謝し、「慮る」ことを忘れずに健康で活動を続けていきたいと願っています。

奉仕団のPR

舘野英子委員長

今後に向けた意気込み

前委員長の太田さんから大任を任されて、怒涛の一年間でした。大阪・関西万博の研修会に向けて役員会の皆さんと一体になって参加できた事が良かったと思います。

今後は当団を皆さんに知っていただき、団員を募集し赤十字活動のPRができるように努力します。



令和7年総会 右が舘野委員長

青年赤十字奉仕団

名城大学薬学部青年赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：平尾実祐（就任1年目）
団員数：51人
結成年月日：昭和42年4月1日
母体：名城大学薬学部SRC同好会

団 紹 介

私たちの団は、名城大学薬学部の学生で構成されています。主軸として日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院で小児病棟に入院する子供たちと工作を交流したり、クリスマス会など楽しんでもらえるイベントを企画したりしています。また、熱田区区民まつりに参加して地域の子供たちと工作をすることで活動について知ってもらうなどの広報活動にも努めています。

奉仕団の主な活動

● 熱田区区民まつり

日時：10月12日

概要：熱田区区民まつりに来場した子供たちと、紙皿とキャップを使ったコマ作りを行い、地域の方々との交流を深めました。計200名ほどの人に来訪して頂きました。

人数：6名

● 大学祭での献血呼びかけ活動

日時：10月31日、11月1日

概要：大学祭に献血バスを呼び、部員1～3年生で献血参加への呼びかけをしながら校内を回りました。
また、けんけつちゃんの着ぐるみを使って呼びかけも行いました。

人数：約30名



大学祭での献血呼びかけ活動

活動ピックアップ!

活動名：**八事ひよこ隊**

● 活動の時期・参加人数

日 時：毎週水曜日

参加人数：10人程度

● 活動のきっかけ

新型コロナウイルスの流行で一時は活動を中止しておりましたが、昨年度9月から八事日赤病院小児科の子供たちとの対面活動が再開したことで先輩方のお力添えをいただきながら、活動を再開し、現在まで活動を軌道に乗せることができました。

● 活動の内容

普段の活動では八事日赤病院のプレイルームや病室で子供たちと工作を行ったり、クリスマスにはクリスマス会を行い、子供たちに楽しんでもらえるように季節に合わせた行事を企画しています。また、工作するものについても定期的に話し合い、安全にできて、子供たちの負担にならないような制作時間で作れるものをいくつか用意して、毎週楽しんでもらえるようにしています。

● 活動の成果・効果

実際に活動してみると、楽しんで工作してくれる子供が多く、私たちが帰るギリギリまでプレイルームに残ってくれる子もいるので、やりがいを感じられて、私たちにとっても大切な時間になっています。また、子供たちが楽しそうに遊んでいる姿を親御さんも笑顔で見守ってくださっているのがほほえましい気持ちになります。週に1回の限られた時間の中で楽しんでもらえるようにこれからも毎週の活動での反省を活かしながら続けていきたいと思えます。



八事ひよこ隊のクリスマス会で作成

● 奉仕団のPR

普段の活動では、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病棟の小児科病棟の子供たちが楽しむことができるおもちゃを作り、また、ハロウィンやクリスマスなど季節に合わせた工作も行っています。病棟で活動させていただけることへの感謝の気持ちを忘れずに、これからも工作を通して、子供たちに楽しんでもらえるような活動を続けていきたいと思えます。

熱田区区民まつりに関しても多くの方々に参加していただき、忙しくはありましたが、楽しんでいる声が多く聞こえて、企画を成功させることができたと感じられました。

大学祭での献血への参加呼びかけでは着ぐるみの中に入るといふ普段はできない体験ができて、訪れた子供達も興味を持って近寄ってきてくれたので、献血を広めると共にとても盛り上がるイベントにすることが出来ました。

日本赤十字豊田看護大学青年奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：伊藤 璃那（就任1年目）
団員数：55人（男：1人、女：54人）
結成年月日：平成17年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団

団 紹 介

日本赤十字豊田看護大学青年奉仕団は、日本赤十字社愛知県支部からご紹介いただいた様々な分野のボランティア等の活動に、興味のある団員が参加し、活動しています。また、今年度から、看護学生という本奉仕団の特徴を活かし、各地のイベントでの救護所において看護師さんと一緒に活動するという臨時救護活動をご紹介いただき、複数の団員が参加させていただきました。

奉仕団の主な活動

● 名古屋第二病院（八事日赤）病院祭

活動日：2025年5月31日（土）参加人数：12名

活動内容：子どもたちに「きけんはっけん」という防災教材を用いて防災教育を行いました。

他には、ハートラちゃんの着ぐるみを着用してステージに出たり、子どもたちと触れ合ったりしていました。また、心肺蘇生についてのブースのお手伝いも行いました。

● 夏休みみんなの空き地プロジェクト

活動日：2025年8月25日～29日の間 参加人数：6人

活動内容：夏休み中の子どもたちに空き地として自由に安心して過ごせる空間を提供することを目的に行いました。具体的には、子どもたちの宿題のお手伝いや子どもの遊び相手をしました。また活動を通して、他大学の奉仕団の方や愛知県青年赤十字奉仕団の方との交流することができました。

● 臨時救護活動（北区区民まつり）

活動日：2025年10月19日（日）参加人数：1人

活動内容：実際の救護所において、怪我をされた方への手当てなど主に看護師さんのお手伝いを行いました。事前にどんな資源があるのか、使える物であるか確認する重要性や限られた資源の中で最善な選択をする難しさについて学びました。



病院祭での活動様子

活動ピックアップ!

活動名：赤十字救急法救急員養成講習会

● 活動の時期・参加人数

日 時：2025年9月8日（月）・9日（火）・10日（水）

参加人数：8名

● 活動のきっかけ

私たち赤十字団と本大学のサークルであるDMACの共同で赤十字救急法救急員の養成講習会を実施しようということになり、愛知県支部の方に協力をいただき、今年度も昨年度と同様に実施しました。他サークルとの活動を通して交流を深めつつ、夏休みの期間を使って、自分たちも奉仕団員としてスキルアップしようという意気込みで参加させていただきました。

● 活動の内容

1日目は赤十字救急法基礎講習を行い、一次救命処置を中心に、手当の基本や人工呼吸、心肺蘇生の方法、AEDを用いた電気ショックなどの訓練を行いました。

2日目・3日目は、赤十字救急法救急員養成講習を行い、止血法や包帯の使い方、骨折や怪我での三角巾を用いた固定方法、毛布を用いた搬送、災害時の心得を学び、繰り返し演習を行いました。そして、身の回りにあるものを使って手当ができることも学びました。



活動時の様子

● 活動の成果・効果

知識や技術を短期間で習得するということには困難な場面も多くありましたが、サークルや学年を超えて、仲間と教え合い、時間を見つけては何度も練習し、助け合いながら技術の習得ができたことはとても大きなやりがいに繋がりました。今回の講習では、傷病者の命を守るための知識と技術を習得することが主な目的でしたが、それと同時に、自分の命を守り、二次災害を防ぐことも救急員の大きな役目であるということを知り、災害発生時や傷病者発生時にどのように行動するべきなのか、改めて考える機会となりました。全員が仲間との交流を楽しみながら、講習に対して積極的に参加することができました。

● 今後に向けて

日本赤十字豊田看護大学青年奉仕団は、看護の単科大学にあるということもあり、学年を超えての縦のつながりが強く、奉仕団の中でも先輩後輩の仲が良く、和気あいあいとしてアットホームな雰囲気が特徴です。昨年度からは新型コロナウイルスによる規制がなくなり、サークル内でもサークルを超えてでも仲間との交流の機会が増えつつあります。これからも、十分な感染対策を実施した上で、大学で学んでいる内容も活かしながら、多くの方と交流できるような活動に参加したいと考えております。そして、引き続き災害についての知識も増やしながら、地域の方が笑顔になれるような活動を行って参ります。

名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：市川 杏奈（就任2年目）
団員数：9人（男：0人、女：9人）
結成年月日：平成18年4月1日
母体：ハートフル♥エデ

団 紹 介

名古屋学芸大学赤十字奉仕団は、2006年に「心を通わせ、心を寄り添う、心のこもった活動」をしようと「ハートフル♥エデ」を立ち上げ活動しています。令和4年愛知県赤十字大会では、銀色有功章を頂きました。感染症感染拡大により活動ができない時期を経て、令和4年7月から、新たな形で活動を始めました。「できる時にできることを、一生懸命行うこと」を大切に活動しています。赤十字の活動を通して様々なことに挑戦しています。

奉仕団の主な活動

● 夏休み親子血液教室2025

活 動 日：2025年8月4日（月） 参加人数：8人
活動内容の概要：愛知県赤十字血液センターが実施する「夏休み親子血液教室2025」の企画において、血液や献血に関するクイズを取り入れたスタンプラリーを計画し、実施しました。

● 夏休みみんなの空き地プロジェクト

活 動 日：2025年8月25日（月）～29日（金） 参加人数：6人
活動内容の概要：日本福祉大学や愛知県青年赤十字奉仕団の皆さんと協力し、夏休み中の子どもの居場所づくり活動を行いました。

● 栄献血ルーム前での献血の呼びかけ

活 動 日：2025年10月24日（月） 参加人数：3人
2026年3月19日（木） 参加人数：2人
活動内容の概要：栄のガスビル前で献血の呼びかけを行いました。



献血の呼びかけ

● ハイゼックスを用いた炊き出し体験&試食

活 動 日：2025年12月18日（木） 参加人数：7人
活動内容の概要：ハイゼックスを用いた炊き出しを行いました。



炊き出しの最中

活動ピックアップ!

活動名：夏休み親子血液教室2025

● 活動の時期・参加人数

日 時：2025年8月4日（月）

参加人数：8人

● 活動のきっかけ

愛知県赤十字血液センターの方々から昨年、ご依頼をいただき「夏休み親子血液教室2024」に参加させていただいたことから引き続き、今年もご依頼をいただき、参加させていただきました。

● 活動の内容

青年赤十字血液センターの方々にもご協力いただき、準備期間には、献血について知識を深め、職員の方々と当日の流れに関する打ち合わせをおこないました。また、血液や献血に関するクイズを取り入れたスタンプラリーを実施するために、スタンプカードの作成や答え合わせに使用するスライドの作成など、当日に向けて準備を重ねました。



クイズを出題している最中

● 活動の成果・効果

昨年度の反省を踏まえ、より楽しく効果的に献血や血液の知識を学べるよう工夫し、今年は施設見学の中に血液や献血に関するクイズを取り入れたスタンプラリーを実施しました。その結果、昨年度と比べて活動内容が大きく充実したものになりました。参加者の理解が深まっただけでなく、活動を通して「どのような方法や言葉遣いなら相手に伝わりやすいのか」「実施に向けてどのような点に注意し、どのように準備を進めるべきか」といった視点を学ぶことができ、奉仕団としての団結力の高まりも実感しました。これらの経験は、自身の成長につながるとともに、今後の活動においても大きな財産となりました。

● 奉仕団のPR

活動の輪を広げていくために

私たちが名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団「ハートフル♥エデ」として活動をし始めてから、まだ日は浅いですが、様々な活動を行うたびに人の優しさに触れ、助け合いの心を強く実感しています。

昨年度から部員が9名に増えたことで活動の幅が広がり、さまざまな方々とのつながりをより強く感じるようになりました。今年度は、災害支援や防災活動に一層力を入れ、主体的に研修会の企画やボランティア活動への参加を進めることで、活動の輪をさらに広げていきたいと考えています。

南山大学青年赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：碓 真人（就任1年目）
団員数：32人（男：6人、女：26人）
結成年月日：平成12年4月1日
母体：ボランティアサークルTogether

団 紹 介

主に赤十字、環境、福祉、町おこしの4つの分野で活動を行っています。環境ボランティアでは、川やその周辺の清掃を地域の方々と行っています。福祉ボランティアでは、児童館を訪問し、イベントのお手伝いをしています。町おこしボランティアでは、岐阜県美濃加茂郡の白川町で現地の農家の方に教わりながら田植えや稲狩りを体験し、年に何度か開催されるお祭りの手伝いも行っています。

奉仕団の主な活動

● 八事日赤病院祭運営ボランティア

5月31日（3名）が八事日赤病院の祭り運営の補助をさせていただきました。活動の中で看護学生や地域の子供たちと関わり、祭りを盛り上げました。

● 子供の居場所作りボランティア

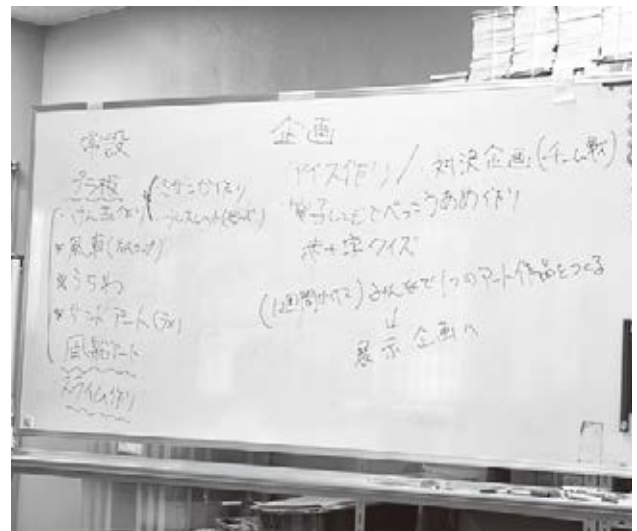
夏休みの期間（1名）で、子供の孤独・孤立を防ぐために「家」「学校」に次ぐ第3の居場所をつくりました。その以前から何回か学生たちで会議を進めて、より良いものを目指しました。

● 赤十字PRブース運営補助ボランティア

12月21日（1名）にららぽーと安城にて、赤十字のPRブースの運営補助をしました。内容としては、事業紹介のパネル展示、ノベルティの配布、ハートラちゃん着ぐるみの着用などです。他団体のボランティアの方々と協力しながら、よりよいPR活動となるよう工夫しました。



祭り運営に来た者



企画案

活動ピックアップ!

活動名：「NHK 海外たすけあい」 募金

● 活動の時期・参加人数

日 時：12月13日

参加人数：2名

● 活動のきっかけ

日本と違い海外では、戦争の危機や被害が目に見える状況で以前活動したいと思っていた活動なので、参加しました。

● 活動の内容

日本赤十字社が実施する国際救援、開発協力等の資金となる募金活動を名古屋駅の桜通り口にある交番前で行いました。



● 活動の成果・効果

日本赤十字社における理念を再確認できました。活動を通して、人の命と尊厳を守るという考えが、日常の中でどのように実践されているのかを実感することができました。特に、地域の人々と関わりながら支援を行う中で、相手の立場に立って行動することの大切さや、小さな行動の積み重ねが社会に貢献することにつながるということ学びました。

また、ボランティアは特別な能力を持った人だけが行うものではなく、誰もが主体的に社会に関わることができる活動であるという点も印象に残りました。活動を通して、周囲の人と協力しながら物事を進める姿勢や、困っている人に自然と手を差し伸べる意識が大切であると感じました。

● 奉仕団のPR

当団は、団員がアルバイトや勉強を両立させながらそれぞれのペースで楽しく活動を行っています。好きな時にいきたいボランティアを選択することができるため、たくさんの方々と深い交流ができるのが魅力です。また専門的な学生もいるので、そういう方々にたくさんお話を聞けるので教養も身につきます。

特に堀川清掃や祭りイベントに参加する団員が多く、学部や学年を超えた交流はもちろん、地域の方々との交流も図ることができて経験を積むことができます。

皆さんも、時間がある今を無駄にせず、私たちと一緒に社会に貢献しませんか？

愛知県青年赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉 委員長名：酒井 美咲（就任1年目）
団員数：39人（男：15人、女：24人）
結成年月日：平成21年4月1日
母体：単独赤十字奉仕団

団 紹 介

愛知県青年赤十字奉仕団は、愛知県在住・在学・在勤の18歳～29歳までの方を対象に団員を募集しています。団員は、住んでいる地域や、所属している学校・会社等がそれぞれ違うため、全員が一堂に会する機会は少ないですが、参加できる人が参加できる時に、お互いの知識や経験を共有しながら、様々な分野の赤十字活動に取り組んでいます。

奉仕団の主な活動

● 夏休み みんなの空き地プロジェクト

実施時期：令和7年7月～8月 参加人数：延べ21名

UR都市機構様との協働により、7月に名古屋市緑区の鳴子団地、8月に名古屋市千種区の千代が丘団地で、子どもたちがいつでも来られる「空き地」として団地内の集会所を開放しました。

当奉仕団員も子どもたちの夏休みの宿題の手伝いや、一緒に遊ぶことを通して子どもたちの第3の居場所となるように活動しました。

● 大阪・関西万博研修会

実施時期：令和7年10月5日（日） 参加人数：5名

今年度で開催された大阪・関西万博にて、「赤十字パビリオン（国際赤十字・赤新月運動館）」の見学をしました。3部構成の展示を通じて、赤十字が、世界で絶え間なく発生する人道危機に立ち向かい、人々の日常を少しでも取り戻すために、国際社会において重要な役割を果たしていることを改めて実感しました。今回の研修により、今まで以上に強い使命感をもって活動に取り組んでいきたいと思えます。



みんなの空き地プロジェクトの様子



大阪・関西万博研修の様子

活動ピックアップ!

活動名：名古屋第一病院祭への防災ブース出展

● 活動の時期・参加人数

日 時：11月22日（土）

参加人数：3名

● 活動のきっかけ

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、第二病院それぞれにて毎年開催されている病院祭ですが、今回は青年奉仕団が主体となって防災ブースを運営する機会をいただき、出展する運びとなりました。

● 活動の内容

日ごろから防災イベント等でブースを出展している我々は、防災教育教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を用いて、子どもたちを中心とした来場者へ、もしもの時にどのように行動することが望ましいか、考えてもらいました。団員の説明を熱心に聞く子どもたちの姿が印象的でした。

「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」は、対象年齢が幼稚園・保育園児からとなっており、特に家族連れの来場者が多いイベントで大いに活用できる教材です。



来場者へ説明をしている様子

● 活動の成果・効果

この日は多くの来場者で賑わい、当団のブースへも多くの方に立ち寄っていただきました。また、来賓として病院祭に参加しておられた愛知県知事にも活動の様子を見ていただくことができました。

赤十字は「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」をはじめ様々な防災教育教材を保有しています。イベント等で防災についての普及・啓発活動を行い、少しでも多くの子どもたちに防災の知識を身につけていただけるよう、団内でも教材についての理解を深め、多くの団員が携わる活動となることを目指して研修を行っていきます。

● 奉仕団のPR

愛知県青年赤十字奉仕団は、防災・減災、社会福祉など、赤十字の様々なジャンルの事業・企画へ参加し、活動しています。年齢だけでなく出身、職業など、いろいろな点において多様性をもった組織ですが、世間に隠れているニーズを発見し、解決することを目指しています。

奉仕団データ編

＜愛知県支部＞ 赤十字奉仕団
団数・団員数推移(令和7年度末現在)

	年度	愛知県	
		奉仕団数	奉仕団員数
総合計	令和5年	83	17,871
	令和6年	83	17,438
	令和7年	83	15,485

区分	年度	愛知県	
		奉仕団数	奉仕団員数
地域	令和5年	65	16,411
	令和6年	65	16,022
	令和7年	65	14,140
特殊	令和5年	13	1,230
	令和6年	13	1,186
	令和7年	13	1,158
青年	令和5年	5	230
	令和6年	5	230
	令和7年	5	187

＜全国＞ 赤十字奉仕団
団数・団員数推移(令和6年度末現在)

	年度	全国	
		奉仕団数	奉仕団員数
総合計	令和4年	2,860	839,704
	令和5年	2,831	829,386
	令和6年	2,800	678,028

区分	年度	全国	
		奉仕団数	奉仕団員数
地域	令和4年	2,088	806,027
	令和5年	2,068	785,324
	令和6年	2,048	634,747
特殊	令和4年	622	28,566
	令和5年	615	27,268
	令和6年	603	26,853
青年	令和4年	150	5,111
	令和5年	148	5,277
	令和6年	149	5,108
個人 ボランティア等	令和4年	—	—
	令和5年	—	11,517
	令和6年	—	11,320

令和7年度 赤十字奉仕団一覧

No.	奉仕団名	男	女	合計	結成年月日	母体となる団体名
<地域奉仕団>						
1	千種区赤十字奉仕団	158	149	307	昭和36年10月1日	単独赤十字奉仕団
2	東区赤十字奉仕団	155	20	175	昭和25年4月25日	学区連絡協議会
3	北区赤十字奉仕団	294	94	388	昭和32年10月19日	区政協力委員
4	西区赤十字奉仕団	351	106	457	昭和26年4月1日	区政協力委員
5	中村区赤十字奉仕団	278	41	319	平成2年6月1日	区政協力委員
6	中区赤十字奉仕団	257	45	302	昭和25年11月23日	区政協力委員
7	昭和区赤十字奉仕団	187	63	250	昭和32年10月19日	区政協力委員
8	瑞穂区赤十字奉仕団	186	68	254	昭和32年10月19日	区政協力委員
9	熱田区赤十字奉仕団	136	13	149	昭和25年11月3日	学区連絡協議会
10	中川区赤十字奉仕団	235	235	470	昭和49年4月1日	区政協力委員
11	港区赤十字奉仕団	251	47	298	昭和25年9月1日	区政協力委員協議会
12	南区赤十字奉仕団	2,289	2,289	4,578	昭和26年2月6日	区政協力委員
13	守山区赤十字奉仕団	308	84	392	昭和30年5月21日	区政協力委員
14	緑区赤十字奉仕団	420	134	554	昭和38年4月1日	区政協力委員
15	名東区赤十字奉仕団	204	88	292	昭和50年2月1日	単独赤十字奉仕団
16	天白区赤十字奉仕団	194	94	288	昭和50年2月1日	区政協力委員
17	豊橋市赤十字奉仕団	0	452	452	昭和62年3月1日	豊橋市更生保護女性会
18	岡崎市赤十字奉仕団	2	22	24	平成8年5月30日	単独赤十字奉仕団
19	一宮市赤十字奉仕団	1	238	239	昭和23年12月22日	単独赤十字奉仕団
20	瀬戸市赤十字奉仕団	7	9	16	昭和32年10月19日	自治会・地域婦人団体連絡協議会
21	半田市赤十字奉仕団	0	24	24	昭和54年5月1日	単独赤十字奉仕団
22	春日井市赤十字奉仕団	0	186	186	昭和26年4月1日	単独赤十字奉仕団
23	豊川市赤十字奉仕団	12	8	20	昭和32年10月19日	豊川市青年団協議会
24	豊川市第二赤十字奉仕団	1	5	6	昭和37年4月1日	単独赤十字奉仕団
25	津島市赤十字奉仕団	0	34	34	昭和57年4月1日	単独赤十字奉仕団
26	碧南市赤十字奉仕団	0	264	264	昭和24年11月24日	単独赤十字奉仕団
27	刈谷市赤十字奉仕団	2	259	261	昭和25年9月1日	単独赤十字奉仕団
28	豊田市赤十字奉仕団	0	65	65	昭和43年6月18日	単独赤十字奉仕団
29	安城市赤十字奉仕団	0	27	27	昭和28年3月1日	単独赤十字奉仕団
30	西尾市赤十字奉仕団	1	80	81	昭和59年4月1日	単独赤十字奉仕団
31	蒲郡市赤十字奉仕団	1	161	162	昭和62年4月1日	蒲郡市更生保護女性会
32	犬山市赤十字奉仕団	4	38	42	平成8年8月8日	単独赤十字奉仕団
33	常滑市赤十字奉仕団	1	51	52	平成10年7月6日	単独赤十字奉仕団
34	江南市赤十字奉仕団	0	60	60	平成10年3月26日	単独赤十字奉仕団
35	小牧市赤十字奉仕団	0	170	170	昭和32年10月19日	小牧市女性の会
36	稲沢市赤十字奉仕団	0	27	27	平成5年10月8日	単独赤十字奉仕団
37	新城市赤十字奉仕団	4	131	135	昭和34年11月1日	新城はぐるまの会
38	東海市赤十字奉仕団	2	96	98	昭和44年6月1日	単独赤十字奉仕団
39	大府市赤十字奉仕団	2	166	168	昭和32年4月1日	大府市地域婦人団体連絡協議会
40	知多市赤十字奉仕団	0	35	35	昭和30年4月1日	単独赤十字奉仕団
41	知立市赤十字奉仕団	0	6	6	昭和55年11月1日	ボランティアあおみの会
42	尾張旭市赤十字奉仕団	0	86	86	昭和32年10月19日	尾張旭市地域婦人団体連絡協議会
43	高浜市赤十字奉仕団	0	27	27	昭和57年4月1日	単独赤十字奉仕団
44	岩倉市赤十字奉仕団	0	30	30	昭和28年2月9日	岩倉市婦人会
45	豊明市赤十字奉仕団	0	20	20	昭和57年4月1日	単独赤十字奉仕団
46	日進市赤十字奉仕団	2	30	32	平成7年7月21日	単独赤十字奉仕団
47	田原市赤十字奉仕団	0	114	114	平成15年3月20日	田原市更生保護女性会
48	愛西市赤十字奉仕団	8	38	46	平成17年4月1日	単独赤十字奉仕団
49	清須市赤十字奉仕団	0	398	398	平成17年7月7日	清須市女性の会
50	北名古屋師勝赤十字奉仕団	0	15	15	昭和32年4月1日	女性の会

No	奉仕団名	男	女	合計	結成年月日	母体となる団体名
51	北名古屋西春赤十字奉仕団	1	17	18	平成元年4月1日	単独赤十字奉仕団
52	弥富市赤十字奉仕団	0	185	185	平成18年4月1日	弥富市女性の会
53	みよし市赤十字奉仕団	0	43	43	平成10年7月21日	単独赤十字奉仕団
54	あま市赤十字奉仕団	1	82	83	平成28年4月1日	単独赤十字奉仕団
55	長久手市赤十字奉仕団	0	18	18	平成21年4月1日	単独赤十字奉仕団
56	長久手市第二赤十字奉仕団	0	4	4	平成7年4月1日	単独赤十字奉仕団
57	豊山町赤十字奉仕団	0	41	41	昭和54年8月3日	単独赤十字奉仕団
58	扶桑町赤十字奉仕団	1	7	8	昭和52年4月1日	単独赤十字奉仕団
59	大治町赤十字奉仕団	0	67	67	平成8年5月21日	単独赤十字奉仕団
60	蟹江町赤十字奉仕団	0	98	98	昭和26年4月1日	蟹江町婦人会
61	阿久比町赤十字奉仕団	16	82	98	昭和28年11月29日	単独赤十字奉仕団
62	東浦町赤十字奉仕団	58	101	159	平成6年4月14日	単独赤十字奉仕団
63	美浜町赤十字奉仕団	0	204	204	平成21年4月1日	単独赤十字奉仕団
64	武豊町赤十字奉仕団	13	5	18	昭和28年4月1日	単独赤十字奉仕団
65	幸田町赤十字奉仕団	0	201	201	昭和27年11月30日	こうた女性の会
<特殊奉仕団>						
66	名古屋国際婦人赤十字奉仕団	0	31	31	昭和35年12月15日	名古屋国際婦人クラブ
67	三河湾赤十字海難救助奉仕団	59	2	61	昭和47年7月10日	単独赤十字奉仕団
68	三河赤十字救急奉仕団	20	19	39	昭和49年10月1日	単独赤十字奉仕団
69	愛知県赤十字安全奉仕団	45	43	88	昭和45年10月24日	単独赤十字奉仕団
70	尾張赤十字救急奉仕団	13	3	16	昭和52年11月18日	単独赤十字奉仕団
71	愛知県赤十字救急奉仕団	18	20	38	昭和53年4月2日	単独赤十字奉仕団
72	愛知県赤十字救護奉仕団	0	28	28	昭和53年4月25日	単独赤十字奉仕団
73	愛知県赤十字救助奉仕団	16	14	30	昭和56年6月7日	単独赤十字奉仕団
74	愛知県赤十字無線奉仕団	28	4	32	昭和59年5月22日	単独赤十字奉仕団
75	愛知県青少年赤十字賛助奉仕団	64	21	85	平成14年4月1日	単独赤十字奉仕団
76	愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団	622	30	652	平成17年4月1日	公益社団法人愛知県柔道整復師会
77	愛知県赤十字災害救護奉仕団	30	10	40	平成22年4月1日	単独赤十字奉仕団
78	愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団	0	18	18	平成25年4月1日	単独赤十字奉仕団
<青年奉仕団>						
79	名城大学薬学部青年赤十字奉仕団	0	50	50	昭和42年4月1日	名城大学薬学部SRC同好会
80	日本赤十字豊田看護大学青年赤十字奉仕団	1	54	55	平成17年4月1日	単独赤十字奉仕団
81	名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団	0	9	9	平成18年4月1日	ハートフル♥エデ
82	南山大学青年赤十字奉仕団	7	26	33	平成12年4月1日	Together
83	愛知県青年赤十字奉仕団	16	24	40	平成21年4月1日	単独赤十字奉仕団

(データは令和7年3月31日時点のものです。なお、各奉仕団の紹介ページに記載されている奉仕団情報については、令和7年1月1日時点のものです。)

地区区分	14,140
特殊	1,158
青年	187
総計	15,485

令和7年度 赤十字奉仕団活動状況

1. 「広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン」

No.	赤十字奉仕団名	実施日	実施場所
1	一宮市赤十字奉仕団	5月4日(日)	尾張一宮駅前ビル 1階コンコース
2	春日井市赤十字奉仕団	①5月10日 午前10時～11時30分 中部地区	①会場名：(清水屋春日井店)
		②5月10日 午前10時～11時30分 東部地区	②会場名：(フィールエクボスタイルKASUGAI)
		③5月11日 午前10時～11時30分 西部地区	③会場名：(ハロー勝川店)
		④5月13日 午前10時～11時30分 高坂NT地区	④会場名：(サンマルシェ)
3	碧南市赤十字奉仕団	5月中	・ドミー新川店 ・ドン・キホーテUNY碧南店 ・ハロー碧南店 ・ピアゴ碧南東店 ・ハロー碧南城山店 ・あおいパーク ・毘沙門天
4	刈谷市赤十字奉仕団	①5月1日 午前10時～11時	①刈谷ハイウェイオアシス
		②5月20日 午前10時30分～11時30分	②ピアゴ 東刈谷店
5	安城市赤十字奉仕団	5月10日 10時30分～11時30分	アピタ安城南店
6	西尾市赤十字奉仕団	5月中	・ヤマナカ西尾寄住店 ・ハロー平坂店 ・憩いの農園ファーマーズマーケット ・憩いの農園ファーマーズガーデン ・DCMカーマチャオ店
7	蒲郡市赤十字奉仕団	5月3日(土) 午前10時～11時	蒲郡市竹島水族館周辺
8	犬山市赤十字奉仕団	5月中	犬山駅東西周辺
9	常滑市赤十字奉仕団	5月3日(土)午前10時～11時	・バイシアフードセンター常滑店 ・カインズ常滑店
10	江南市赤十字奉仕団	5月3日(土) 10時～11時	曼陀羅寺公園 藤まつり会場
11	稲沢市赤十字奉仕団	4月27日(日)13時～14時	国府宮神社 参道 第3鳥居下南
12	新城市赤十字奉仕団	5月5日(月) 10時～12時	長篠城址
13	大府市赤十字奉仕団	5月9日(金) 午前11時～正午	アピタパワー大府店
14	知多市赤十字奉仕団	5月8日(木)	イトーヨーカドー知多店
15	知立市赤十字奉仕団	5月中	ギャラリーアピタ知立
16	尾張旭市地区奉仕団	4月28日(月)～5月9日(金)	尾張旭市役所1階ロビー
17	高浜市赤十字奉仕団	4月8日(火) 10時～11時	TIぼーと
18	岩倉市赤十字奉仕団	5月9日(金)	名鉄岩倉駅
19	豊明市赤十字奉仕団	5月9日(金) 10時～11時・16時～17時	・豊明市前後駅 ・ドンキホーテ豊明店
20	田原市赤十字奉仕団	5月4日(日・祝) 午前10時～午後3時	サンテパルクたはら
21	愛西市赤十字奉仕団	5月11日(日) 10時～11時 25日(日) ①9時半～10時半、②11時～12時	(11日) ヨシズヤ愛西勝幡店 (25日) ①ピアゴ佐屋店 ②オークワ愛西プラザ店
22	弥富市赤十字奉仕団	5月3日(土) 午前10時から午前11時30分	イオンタウン弥富
23	あま市赤十字奉仕団	(七宝分団) 5月18日(日) 9時30分～10時30分	(七宝分団) 会場：ナフコトミダ七宝店
		(美和分団) 5月11日(日) 9時30分～10時30分	(美和分団) 会場：ナフコトミダ木田店
		(甚目寺分団) 5月18日(日) 9時30分～10時30分	(甚目寺分団) ①会場：名鉄甚目寺駅 ②会場：ヨシズヤ甚目寺店 ③会場：アオキスーパー甚目寺店 ④会場：ピアゴ甚目寺店 ⑤会場：アオキスーパー坂牧甚目寺店
24	豊山町赤十字奉仕団	5月2日(金)	エアポートウォーク名古屋
25	蟹江町赤十字奉仕団	5月10日(土) 午前7時30分～午前8時30分	JR蟹江駅及び近鉄蟹江駅
26	東浦町赤十字奉仕団	4月～5月	各地区のコミュニティセンター・東浦町役場
27	美浜町赤十字奉仕団	5月30日(金)	フィール・カインズ美浜店

令和7年度 赤十字奉仕団活動状況

2.令和7年度「NHK海外たすけあい」街頭募金活動

No.	奉仕団名	実施日	実施場所
1	春日井市赤十字奉仕団	①12月2日(火) ②12月6日(土) ③12月6日(土) ④12月12日(金)	①サンマルシェ 春日井市中央台1-2-2 ②フィールエクボスタイルKASUGAI店 春日井市篠木町8-4-58 ③清水屋春日井店 春日井市瑞穂通5-33 ④ハロー勝川店 春日井市小野町2-1-1
2	豊川市赤十字奉仕団	12月13日(土)	ピアゴ豊川店 豊川市幸町103
3	津島市赤十字奉仕団	12月4日(木)	津島市役所 津島市立込町2-21
4	碧南市赤十字奉仕団	12月5日(金) 12月6日(土)	(5日) 碧南市役所 碧南市松本町28番地 (6日) あおいパーク 碧南市江口町3-15-3
5	刈谷市赤十字奉仕団	12月14日(日) 予備日12月20日(土)	刈谷ハイウェイオアシス 刈谷市東境町吉野55
6	大府市赤十字奉仕団	12月9日(火)	JAあぐりタウンげんきの郷 大府市吉田町正右エ門新田1-1
7	安城市赤十字奉仕団	12月13日(土)	イトーヨーカドー安城店 安城市住吉町3-1-8
8	西尾市赤十字奉仕団	①12月19日(金) ②12月20日(土) ③12月21日(日)	①西尾市役所 西尾市寄住町下田22番地 おしろタウンシャオ 西尾市下町御城下23番地1 憩の農園ファーマーズマーケット 西尾市斉藤町大割7番地 ②おしろタウンシャオ 西尾市下町御城下23番地1 憩の農園ファーマーズマーケット 西尾市斉藤町大割7番地 Aコープ色店 西尾市一色町前野新田53番地1 ③おしろタウンシャオ 西尾市下町御城下23番地1 憩の農園ファーマーズマーケット 西尾市斉藤町大割7番地
9	蒲郡市赤十字奉仕団	12月9日(火)	蒲郡市竹島水族館 蒲郡市竹島町1-6
10	江南市赤十字奉仕団	12月10日(水)	①平和堂江南店 江南市上奈良町栄61-3 ②アビタ江南西店 江南市松竹町上野205
11	犬山市赤十字奉仕団	12月5日(金)	名鉄犬山駅東口及び西口付近 犬山市大字犬山字富士見町14付近
12	小牧市赤十字奉仕団	12月9日(火)	ラビオ 1F 小牧市小牧3-555
13	新城市赤十字奉仕団	12月7日(日)	JA愛知東こんたく長篠 新城市長篠西野々30
14	知多市赤十字奉仕団	12月8日(月)	イトーヨーカドー知多店 知多市新知東町1-10-1
15	高浜市赤十字奉仕団	12月20日(土)	(株)ティ・エス・シー(Tポート) 高浜市神明町八丁目20番地1
16	日進市赤十字奉仕団	12月7日(日)	MEGAドン・キホーテUNY香久山店 日進市香久山5-1801
17	田原市赤十字奉仕団	12月13日(土)	①イオン田原店 田原市田原町南新地76-1 ①ヤマナカ田原店 田原市東赤石5-60-60 ③パワーズ田原店 田原市加治町東天神7-1 ④道の駅田原めっくんはうす 田原市東赤石5-74 ⑤フードオアシスあつみ福江店 田原市古田町エゲノ前125
18	愛西市赤十字奉仕団	12月14日(日)	①ピアゴ佐屋店 愛西市北一色町東田面10-1 ②オークワ愛西プラザ店 愛西市柚木町元屋敷曲輪329-10 ③MEGAドン・キホーテUNY勝幡店 愛西市勝幡町弁才天2283-60
19	弥富市赤十字奉仕団	12月6日(土)	イオンタウン弥富 弥富市五明町蒲原1371-4
20	みよし市赤十字奉仕団	12月21日(日)	①グリーンセンター三好店 三好町上砂後16-1 ②イオン三好店 三好町青木91
21	あま市赤十字奉仕団 ①七宝分団 ②美和分団 ③碓目寺分団	12月7日(日)	①ナフコトミダ七宝店 あま市七宝町桂親田35-1 ②ナフコトミダ木田店 あま市木田東新赤坪39 ③(1)名鉄碓目寺駅 あま市碓目寺郷浦35 ③(2)ヨシツヤ碓目寺店 あま市碓目寺五位田128 ③(3)ピアゴ碓目寺店 あま市森4-11-14 ③(4)アオキスーパー坂牧店 あま市坂牧坂塩83-1 ③(5)アオキスーパー碓目寺店 あま市新居屋99-99

3.赤十字奉仕団活動推進指導要領 実施状況（令和7年度）

No.	奉仕団名	活動の種類	会員増強に関する活動	災害救護に関する活動	青少年赤十字の普及育成に関する活動	献血推進及び血液センター事業に関する活動	救急法等の普及に関する活動	赤十字病院における活動	社会福祉施設における活動	老人福祉向上のための活動	障害者福祉向上のための活動	子ども・子育て支援に関する活動
1	千種区赤十字奉仕団						○					
2	東区赤十字奉仕団											
3	北区赤十字奉仕団		○	○								
4	西区赤十字奉仕団		○	○								
5	中村区赤十字奉仕団											
6	中区赤十字奉仕団			○								
7	昭和区赤十字奉仕団		○	○								
8	瑞穂区赤十字奉仕団		○									
9	熱田区赤十字奉仕団		○									
10	中川区赤十字奉仕団		○									
11	港区赤十字奉仕団		○									
12	南区赤十字奉仕団			○								
13	守山区赤十字奉仕団		○									
14	緑区赤十字奉仕団											
15	名東区赤十字奉仕団		○									
16	天白区赤十字奉仕団		○									
17	豊橋市赤十字奉仕団		○	○					○			
18	岡崎市赤十字奉仕団		○	○		○	○		○			
19	一宮市赤十字奉仕団		○	○		○	○		○	○	○	
20	瀬戸市赤十字奉仕団		○	○						○		
21	半田市赤十字奉仕団		○	○		○						
22	春日井市赤十字奉仕団		○	○	○	○	○					
23	豊川市赤十字奉仕団		○	○		○						
24	豊川市第二赤十字奉仕団		○	○								
25	津島市赤十字奉仕団		○	○	○		○					
26	碧南市赤十字奉仕団		○	○		○	○			○		○
27	刈谷市赤十字奉仕団		○	○		○	○					○
28	豊田市赤十字奉仕団		○	○		○	○					
29	安城市赤十字奉仕団		○	○							○	
30	西尾市赤十字奉仕団		○	○		○	○		○			
31	蒲郡市赤十字奉仕団		○	○			○			○		○
32	犬山市赤十字奉仕団		○	○	○	○	○					
33	常滑市赤十字奉仕団		○	○		○	○					
34	江南市赤十字奉仕団		○	○		○	○					○

35	小牧市赤十字奉仕団	○				○					
36	稲沢市赤十字奉仕団	○	○					○			
37	新城市赤十字奉仕団	○	○			○		○	○	○	
38	東海市赤十字奉仕団	○	○			○					
39	大府市赤十字奉仕団	○	○								
40	知多市赤十字奉仕団	○	○			○		○			
41	知立市赤十字奉仕団	○	○								○
42	尾張旭市赤十字奉仕団	○	○		○	○		○	○		
43	高浜市赤十字奉仕団	○	○			○		○			○
44	岩倉市赤十字奉仕団	○	○		○						
45	豊明市赤十字奉仕団	○	○		○	○					
46	日進市赤十字奉仕団	○	○			○		○			
47	田原市赤十字奉仕団	○	○			○					
48	愛西市赤十字奉仕団	○	○			○		○			○
49	清須市赤十字奉仕団	○	○			○					
50	北名古屋師勝赤十字奉仕団	○	○			○					
51	北名古屋西春赤十字奉仕団	○	○	○		○					
52	弥富市赤十字奉仕団	○	○		○	○		○	○	○	
53	みよし市赤十字奉仕団	○	○			○		○	○		
54	あま市赤十字奉仕団	○	○			○		○			○
55	長久手市赤十字奉仕団										
56	長久手市第二赤十字奉仕団					○					
57	豊山町赤十字奉仕団	○	○			○		○	○		
58	扶桑町赤十字奉仕団	○			○					○	○
59	大治町赤十字奉仕団	○	○			○		○	○		○
60	蟹江町赤十字奉仕団	○	○			○		○			
61	阿久比町赤十字奉仕団	○	○			○					
62	東浦町赤十字奉仕団	○	○			○					
63	美浜町赤十字奉仕団	○	○			○					
64	武豊町赤十字奉仕団		○								
65	幸田町赤十字奉仕団	○	○								
66	名古屋国際婦人赤十字奉仕団							○			
67	三河湾赤十字海難救助奉仕団										
68	三河赤十字救急奉仕団	○									
69	愛知県赤十字安全奉仕団	○	○								
70	尾張赤十字救急奉仕団	○			○						
71	愛知県赤十字救急奉仕団	○				○					
72	愛知県赤十字救護奉仕団	○	○								
73	愛知県赤十字救助奉仕団	○									○
74	愛知県赤十字無線奉仕団	○				○					
75	愛知県青少年赤十字賛助奉仕団	○		○							
76	愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団	○	○								
77	愛知県赤十字災害救護奉仕団	○	○								
78	愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団	○	○			○					
79	名城大学薬学部青年赤十字奉仕団	○	○					○	○		
80	日本赤十字豊田看護大学青年赤十字奉仕団	○				○	○				○
81	名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団	○	○	○	○	○		○	○		
82	南山大学青年赤十字奉仕団	○	○		○	○	○		○		○
83	愛知県青年赤十字奉仕団	○	○	○				○			○

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

【発行】

日本赤十字社愛知県支部

〒461-8561

愛知県名古屋市東区白壁1-50

TEL 052-971-1591

HP <http://www.aichi.jrc.or.jp/>